

平成25年度
授業改善のための学生アンケート報告書

－ 全体集計 －

第I部

平成26年3月

拓殖大学 F D委員会

はじめに

現代社会の大学教育に対する厳しい評価に対応し、斬新で充実した教育実現への要望に応えるために、我が国の多くの大学で学生アンケートを実施し、その授業改善への活用がなされております。

本学では、他大学に先駆けて全学的な「授業改善のための学生アンケート」を実施してきました。アンケート結果にもとづく学生の意見や授業効果を分析し、これらを各種の教育改善につなげ、学生の学修意欲の向上、効果的学修の推進、国際化・情報化などに対応した教育方法の工夫・改善等に積極的に取り組んでまいりました。

また、平成19年度からは、各学部の「FD委員会」に加えて、全学的な「FD委員会」を設置し、アンケート結果に基づいた授業改善の方策を検討しております。

本報告書は、平成25年度に実施した「授業改善のための学生アンケート」について、「全体集計」（第Ⅰ部）と、「科目別集計」（第Ⅱ部）の2分冊としました。第Ⅱ部には「科目別集計（個表）」の形で授業評価に参加した全教員のデータとともに、学生の主な意見、ならびにこれに対する担当教員の所見を掲載しています。さらに、「分野別集計」を加え、学部・学科目別にきめ細かな評価分析を試みております。

本報告書を活用し、教員各位が今回のデータを過去のデータと比較検討し、他の教員や他学部の状況をも参考にしながら、今後の改善に役立てて下さるようお願いいたします。

大学・学部の教育目標の達成を目指して、学生の効果的学修のため、教育方法を工夫・改善されるようお願いいたします。

平成26年3月

拓殖大学 学長
高橋 敏夫

目 次

はじめに

I 学生アンケートの実施について

1. 経緯と実施方針	3
2. 実施状況	3
3. 集計結果の概要	3
4. 今後の課題	5

II 実施状況

1. 実施期間	7
2. 実施教員数	7
3. 実施科目数	8
4. アンケート回答数(延べ人数)	8
5. 学科目別実施科目数	8

III 全体集計

1. 学科目別(講義等科目) 平均値・標準偏差	1 1
2. 教員所属別(講義等科目) 平均値・標準偏差	
(1) 専任教員所属別	1 2
(2) 講師(非常勤)所属別	1 3
3. 履修登録者数別比較表	1 4
4. 設問項目ごとの集計結果(年度比較)	
(1) 学科目別平均値	
① 商学部専門科目	1 5
② 政経学部専門科目	1 6
③ 外国語学部専門科目	1 7
④ 工学部専門科目(講義等科目、実験・実習科目別)	1 8
⑤ 国際学部専門科目	2 0
⑥ 教養教育科目	2 1
⑦ 外国語科目	2 2
⑧ スポーツ・トレーニング科目	2 3
⑨ 教職・社教・日語科目	2 4
⑩ ゼミ・外書講読科目	2 5
⑪ 全体(講義等科目)	2 6
(2) 学生所属別平均値・標準偏差(講義等科目)	
① 学年別	2 7
② 学科別	2 8
(3) 満足度平均値	
① 学科目別	3 0

②所属別	-----	3 1
③身分別	-----	3 2
④年齢別	-----	3 3
5. 学科目別 回答の分析	-----	3 4
6. 学部設問項目 平均値・標準偏差	-----	3 8

IV コース・分野・学科別集計

1. 商学部専門科目 (コース別)	-----	4 1
2. 政経学部専門科目 (分野別)	-----	4 2
3. 外国語学部専門科目 (学科別)	-----	4 3
4. 工学部専門科目		
(1) 実験・実習科目 (学科別)	-----	4 4
(2) 学科・学科目別 (講義等科目)	-----	4 5
5. 国際学部科目		
(1) 英語群	-----	4 6
(2) 地域言語群	-----	4 7
(3) 基礎科目群	-----	4 8
(4) 専門共通科目	-----	4 9
(5) 専門コース科目	-----	5 0
6. 教養教育等科目		
(1) 講義等科目 (群別)	-----	5 1
(2) 外国語科目 (1 2 カ国語)	-----	5 2
(3) スポーツ・トレーニング科目	-----	5 3
(4) 教職課程・社会教育主事講座科目、日本語教員養成基礎講座科目	-----	5 4

V 評価及び課題

1. 商学部	-----	5 7
2. 政経学部	-----	6 1
3. 外国語学部	-----	7 2
4. 工学部	-----	7 8
5. 国際学部	-----	8 5
6. 教養教育	-----	9 3
7. 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目	-----	1 0 9

参考資料

実施要領	-----	1 1 3
アンケート様式	-----	1 1 7
科目別集計様式	-----	1 2 3

I 学生アンケートの実施について

1. 経緯と実施方針

拓殖大学における教育内容・方法の改善を目指した組織的な取り組みは、平成 4 年の拓殖大学自己点検評価委員会の設置から始まった。そして、各学部自己点検評価委員会を設置し、**Plan・Do・Check・Act** を実施するなかで教育改革に取り組んできた。具体的な取り組みは、平成 6 年の「学生による授業評価（現・授業改善のための学生アンケート）」の開始に始まり、その後の全学的な F D ワークショップの開催、教育・研究等業績報告書の作成、新任教員研修会の開催、教員相互の授業参観の実施などである。このうち「授業改善のための学生アンケート」は、これら一連の教育改善方策の軸となるものであり、以下のような特色を持っている。

- (1) 5 学部全体の取り組みとして実施していること。
- (2) 全教員が参加していること（平成 25 年度は講師（非常勤）を含め **99.8%** が実施）。
- (3) 授業科目ごとの集計表には、統計処理したデータだけでなく学生からの要望・担当教員の所見及び改善に向けた取り組み方針を記載していること。
- (4) 結果を広く学内外に公開し、全教員が参照できるようにしていること。

「授業改善のための学生アンケート」に関して、平成 25 年度の主要な変更点は、隔年で前期（平成 25 年 6 月 24 日～7 月 13 日）に実施したこと、1 つの設問項目を変更したことである。質問の意味をより明確にするため、設問項目Ⅱ－8「この授業は宿題・課題等が大変ですか」は、「この授業は宿題・課題等が適切に出されていると思いますか」に変更した。

2. 実施状況

平成 25 年度「授業改善のための学生アンケート」の実施状況は、専任教員では対象となる教員 247 名全員が実施し、講師（非常勤）については対象者 400 名のうち 1 名を除く 399 名が実施した。全体の実施率は、前年度を 0.1% 上回る **99.8%** であった。

実施科目数は専任教員で 544 科目（前年度は 530 科目）、講師（非常勤）で 720 科目（前年度 750 科目）、合計 1,264 科目（前年度 1,280 科目）で前年度と比べやや減少したが、学生からの回答数は延べ 43,441 人（前年度 39,286 人）で、逆に前年度より 4,155 人増加している。

3. 集計結果の概要

全体の「満足度」は **3.91** で、前期に実施した平成 23 年度（**3.92**）とほぼ同水準となっている。ただし、この数値は学部別、学問分野別では大きく異なっている。たとえば専任教員の学部別では、外国語学部（**4.27**）が最も高く、続いて国際学部（**4.15**）、商学部（**3.89**）、政経学部（**3.86**）、最も低いのが工学部で **3.60** となっている。学科目別では、ゼミ・外書講読（**4.45**）とスポーツ・トレーニング（**4.42**）が最も高く、次いで外国語学部専門科目

(4.14)、国際学部専門科目(4.08)、外国語科目(4.04)、教職関係科目(3.99)、商学部専門科目(3.89)、教養科目(3.87)、政経学部専門科目(3.86)、工学部専門科目(講義科目)3.54と続いている。

こうした評価の差は、学問分野別に加え、授業規模や授業方法の違いによっても異なっている。たとえば、講義科目の履修登録者数別比較表をみると、履修者数が100人以下では満足度が3.95に対して、301人以上では3.73と0.2ポイントあまり低くなっている。

「満足度」を学生の学年別にみると、高学年になればなるほど高く、また教員の身分別では特別非常勤講師(4.27)が圧倒的に高く、助教3.54が最も低くなっている。助教の方の人数はそう多くないが、この理由が気になるところである。教員の年齢別では、40歳未満が4.04と例年最も高く、40歳代(3.97)と50歳代(3.99)がほぼ同水準、以下60歳代が3.76と最も低くなっている。60の台台を超えると、知識や経験が豊富である一方、加齢とともに「満足度」が低くなっていく傾向がみられる。熟練教員は、私を含め今後この点も念頭において授業改善を考えていくことが必要である。

「満足度」以外の項目については、各学部あるいは学科目別の分析結果と今後の課題が詳細にとりまとめられているので、ぜひ本報告書「V評価と課題」をご覧ください。

4. 今後の課題

「授業改善のための学生アンケート」に関しては、今年度次の3つの課題を問題定義として投げかけFD委員会で検討した。

(1) 客観性が担保できる実施方法への転換。

商・政経学部、工学部では教員がアンケート用紙を配布し回収、枚数を確認していたが、平成26年度より教員が用紙を教室へ持参するとともに、学生がアンケート用紙を配布し回収、枚数を確認・厳封することとし、教員が学務課へ持参することになった。

(2) 「授業改善のための学生アンケート」結果が低い科目への対応。

教育力の向上が重要な課題となっている本学において、この面の対応は今まで担当教員任せとなっていた。今年度は、さしあたり2年続けて「満足度」2.9以下の科目については改善方を願うことになったが、個別対応か否かで意見が分かれ合意までには至らなかった。したがって、この課題については次年度への持ち越しとなるが、2.9以下の科目については、次のような傾向がみられることが明らかになった。

設問項目のうち「(Ⅱ-9)理解しやすさ」、「(Ⅱ-10)見方・考え方が深まる」、「(Ⅱ-1)狙いの明確さ」の評価が相対的に低いこと、声が聞き取りにくい、板書の文字が小さく見えにくい、授業内容が難しい、教員の意欲が欠けるなどの意見が自由意見欄・所見で出ていること。授業改善に向けてご参考になれば幸いです。

(3) 本学におけるFDの課題を明確にし、教職員で情報を共有すること。

FDの課題のうち「授業改善のための学生アンケート」に関するものとしては、次の課題がある。

・シラバスの書き方や授業展開において「授業の狙いの明確さ」をハッキリと打ち出すこと。

「授業改善のための学生アンケート」における「満足度」と他の設問項目との関連性をみた場合、最も関係しているのは「(Ⅱ-1) 狙いの明確さ(*)」である。すなわち、「狙いの明確さ」が高ければ「満足度」が高く、また「狙いの明確さ」が低ければ「満足度」も同程度に低いことを示している。したがって、今後「満足度」を上げていくためには、シラバスの書き方や授業展開において「狙いの明確さ」をハッキリと打ち出していくことが必要である。「狙いの明確さ」が満足度向上のカギを握っており、FD委員会としては今後この点の広報に努めていきたいと考えている。今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(*)

・条件： $\Sigma \{ | \text{【全学共通の設問項目における割合】} - \text{【満足度の割合】} | \}$

結果：平成 24 年度・25 年度ともに、「Ⅱ-1 狙いの明確さ」が一番小さい値となっている。

平成 26 年 3 月

拓殖大学 FD委員会

委員長 芦田 誠

Ⅱ 実施状況

1. 実施期間

平成25年6月24日（月） ～ 平成25年7月13日（土）

※予備日： 7月15日（月） ～ 7月22日（月）

2. 実施教員数

1) 専任教員

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率（％）
商 学 部	49	49	0	100.0%
政 経 学 部	53	53	0	100.0%
外国語学部	41	41	0	100.0%
工 学 部	57	57	0	100.0%
国 際 学 部	33	33	0	100.0%
兼 担	14	14	0	100.0%
合 計	247	247	0	100.0%

（注）専任教員：教授、准教授、助教、特別非常勤講師

2) 講師（非常勤）

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率（％）
商 学 部	123	123	0	100.0%
政 経 学 部	117	116	1	99.1%
外国語学部	44	44	0	100.0%
工 学 部	52	52	0	100.0%
国 際 学 部	52	52	0	100.0%
兼 担	12	12	0	100.0%
合 計	400	399	1	99.8%

（注）講師（非常勤）：客員教授を含む

3) 全体

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率（％）
専任教員	247	247	0	100.0%
講師（非常勤）	400	399	1	99.8%
合 計	647	646	1	99.8%

3. 実施科目数

所 属	専任教員	講師（非常勤）	合 計
商 学 部	103	216	319
政 経 学 部	112	181	293
外 国 語 学 部	91	83	174
工 学 部	116	62	178
国 際 学 部	100	156	256
兼 担	22	22	44
合 計	544	720	1,264

4. アンケート回答数（延べ人数）

回答者の所属	1 年	2 年	3 年	4 年	無回答	合 計
商 学 部	3,798	3,202	2,420	977	26	10,423
政 経 学 部	3,116	3,450	3,047	1,681	36	11,330
外 国 語 学 部	1,177	1,119	593	199	20	3,108
工 学 部	2,235	2,136	1,723	278	97	6,469
国 際 学 部	3,180	3,124	1,691	479	130	8,604
無 回 答	101	144	143	48	3,071	3,507
合 計	13,607	13,175	9,617	3,662	3,380	43,441

（注）「無回答」は、「所属学科」「学年」についての未記入を示す

5. 学科目別実施科目数

所 属	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼 担	合 計
商学部 専門科目	139	2				3	144
政経学部 専門科目	1	122		1	1	4	129
外国語学部 専門科目	4	2	114				120
工学部 講義	2			100			102
工学部 実験実習				30			30
国際学部 専門科目			2		66	10	78
教養科目・総合教育科目	45	29	19	6	25	3	127
外国語科目	110	94	25	34	161	22	446
スポーツ・トレーニング科目	6	18		2			26
教職・社教・日語科目	3	14	6	5	3		31
ゼミ・外書講読	9	12	8			2	31
合 計	319	293	174	178	256	44	1,264

（注）教養科目・総合教育科目：国際学部基礎科目を含む

外国語科目：英語、第2外国語、選択外国語、地域言語、留学生用の日本語

Ⅲ 全 体 集 計

1. 学科目別（講義等科目） 平均値・標準偏差

設問項目	区分	商学部 専門科目	政経学 部専門 科目	外国語 学部 専門科 目	工学部 専門科 目（講 義）	国際学 部専門 科目	教養科 目・総 合教育 科目	外国語 科目	教職・ 社教・ 日語科 目	ゼミ・ 外書講 読	全体
		科目数： (144)	科目数： (129)	科目数： (120)	科目数： (102)	科目数： (78)	科目数： (127)	科目数： (446)	科目数： (31)	科目数： (31)	科目数： (1208)
I-1	平均値	4.55	4.43	4.61	4.66	4.33	4.51	4.55	4.47	4.54	4.51
	標準偏差	0.74	0.81	0.68	0.66	0.83	0.80	0.74	0.73	0.72	0.77
I-2	平均値	4.14	3.97	3.95	3.72	3.64	3.76	4.06	4.16	3.85	3.92
	標準偏差	1.07	1.13	1.17	1.21	1.21	1.26	1.04	0.93	1.31	1.16
I-3	平均値	1.80	1.69	2.10	1.82	1.69	1.53	2.02	1.65	2.21	1.79
	標準偏差	1.08	1.00	1.08	1.07	1.03	0.96	1.03	0.94	1.26	1.04
I-5	平均値	1.63	1.54	1.57	1.79	1.66	1.50	1.71	1.49	2.12	1.63
	標準偏差	1.09	1.03	1.06	1.13	1.10	1.01	1.12	0.94	1.37	1.08
II-1	平均値	3.96	3.91	4.14	3.69	4.03	3.87	4.05	4.05	4.29	3.95
	標準偏差	0.99	1.02	0.95	1.01	1.00	1.04	0.97	0.92	0.89	1.01
II-3	平均値	3.97	4.00	4.16	3.79	4.06	3.95	4.06	4.02	4.26	4.00
	標準偏差	0.89	0.90	0.88	0.90	0.90	0.92	0.89	0.85	0.86	0.90
II-5	平均値	4.07	4.04	4.28	3.82	4.17	4.04	4.20	4.16	4.43	4.09
	標準偏差	1.03	1.05	0.95	1.06	0.99	1.07	0.98	0.96	0.81	1.03
II-6	平均値	3.91	3.93	4.14	3.73	4.09	3.89	4.05	4.02	4.27	3.96
	標準偏差	1.02	1.05	0.95	1.05	0.99	1.07	0.98	0.98	0.91	1.03
II-7	平均値	3.96	4.02	4.23	3.57	4.13	3.90	4.16	4.24	4.30	4.01
	標準偏差	0.99	0.99	0.92	1.03	0.94	1.04	0.93	0.87	0.91	1.00
II-8	平均値	3.70	3.59	4.02	3.56	3.66	3.60	4.01	3.74	4.06	3.73
	標準偏差	1.02	1.04	0.99	0.97	1.10	1.10	0.96	1.01	0.99	1.04
II-9	平均値	3.62	3.58	4.00	3.30	3.90	3.67	3.87	3.82	4.21	3.70
	標準偏差	1.02	1.04	0.93	1.05	1.02	1.05	1.01	0.95	0.84	1.04
II-10	平均値	3.68	3.70	3.85	3.37	4.02	3.72	3.77	3.88	4.27	3.73
	標準偏差	1.03	1.02	1.01	1.03	0.99	1.06	1.04	0.92	0.88	1.04
III	平均値	3.89	3.86	4.14	3.54	4.08	3.87	4.04	3.99	4.45	3.91
	標準偏差	0.99	1.01	0.96	1.04	1.00	1.03	1.00	0.94	0.80	1.02

○3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.52	3.51	3.38	3.59	3.38	3.41	3.42	3.38	3.32	3.46
	標準偏差	0.74	0.74	0.73	0.81	0.68	0.76	0.74	0.65	0.70	0.75
II-4	平均値	3.34	3.27	3.25	3.36	3.19	3.26	3.25	3.16	3.17	3.27
	標準偏差	0.67	0.65	0.62	0.71	0.54	0.66	0.64	0.59	0.58	0.65

(注) I-4は、複数回答項目のため、「5. 回答の分布」を参照

2. 教員所属別（講義等科目）

（1）専任教員所属別

設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	専任教員全体	講師全体	全体
		科目数： (102)	科目数： (108)	科目数： (91)	科目数： (89)	科目数： (100)	科目数： (22)	科目数： (512)	科目数： (696)	科目数： (1208)
I-1	平均値	4.55	4.49	4.65	4.65	4.41	4.33	4.52	4.49	4.51
	標準偏差	0.73	0.78	0.65	0.66	0.82	0.79	0.75	0.79	0.77
I-2	平均値	4.15	4.11	4.03	3.81	3.84	3.50	3.98	3.87	3.92
	標準偏差	1.08	1.06	1.14	1.15	1.16	1.21	1.13	1.18	1.16
I-3	平均値	1.76	1.71	2.15	1.83	1.80	1.68	1.79	1.78	1.79
	標準偏差	1.08	0.97	1.10	1.09	1.06	1.00	1.05	1.03	1.04
I-5	平均値	1.59	1.55	1.66	1.80	1.71	1.55	1.65	1.61	1.63
	標準偏差	1.08	1.03	1.14	1.15	1.11	1.02	1.09	1.07	1.08
II-1	平均値	3.92	3.93	4.26	3.74	4.13	3.82	3.95	3.94	3.95
	標準偏差	0.99	1.03	0.91	1.00	0.96	1.10	1.01	1.00	1.01
II-3	平均値	3.96	4.03	4.24	3.82	4.12	3.91	4.00	3.99	4.00
	標準偏差	0.90	0.90	0.86	0.89	0.88	0.95	0.90	0.91	0.90
II-5	平均値	4.05	4.06	4.41	3.89	4.24	3.96	4.08	4.09	4.09
	標準偏差	1.04	1.05	0.89	1.03	0.95	1.10	1.03	1.03	1.03
II-6	平均値	3.88	3.93	4.26	3.80	4.13	3.95	3.96	3.95	3.96
	標準偏差	1.04	1.07	0.89	1.03	0.97	1.07	1.03	1.02	1.03
II-7	平均値	3.96	4.05	4.36	3.63	4.24	4.09	4.01	4.00	4.01
	標準偏差	1.00	1.00	0.85	1.03	0.90	0.97	1.00	0.99	1.00
II-8	平均値	3.70	3.65	4.15	3.60	3.79	3.54	3.71	3.75	3.73
	標準偏差	1.05	1.04	0.93	0.96	1.09	1.08	1.04	1.04	1.04
II-9	平均値	3.64	3.57	4.09	3.40	3.97	3.67	3.68	3.71	3.70
	標準偏差	1.03	1.07	0.88	1.03	0.98	1.07	1.04	1.04	1.04
II-10	平均値	3.70	3.71	4.01	3.43	4.04	3.78	3.75	3.71	3.73
	標準偏差	1.02	1.04	0.97	1.02	0.96	1.08	1.03	1.04	1.04
III	平均値	3.89	3.86	4.27	3.60	4.15	3.87	3.91	3.92	3.91
	標準偏差	0.99	1.04	0.92	1.02	0.95	1.09	1.02	1.02	1.02

○3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.49	3.54	3.39	3.54	3.39	3.42	3.48	3.44	3.46
	標準偏差	0.75	0.74	0.69	0.79	0.69	0.71	0.74	0.75	0.75
II-4	平均値	3.32	3.27	3.24	3.33	3.20	3.19	3.27	3.27	3.27
	標準偏差	0.67	0.66	0.64	0.71	0.56	0.59	0.65	0.65	0.65

（注）専任教員：教授、准教授、助教、特別非常勤講師

I-4は、複数回答項目のため、「5. 学科目別 回答の分布」を参照

(2) 講師（非常勤）所属別

設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	講師全体	専任教員全体	全体
		科目数: (211)	科目数: (167)	科目数: (83)	科目数: (57)	科目数: (156)	科目数: (22)	科目数: (696)	科目数: (512)	科目数: (1208)
I-1	平均値	4.55	4.43	4.54	4.60	4.43	4.66	4.49	4.52	4.51
	標準偏差	0.75	0.83	0.72	0.71	0.82	0.59	0.79	0.75	0.77
I-2	平均値	3.91	3.92	3.97	3.56	3.76	4.14	3.87	3.98	3.92
	標準偏差	1.18	1.16	1.09	1.28	1.16	1.01	1.18	1.13	1.16
I-3	平均値	1.81	1.67	1.84	1.69	1.92	2.29	1.78	1.79	1.79
	標準偏差	1.05	0.99	1.02	1.00	1.05	1.14	1.03	1.05	1.04
I-5	平均値	1.64	1.52	1.54	1.62	1.66	2.40	1.61	1.65	1.63
	標準偏差	1.09	1.01	1.02	1.05	1.09	1.38	1.07	1.09	1.08
II-1	平均値	3.99	3.92	4.00	3.60	3.99	4.46	3.94	3.95	3.95
	標準偏差	0.99	1.00	0.96	1.06	1.00	0.71	1.00	1.01	1.01
II-3	平均値	4.01	3.97	4.05	3.78	4.03	4.36	3.99	4.00	4.00
	標準偏差	0.91	0.90	0.87	0.91	0.91	0.79	0.91	0.90	0.90
II-5	平均値	4.13	4.07	4.18	3.70	4.16	4.52	4.09	4.08	4.09
	標準偏差	1.01	1.03	0.98	1.14	0.98	0.71	1.03	1.03	1.03
II-6	平均値	3.99	3.92	3.96	3.70	4.03	4.44	3.95	3.96	3.96
	標準偏差	1.00	1.03	1.01	1.10	0.99	0.79	1.02	1.03	1.03
II-7	平均値	4.03	3.99	4.07	3.68	4.04	4.36	4.00	4.01	4.01
	標準偏差	0.99	0.99	0.96	1.04	0.98	0.78	0.99	1.00	1.00
II-8	平均値	3.82	3.64	3.85	3.48	3.87	4.28	3.75	3.71	3.73
	標準偏差	1.01	1.05	1.01	1.05	1.03	0.79	1.04	1.04	1.04
II-9	平均値	3.73	3.65	3.86	3.27	3.90	4.39	3.71	3.68	3.70
	標準偏差	1.03	1.02	0.99	1.11	1.02	0.75	1.04	1.04	1.04
II-10	平均値	3.68	3.69	3.78	3.36	3.90	4.31	3.71	3.75	3.73
	標準偏差	1.05	1.02	1.03	1.06	1.03	0.75	1.04	1.03	1.04
III	平均値	3.95	3.89	4.00	3.54	4.03	4.48	3.92	3.91	3.91
	標準偏差	1.01	1.00	0.99	1.08	1.03	0.71	1.02	1.02	1.02

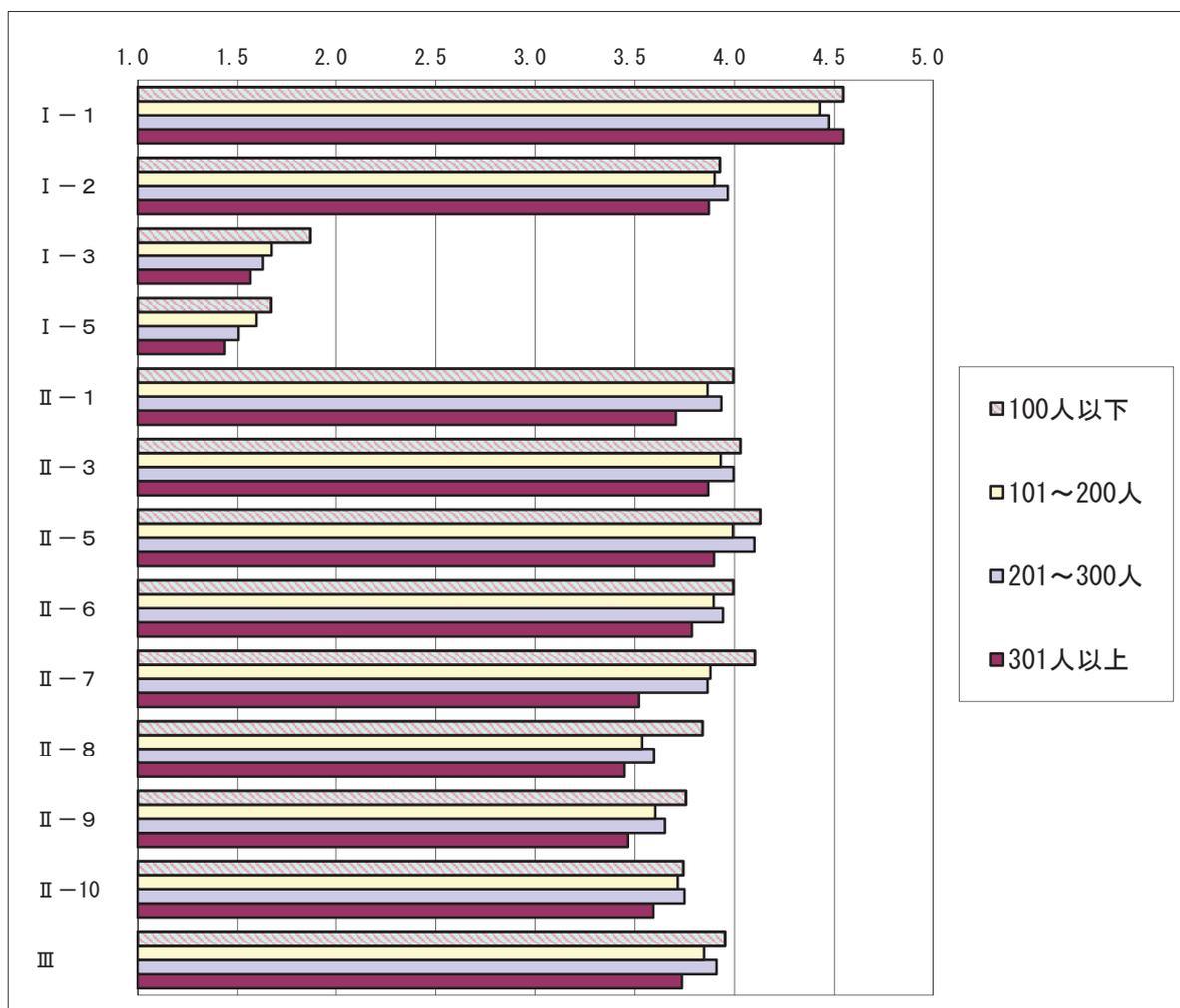
○3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.45	3.43	3.41	3.60	3.39	3.21	3.44	3.48	3.46
	標準偏差	0.76	0.73	0.74	0.85	0.73	0.60	0.75	0.74	0.75
II-4	平均値	3.28	3.28	3.22	3.33	3.24	3.14	3.27	3.27	3.27
	標準偏差	0.66	0.65	0.58	0.69	0.63	0.48	0.65	0.65	0.65

(注) 講師（非常勤）：客員教授を含む

I-4は、複数回答項目のため、「5. 学科目別 回答の分布」を参照

3. 履修登録者数別比較表（講義科目）



(注) I-4受講動機(複数回答)、II-2難易度、II-4進度(3の回答が適切)は回答の基準が異なるため、掲載していない。

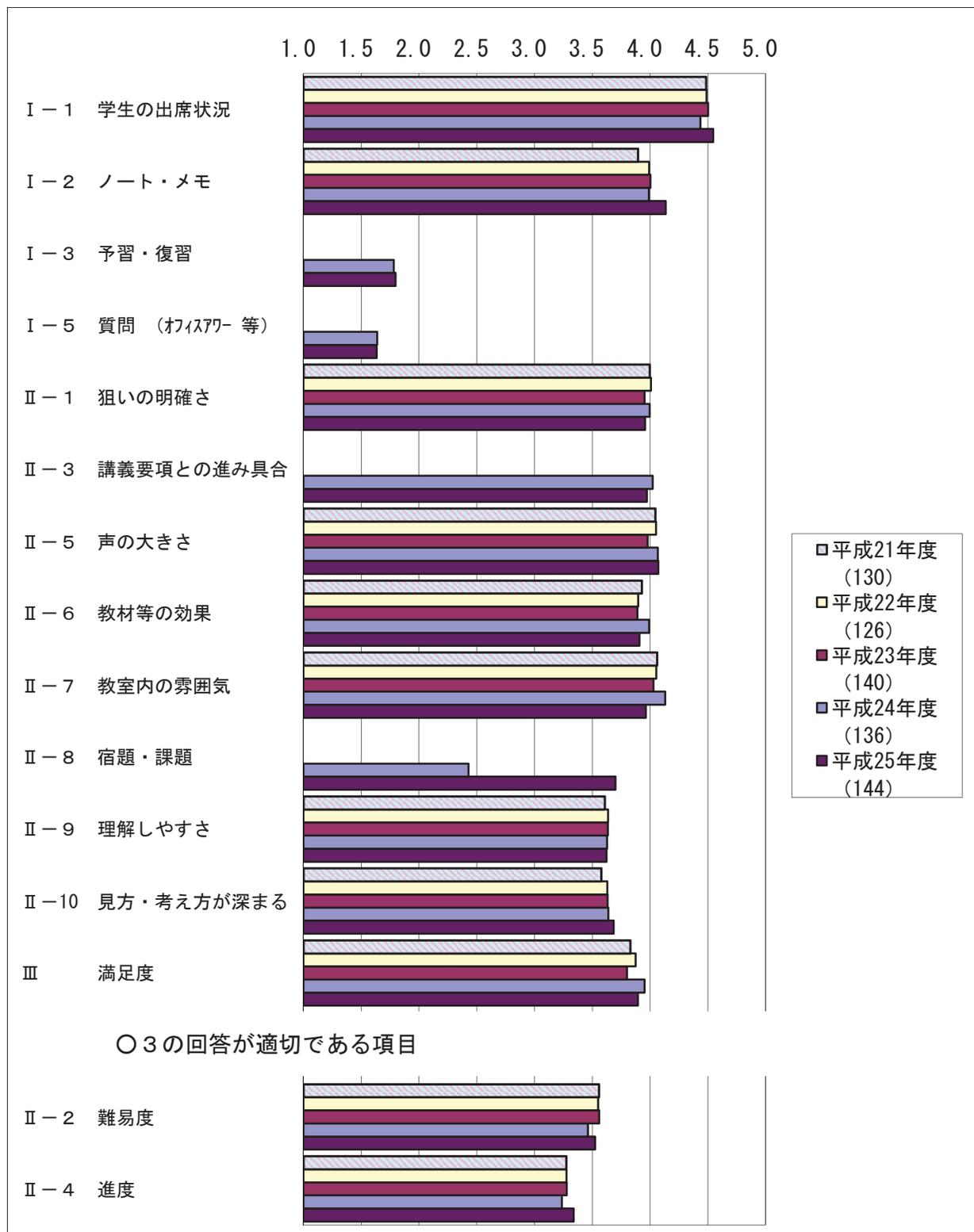
○ 平均値

区分		100人以下	101~200人	201~300人	301人以上
科目数		1,051	115	32	10
I-1	学生の出席状況	4.54	4.43	4.47	4.54
I-2	ノート・メモ	3.93	3.90	3.97	3.87
I-3	予習・復習	1.87	1.67	1.63	1.56
I-5	質問(オフィスワ-等)	1.67	1.60	1.51	1.44
II-1	狙いの明確さ	3.99	3.86	3.93	3.70
II-3	講義要項との進み具合	4.03	3.93	4.00	3.87
II-5	声の大きさ	4.13	3.99	4.10	3.90
II-6	教材等の効果	3.99	3.90	3.94	3.79
II-7	教室内の雰囲気	4.10	3.88	3.86	3.52
II-8	宿題・課題	3.84	3.53	3.59	3.45
II-9	理解しやすさ	3.75	3.60	3.65	3.46
II-10	見方・考え方が深まる	3.74	3.71	3.75	3.59
III	満足度	3.95	3.85	3.91	3.73

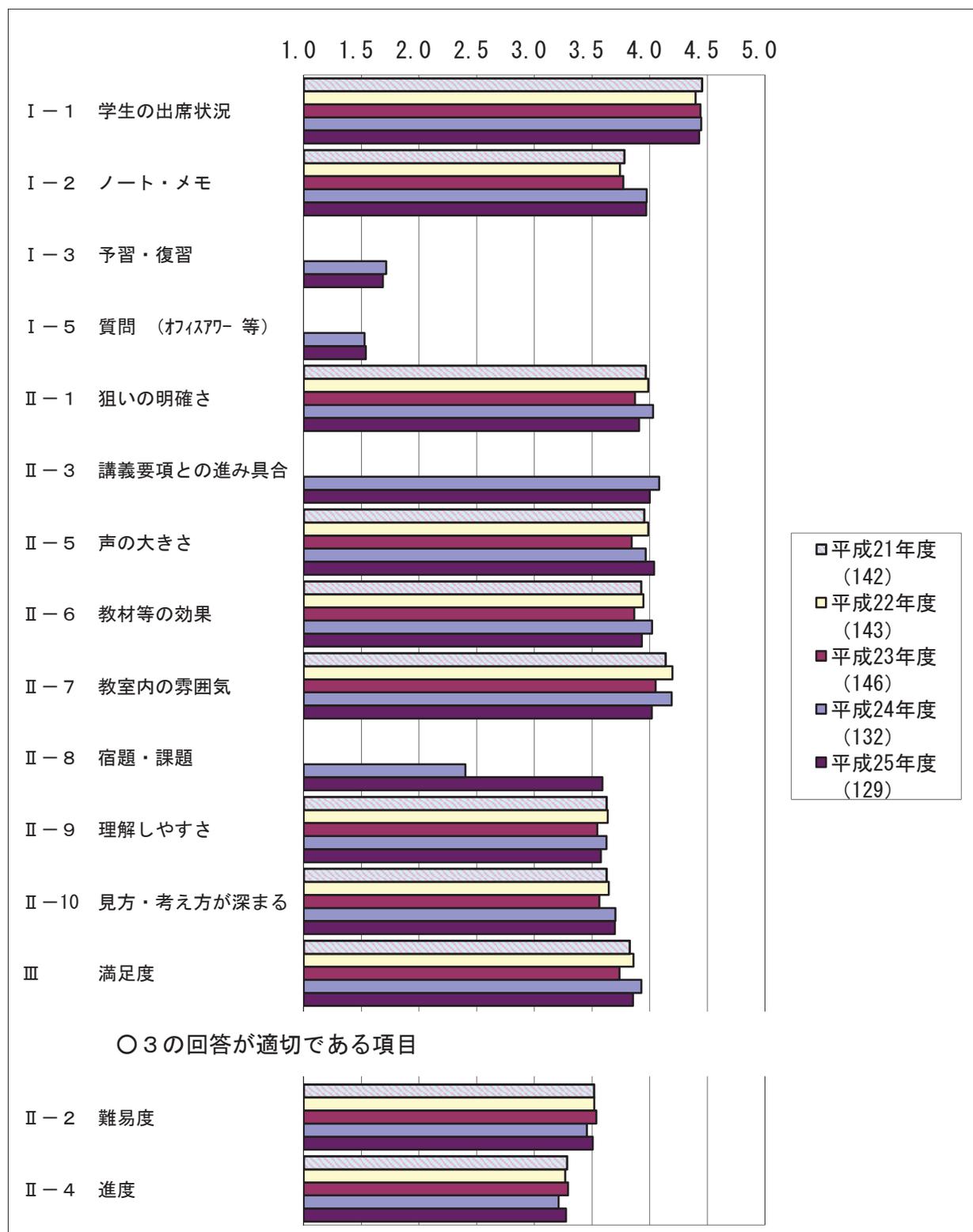
4. 設問項目ごとの集計結果（年度比較）

（1）学科目別平均値

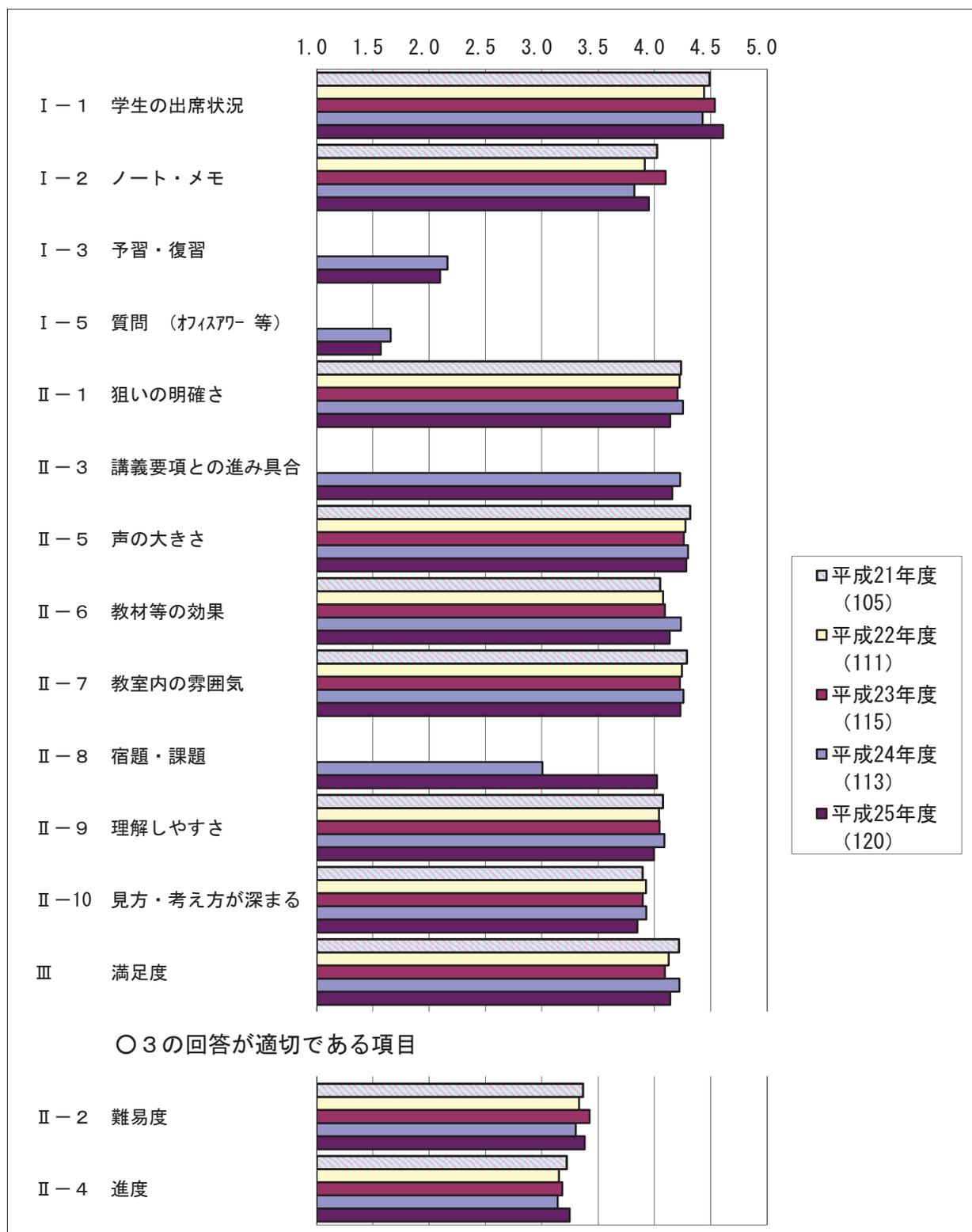
① 商学部専門科目



② 政経学部専門科目

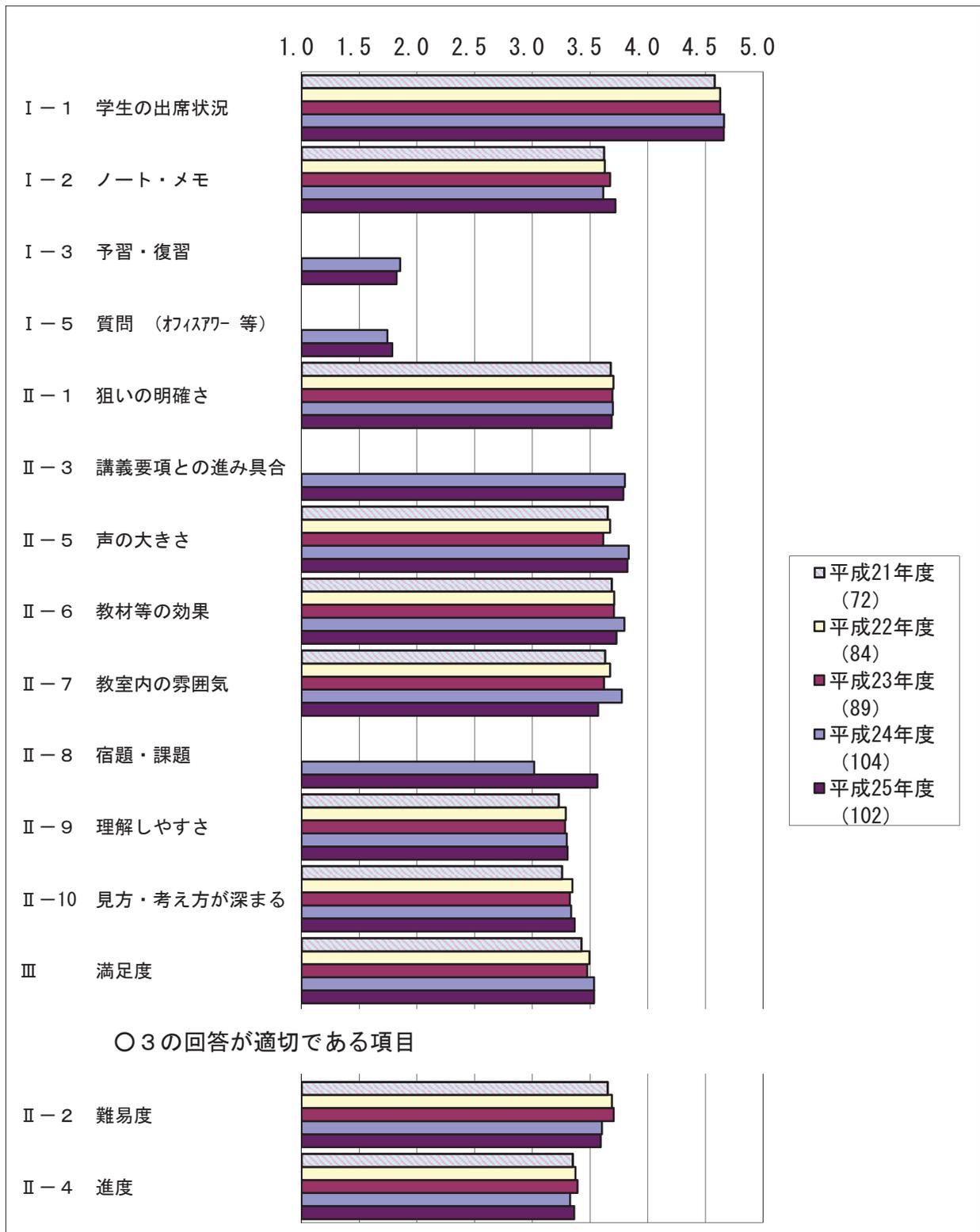


③ 外国語学部専門科目

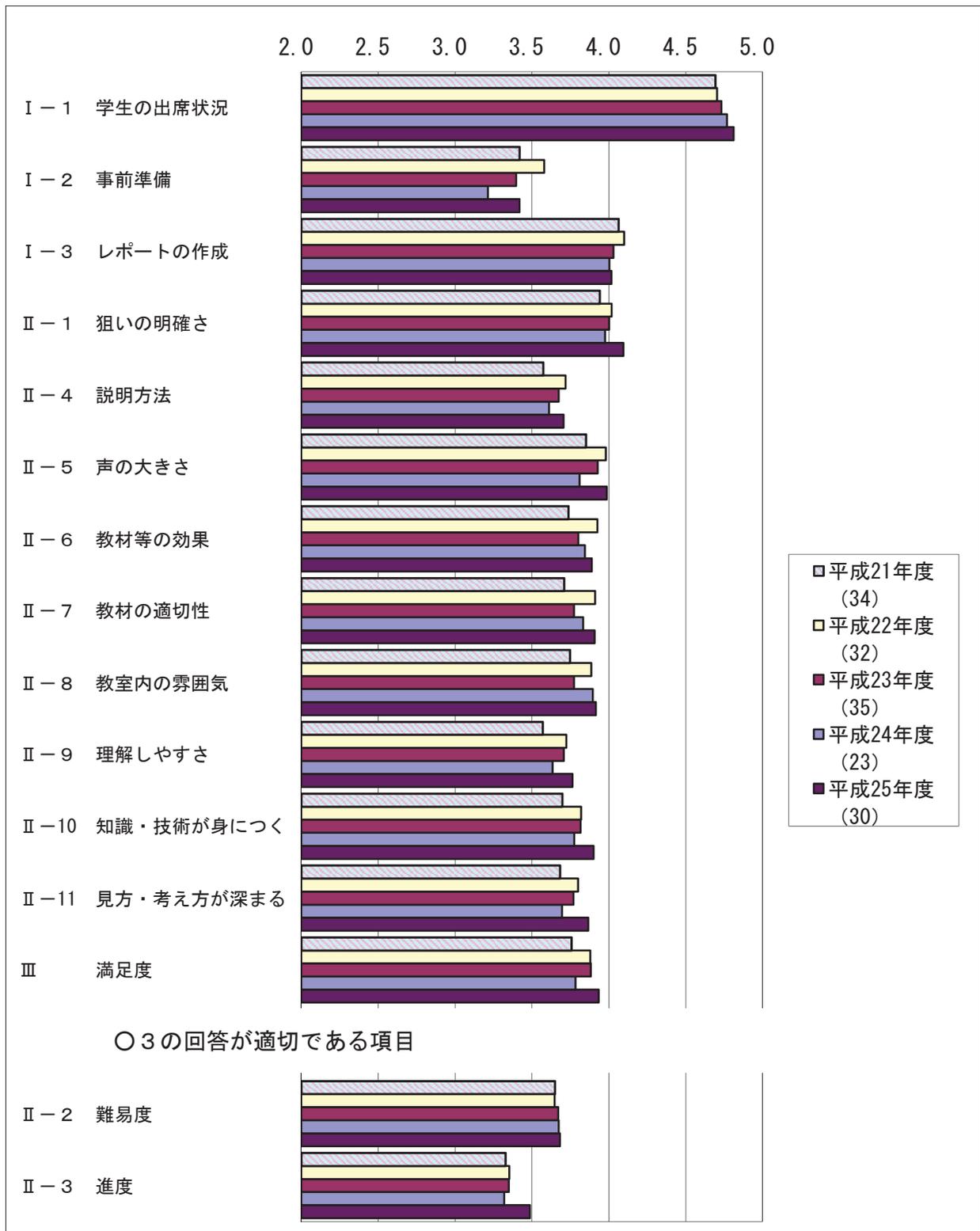


④ 工学部専門科目

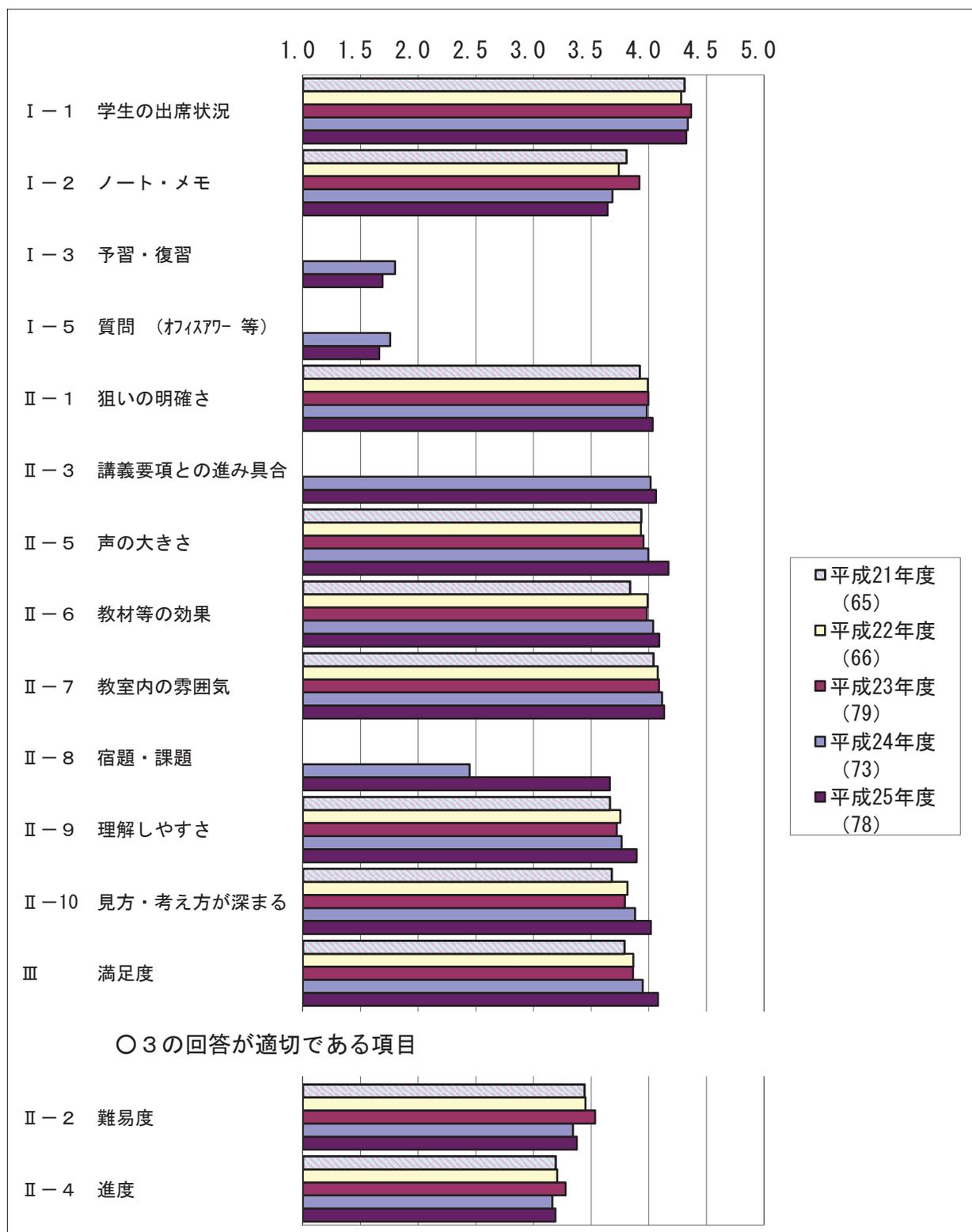
・講義等科目



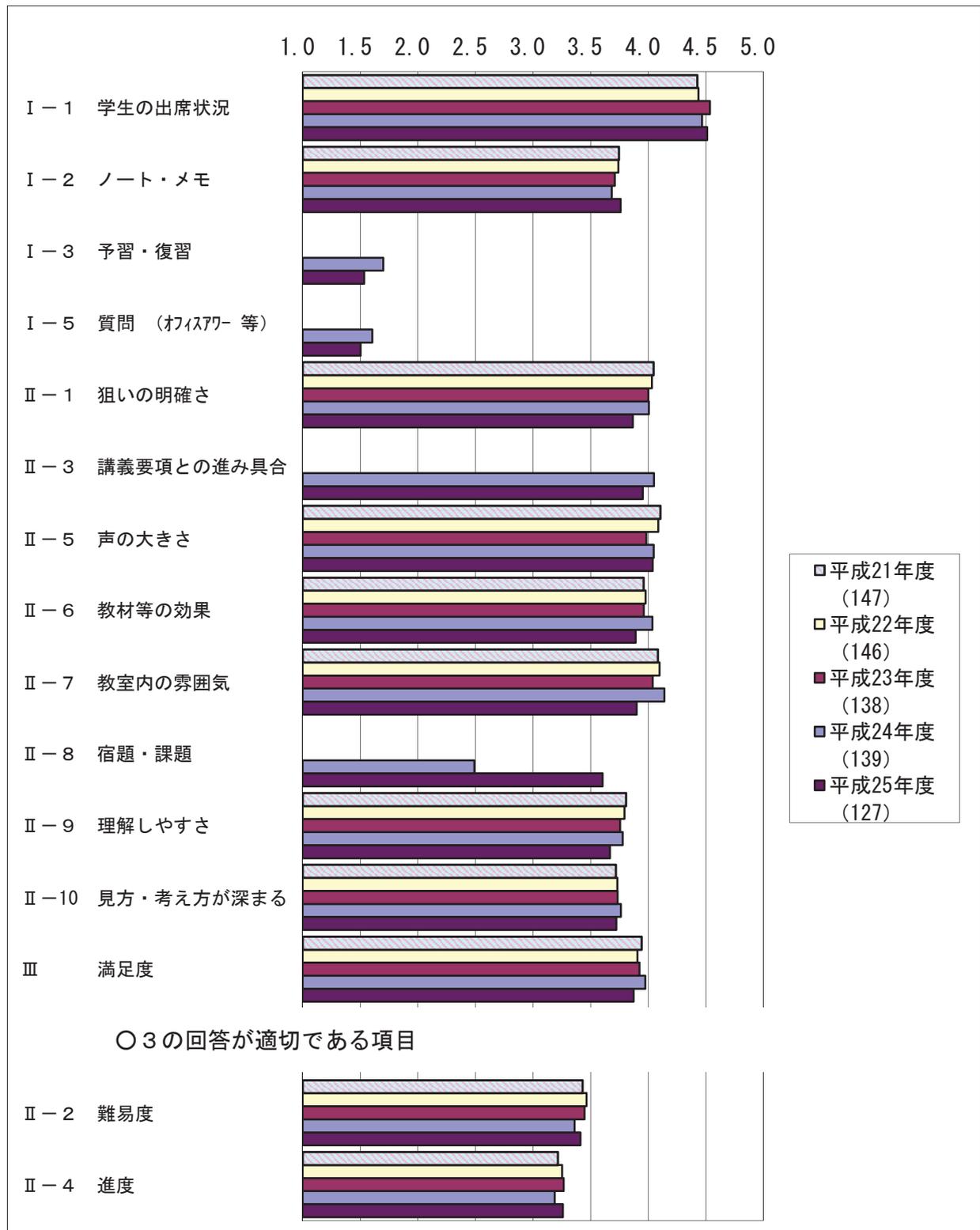
・工学部 実験・実習科目



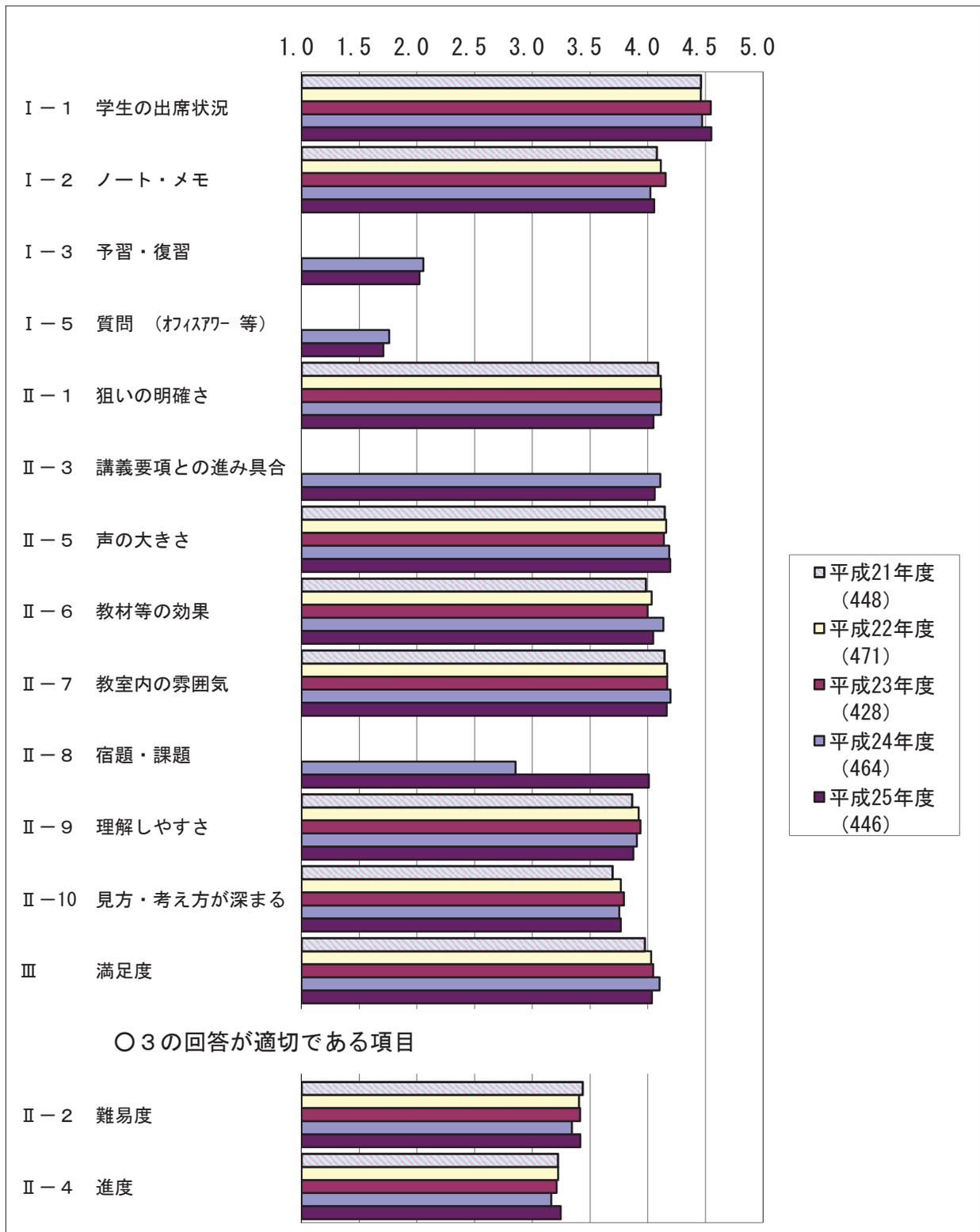
⑤ 国際学部専門科目



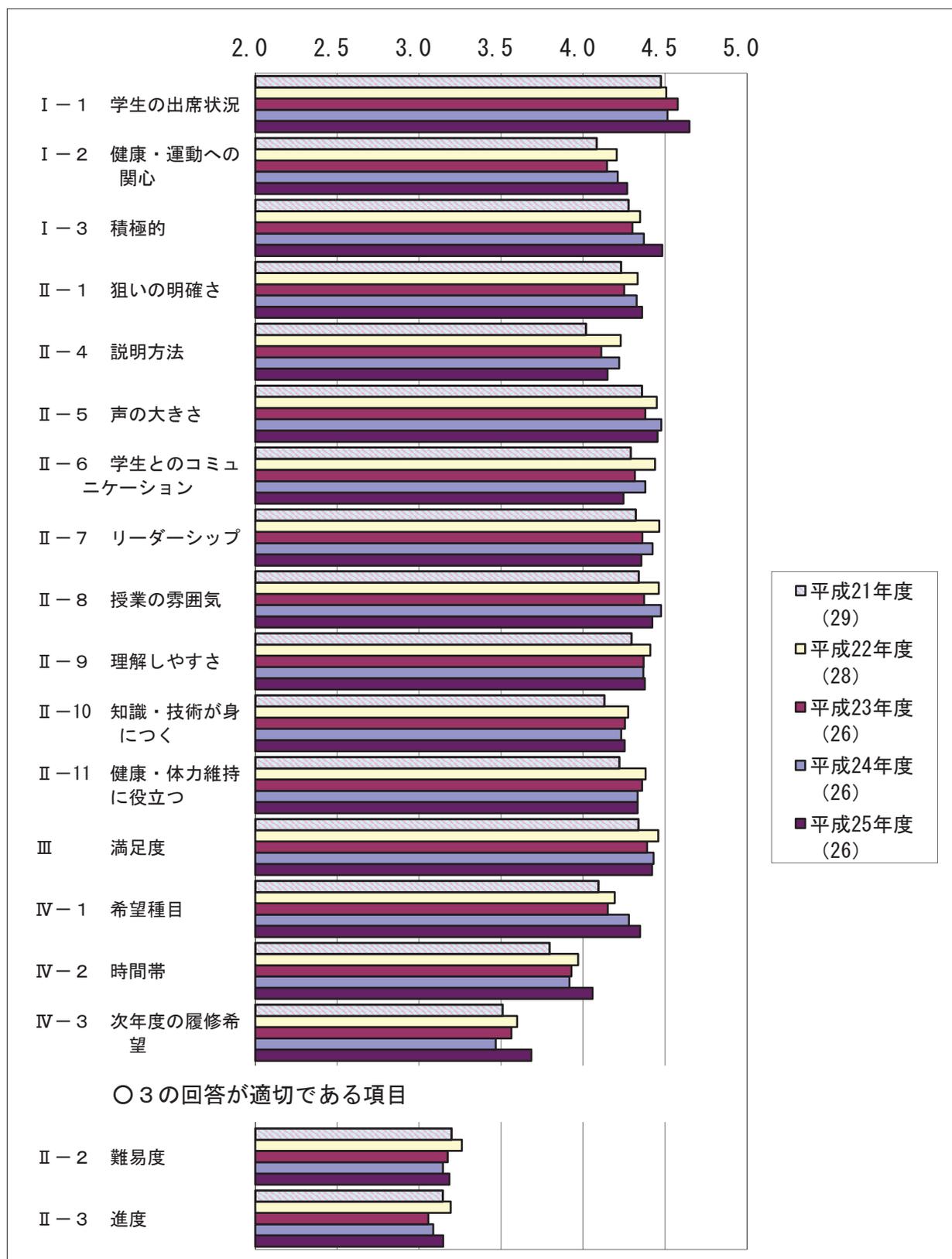
⑥ 教養教育科目



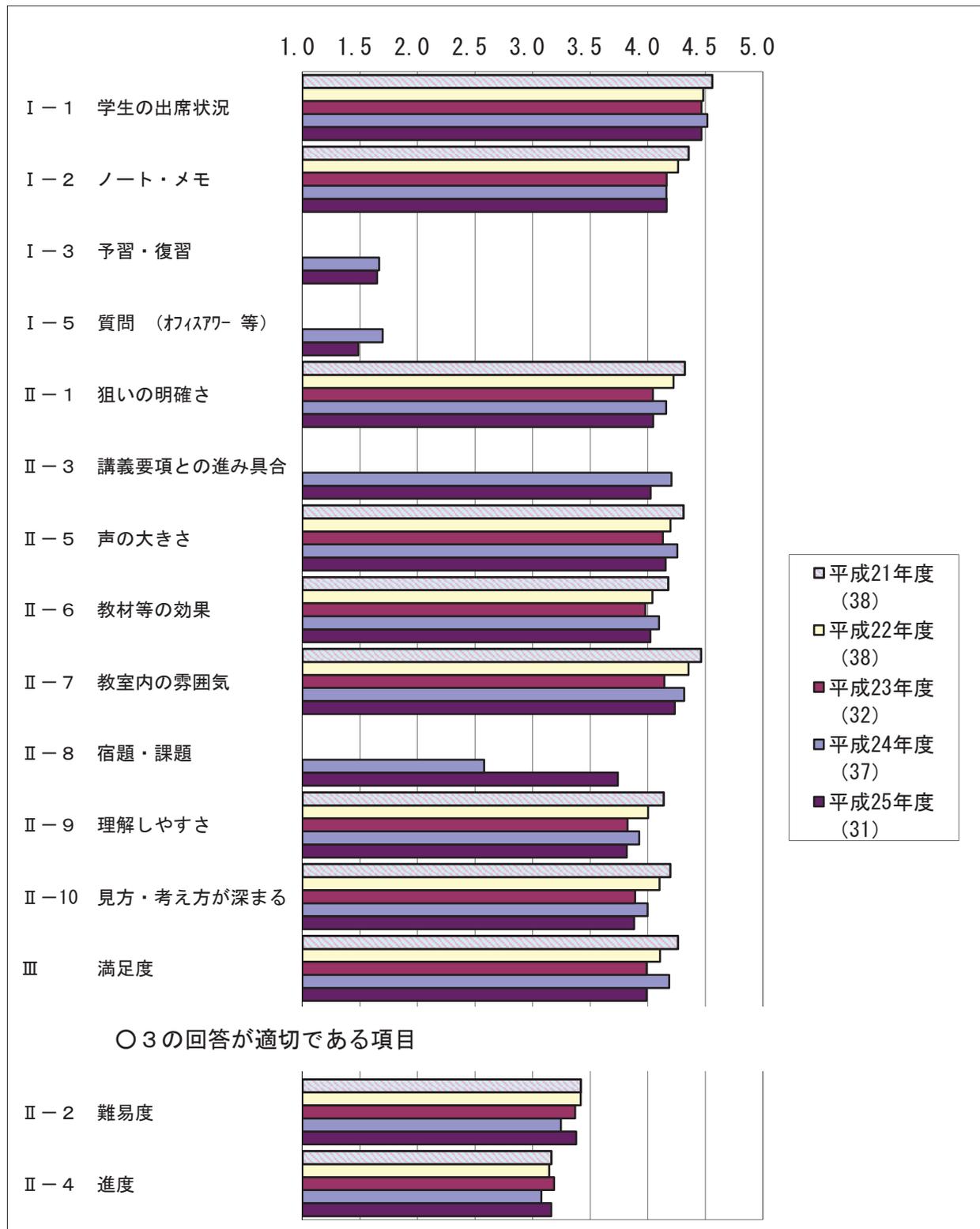
⑦ 外国語科目



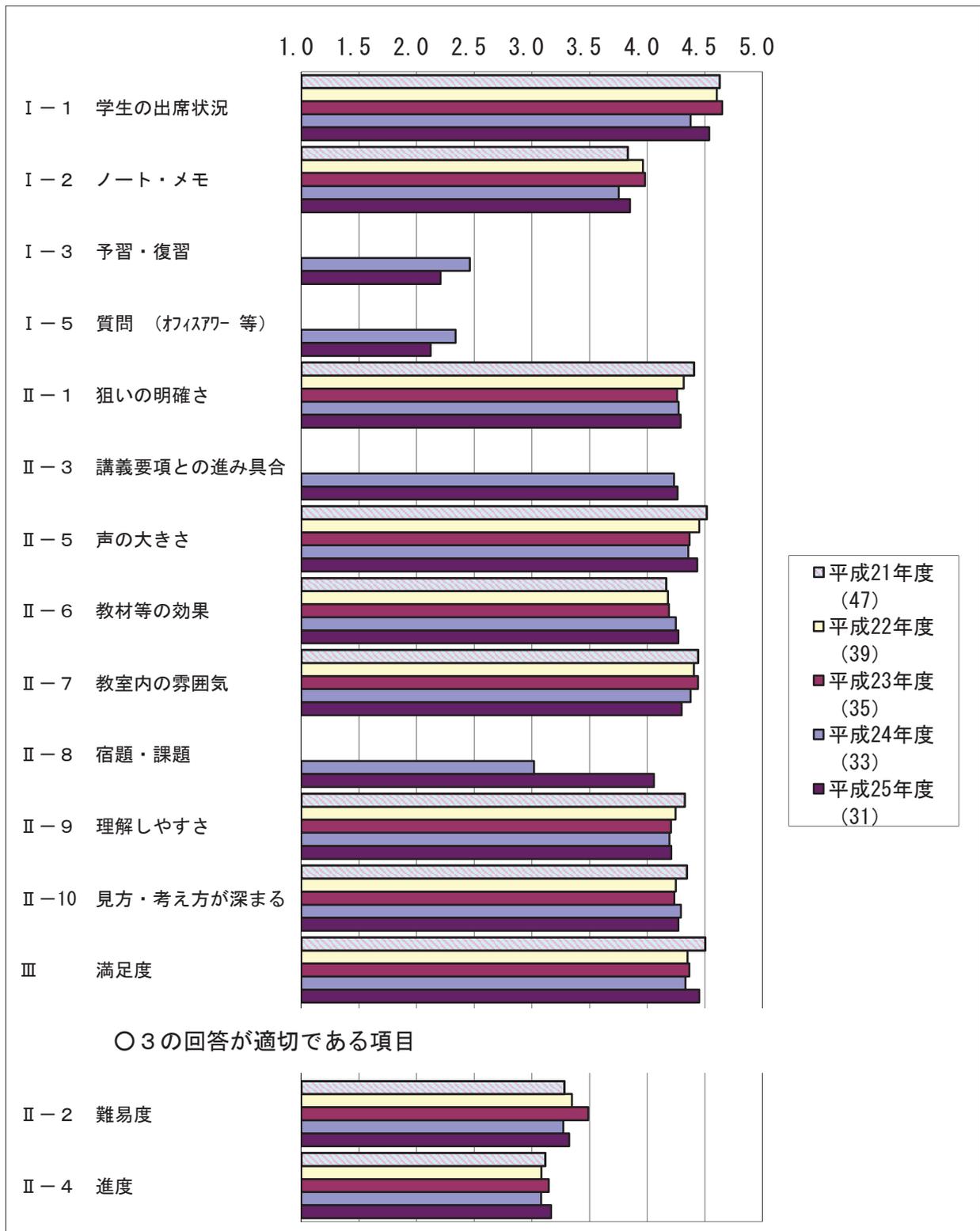
⑧ スポーツ・トレーニング科目



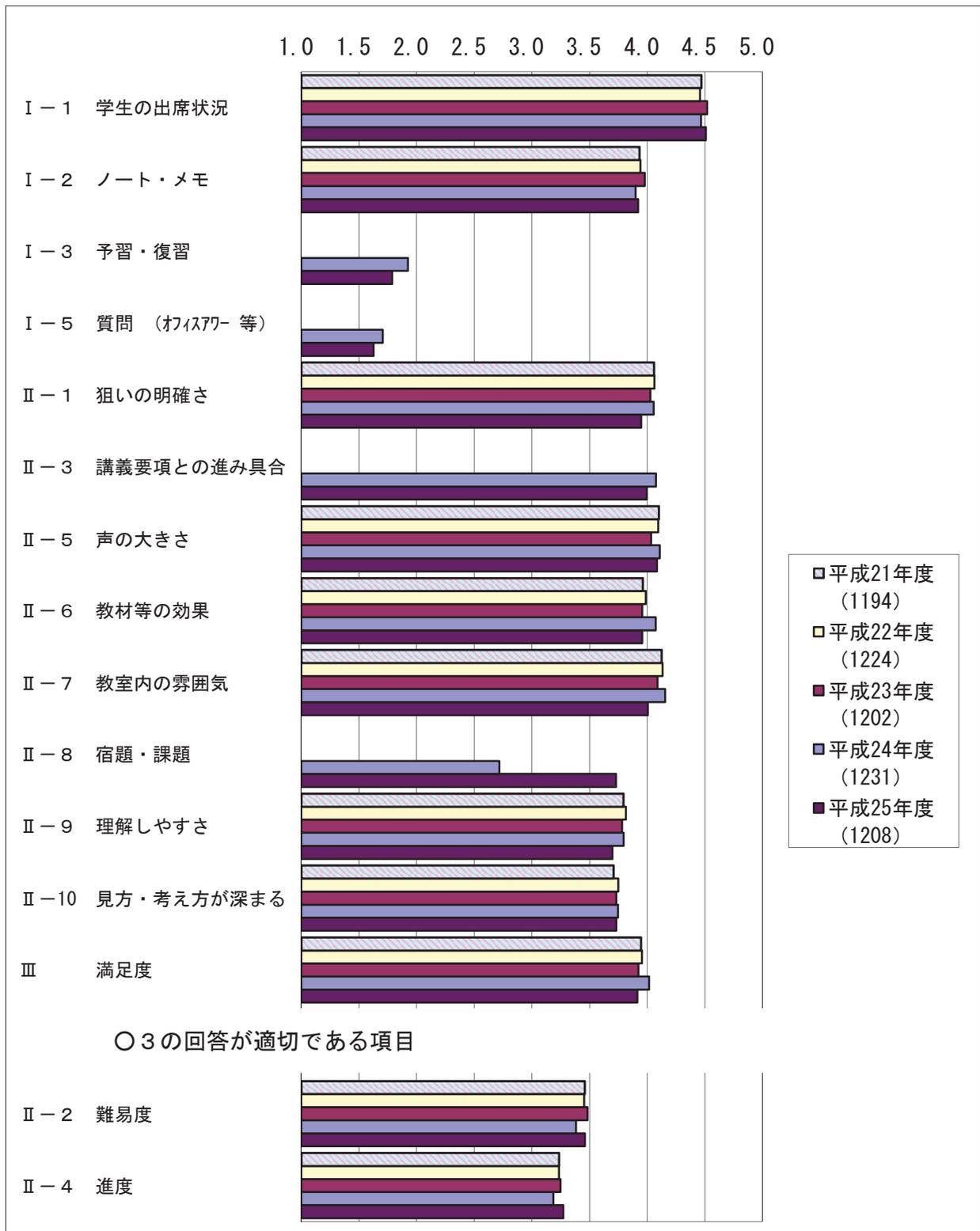
⑨ 教職・社教・日語科目



⑩ ゼミ・外書講読科目



⑪ 全体（講義等科目）



(2) 学生所属別平均値・標準偏差 (講義科目)

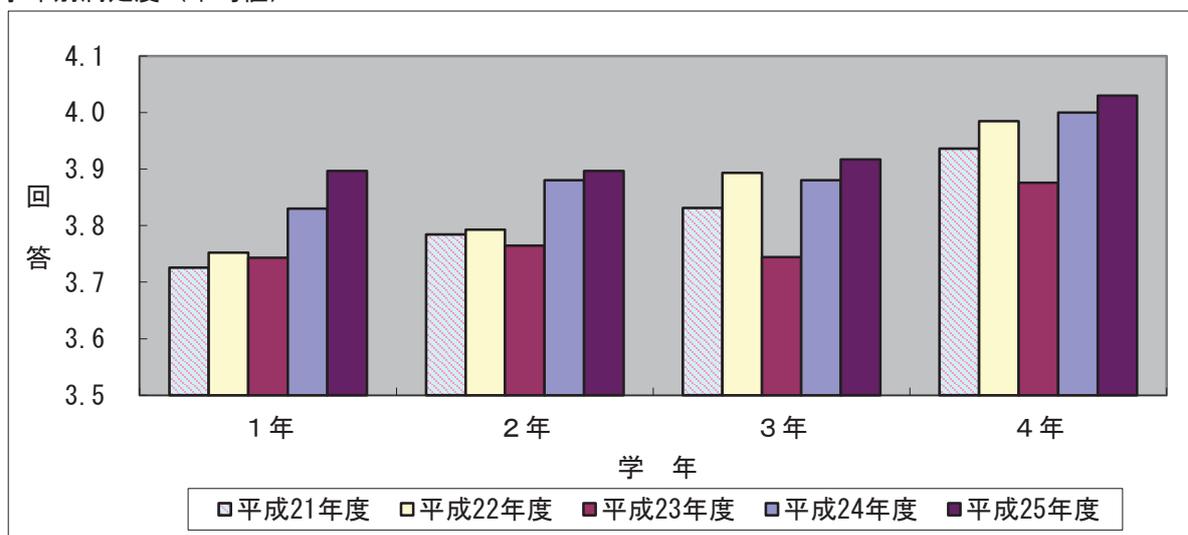
① 学年別

設問項目	区分	1年	2年	3年	4年
		回答件数:(12710)	回答件数:(12587)	回答件数:(9455)	回答件数:(3639)
I-1 学生の出席状況	平均値	4.66	4.52	4.48	4.10
	標準偏差	0.69	0.75	0.75	0.94
I-2 ノート・メモ	平均値	3.96	3.92	3.90	3.93
	標準偏差	1.19	1.15	1.12	1.13
I-3 予習・復習	平均値	1.79	1.76	1.73	1.86
	標準偏差	1.02	1.02	1.01	1.10
I-5 質問(オフィスアワー等)	平均値	1.60	1.59	1.59	1.68
	標準偏差	1.07	1.05	1.04	1.12
II-1 狙いの明確さ	平均値	3.93	3.93	3.96	4.05
	標準偏差	1.02	1.00	0.99	0.96
II-3 講義要項との進み具合	平均値	3.99	3.98	4.00	4.08
	標準偏差	0.92	0.90	0.88	0.88
II-5 声の大きさ	平均値	4.05	4.09	4.11	4.19
	標準偏差	1.06	1.03	0.99	0.97
II-6 教材等の効果	平均値	3.92	3.94	3.99	4.07
	標準偏差	1.04	1.03	1.01	0.99
II-7 教室内の雰囲気	平均値	3.98	3.99	4.02	4.11
	標準偏差	1.02	1.00	0.97	0.95
II-8 宿題・課題	平均値	3.82	3.68	3.67	3.75
	標準偏差	1.04	1.06	1.01	1.01
II-9 理解しやすさ	平均値	3.69	3.70	3.66	3.78
	標準偏差	1.06	1.04	1.02	1.02
II-10 見方・考え方が深まる	平均値	3.69	3.71	3.75	3.87
	標準偏差	1.05	1.04	1.01	1.01
III 満足度	平均値	3.90	3.90	3.92	4.03
	標準偏差	1.04	1.02	1.00	0.97

○3の回答が適切である項目

II-2 難易度	平均値	3.47	3.45	3.47	3.44
	標準偏差	0.78	0.73	0.72	0.71
II-4 進度	平均値	3.30	3.25	3.25	3.24
	標準偏差	0.69	0.63	0.61	0.61

○学年別満足度 (平均値)



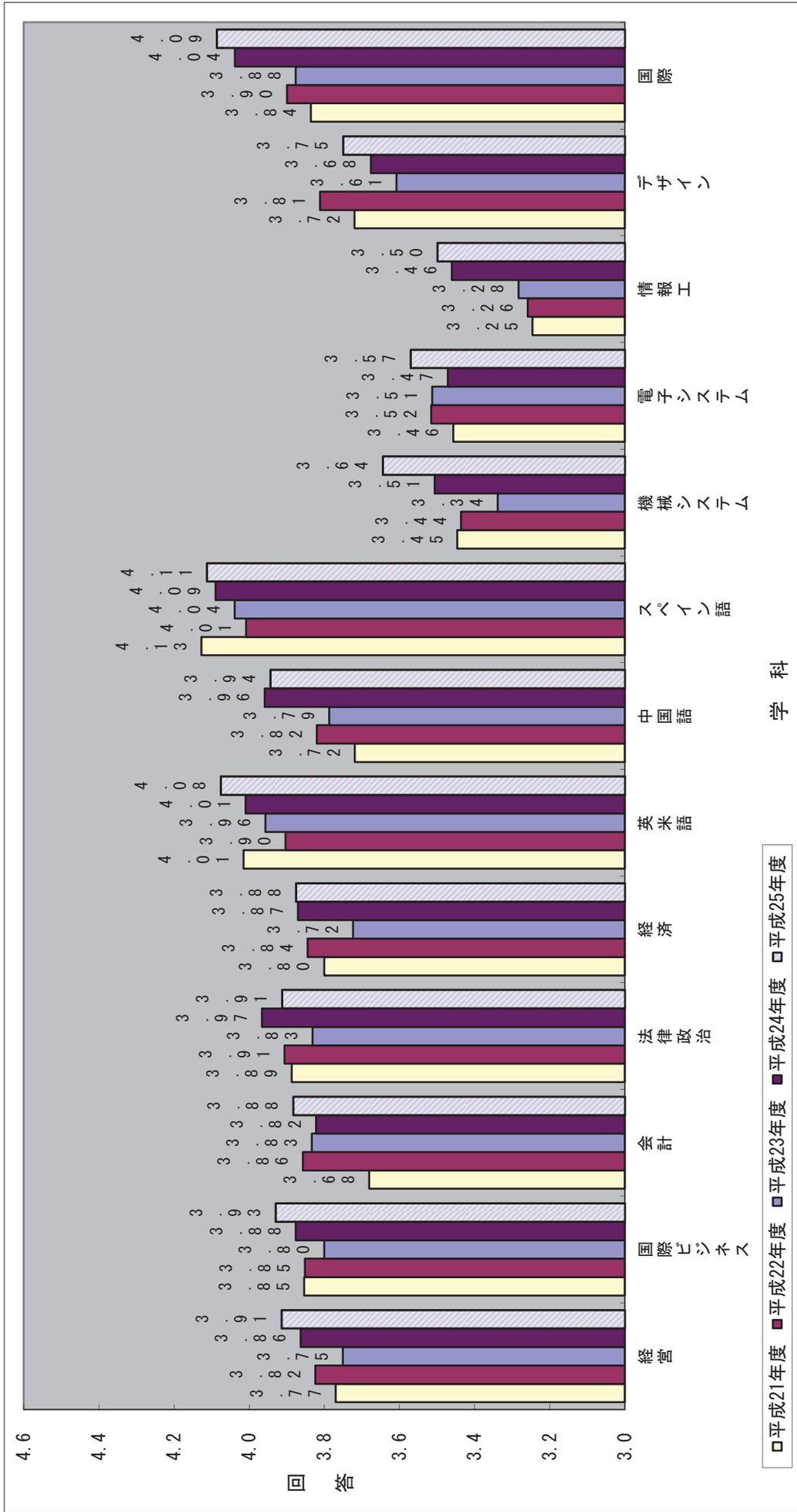
② 学科別

設問項目	区分	経営	国際ビジネス	会計	法律政治	経済	英米語	中国語	スペイン語	機械システム	電子システム	情報工	デザイン	国際
		回答件数 : (6681)	回答件数 : (2327)	回答件数 : (1249)	回答件数 : (4190)	回答件数 : (6922)	回答件数 : (1662)	回答件数 : (589)	回答件数 : (830)	回答件数 : (1462)	回答件数 : (1223)	回答件数 : (1454)	回答件数 : (1087)	回答件数 : (8583)
I-1 学生の出席状況	平均値	4.56	4.50	4.60	4.43	4.45	4.66	4.57	4.60	4.75	4.69	4.62	4.62	4.43
	標準偏差	0.75	0.76	0.70	0.82	0.79	0.65	0.69	0.70	0.59	0.65	0.68	0.68	0.81
I-2 ノート・メモ	平均値	4.07	3.97	4.16	4.03	3.97	3.93	3.85	3.94	3.85	3.73	3.70	3.70	3.80
	標準偏差	1.11	1.15	1.06	1.11	1.13	1.20	1.24	1.14	1.22	1.20	1.20	1.21	1.17
I-3 予習・復習	平均値	1.72	1.87	1.75	1.68	1.70	1.85	1.98	2.06	1.74	1.90	1.76	1.64	1.83
	標準偏差	1.03	1.12	0.94	0.95	1.00	1.02	1.02	1.13	1.02	1.10	1.05	0.94	1.04
I-5 質問(オフィス等)	平均値	1.58	1.79	1.44	1.51	1.56	1.33	1.79	1.68	1.69	1.93	1.64	1.55	1.64
	標準偏差	1.05	1.21	0.88	0.99	1.04	0.85	1.22	1.13	1.07	1.20	1.08	0.97	1.08
II-1 狙いの明確さ	平均値	3.94	3.98	3.98	3.92	3.93	4.07	4.01	4.11	3.73	3.69	3.69	3.71	4.08
	標準偏差	1.00	0.98	0.99	1.02	1.01	0.95	1.02	0.98	1.01	1.00	1.02	1.01	0.97
II-3 講義要項との進み具合	平均値	3.97	3.98	4.04	4.03	4.00	4.10	4.17	4.14	3.81	3.80	3.78	3.90	4.08
	標準偏差	0.89	0.90	0.86	0.90	0.90	0.88	0.89	0.89	0.90	0.90	0.87	0.86	0.90
II-5 声の大きさ	平均値	4.07	4.11	4.10	4.07	4.08	4.24	4.11	4.24	3.83	3.87	3.85	3.92	4.20
	標準偏差	1.04	1.00	1.02	1.04	1.04	0.98	1.07	1.00	1.08	1.01	1.06	1.08	0.97
II-6 教材等の効果	平均値	3.92	3.94	3.93	3.92	3.95	4.12	3.97	4.11	3.83	3.67	3.75	3.86	4.09
	標準偏差	1.02	1.01	1.02	1.08	1.02	0.95	0.99	1.04	1.01	1.05	1.06	1.04	0.99
II-7 教室内の雰囲気	平均値	3.99	4.02	3.99	4.07	4.01	4.17	4.08	4.16	3.79	3.67	3.50	3.66	4.14
	標準偏差	0.98	0.96	1.04	0.98	1.00	0.96	0.98	0.99	1.00	0.98	1.03	1.06	0.95
II-8 宿題・課題	平均値	3.72	3.80	3.75	3.59	3.69	3.91	3.87	3.96	3.65	3.56	3.58	3.53	3.83
	標準偏差	1.03	1.03	1.01	1.06	1.03	1.06	1.06	1.01	0.96	0.95	0.95	1.03	1.07
II-9 理解しやすさ	平均値	3.65	3.72	3.65	3.65	3.61	3.87	3.84	3.98	3.41	3.37	3.26	3.50	3.94
	標準偏差	1.02	1.04	1.02	1.05	1.03	0.98	1.04	0.97	1.02	1.03	1.06	1.03	1.00
II-10 見方・考え方が深まる	平均値	3.69	3.71	3.63	3.74	3.68	3.84	3.68	3.81	3.44	3.38	3.31	3.61	3.96
	標準偏差	1.02	1.06	1.05	1.03	1.02	1.02	1.07	1.06	1.01	1.03	1.04	1.00	1.00
III 満足度	平均値	3.91	3.93	3.88	3.91	3.88	4.08	3.94	4.11	3.64	3.57	3.50	3.75	4.09
	標準偏差	1.00	1.02	0.98	1.02	1.01	0.97	1.07	0.99	1.02	1.00	1.06	1.01	0.99

○3の回答が適切である項目

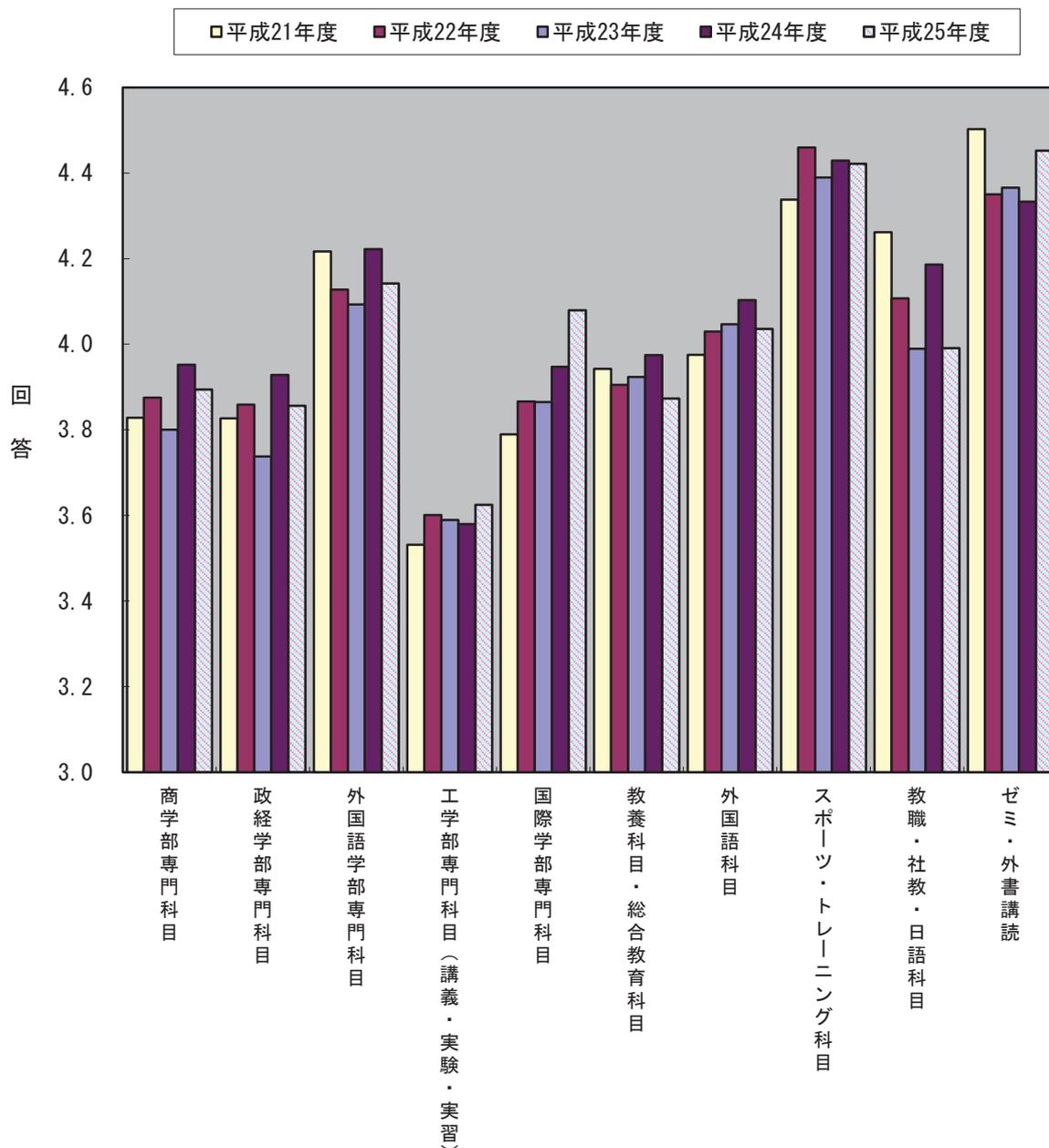
II-2 難易度	平均値	3.48	3.48	3.49	3.43	3.48	3.37	3.55	3.41	3.50	3.57	3.64	3.44	3.40
	標準偏差	0.73	0.76	0.77	0.74	0.73	0.73	0.77	0.72	0.77	0.78	0.81	0.77	0.71
II-4 進度	平均値	3.30	3.29	3.29	3.21	3.28	3.22	3.35	3.21	3.29	3.35	3.40	3.25	3.22
	標準偏差	0.65	0.67	0.64	0.62	0.66	0.63	0.68	0.57	0.69	0.70	0.72	0.62	0.60

○学科別満足度（平均値）



(3) 満足度 平均値

① 学科目別

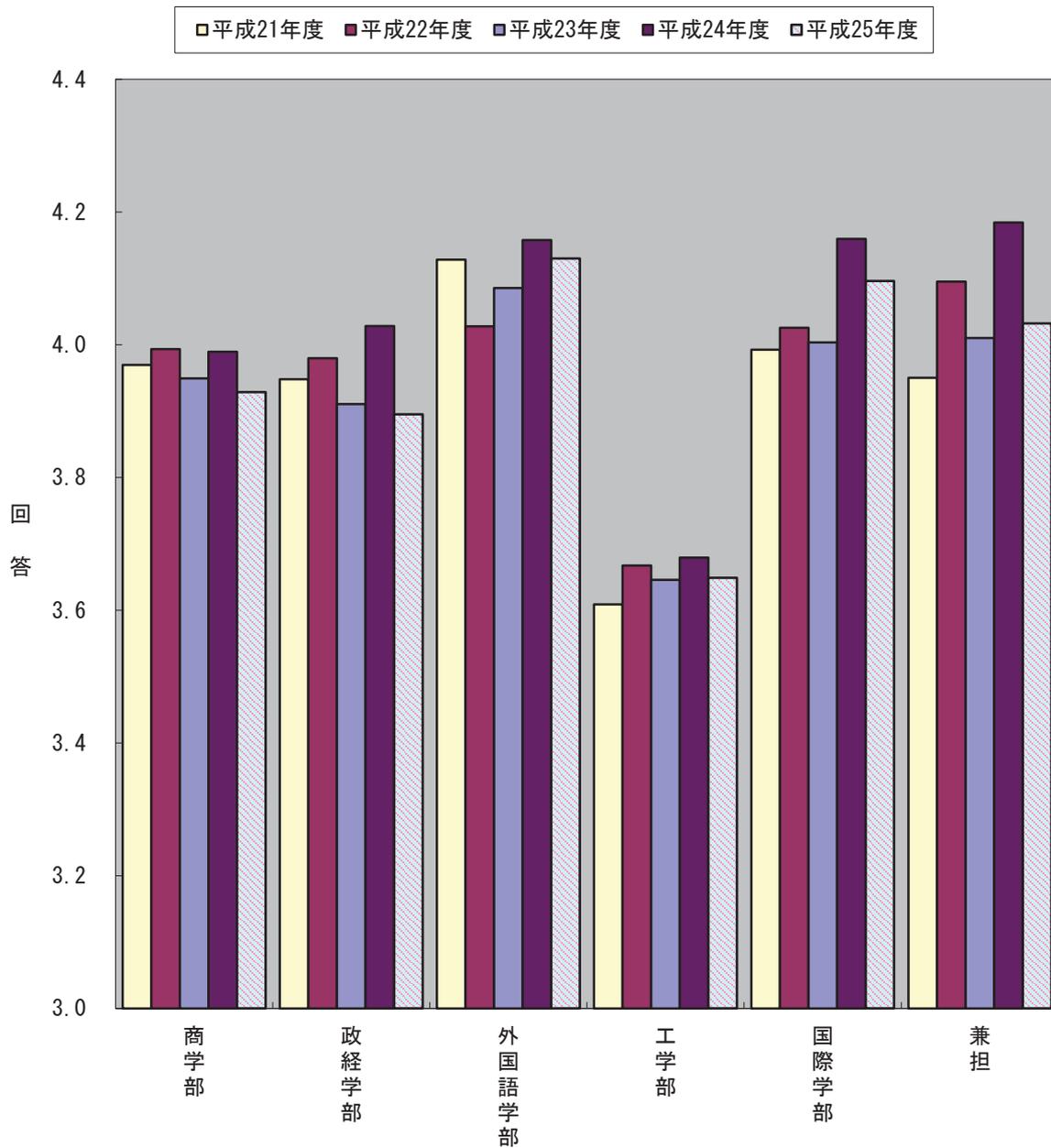


○科目数

平成21年度	130	142	105	106	65	147	448	29	38	47
平成22年度	126	143	111	116	66	146	471	28	38	39
平成23年度	140	146	115	124	79	138	428	26	32	35
平成24年度	136	132	113	127	73	139	464	26	37	33
平成25年度	144	129	120	132	78	127	446	26	31	31

学科目

② 所属別



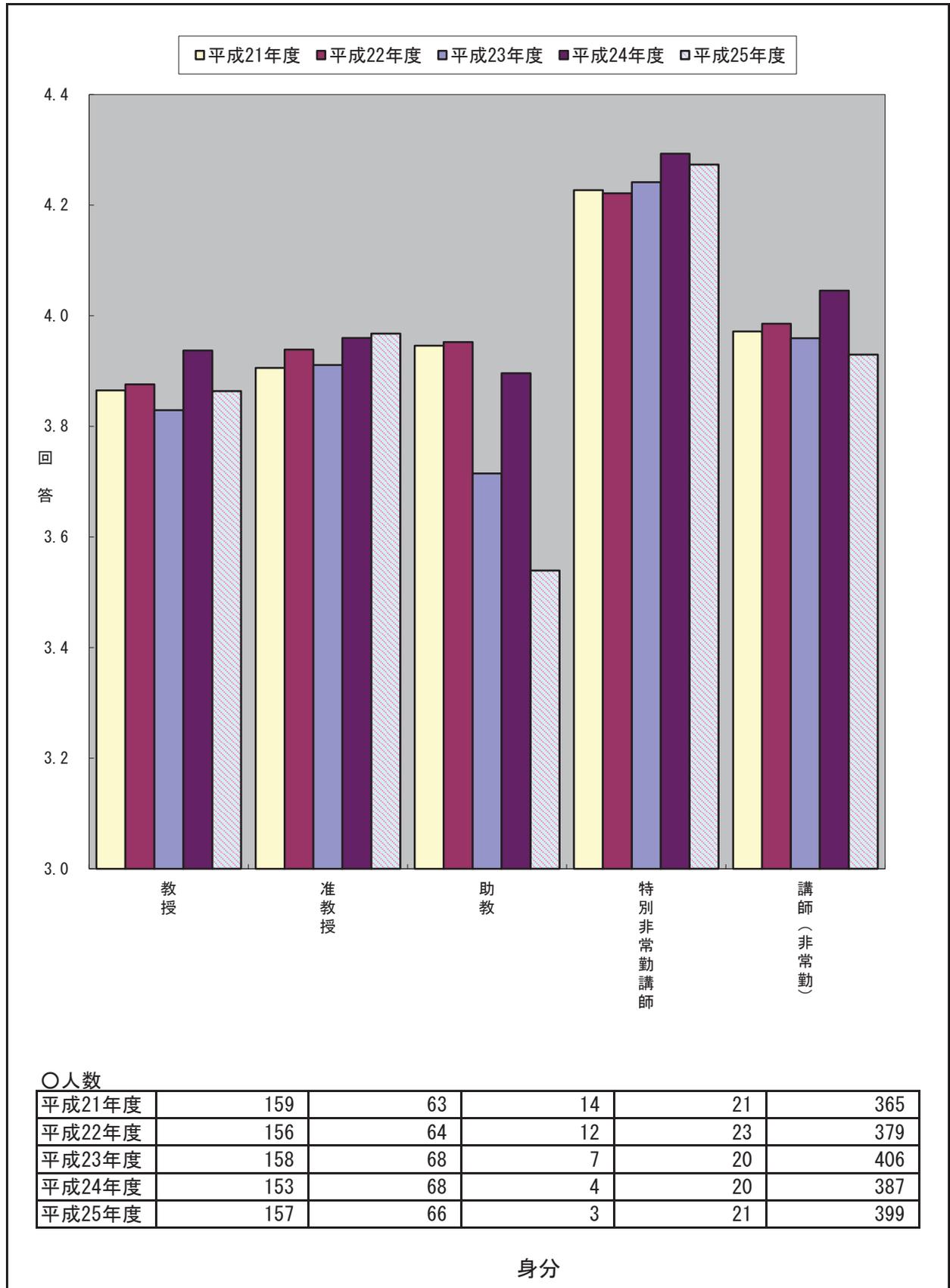
○人数

平成21年度	166	170	88	90	80	28
平成22年度	164	176	88	100	80	26
平成23年度	174	177	84	106	89	30
平成24年度	164	170	81	109	85	23
平成25年度	172	169	85	109	85	26

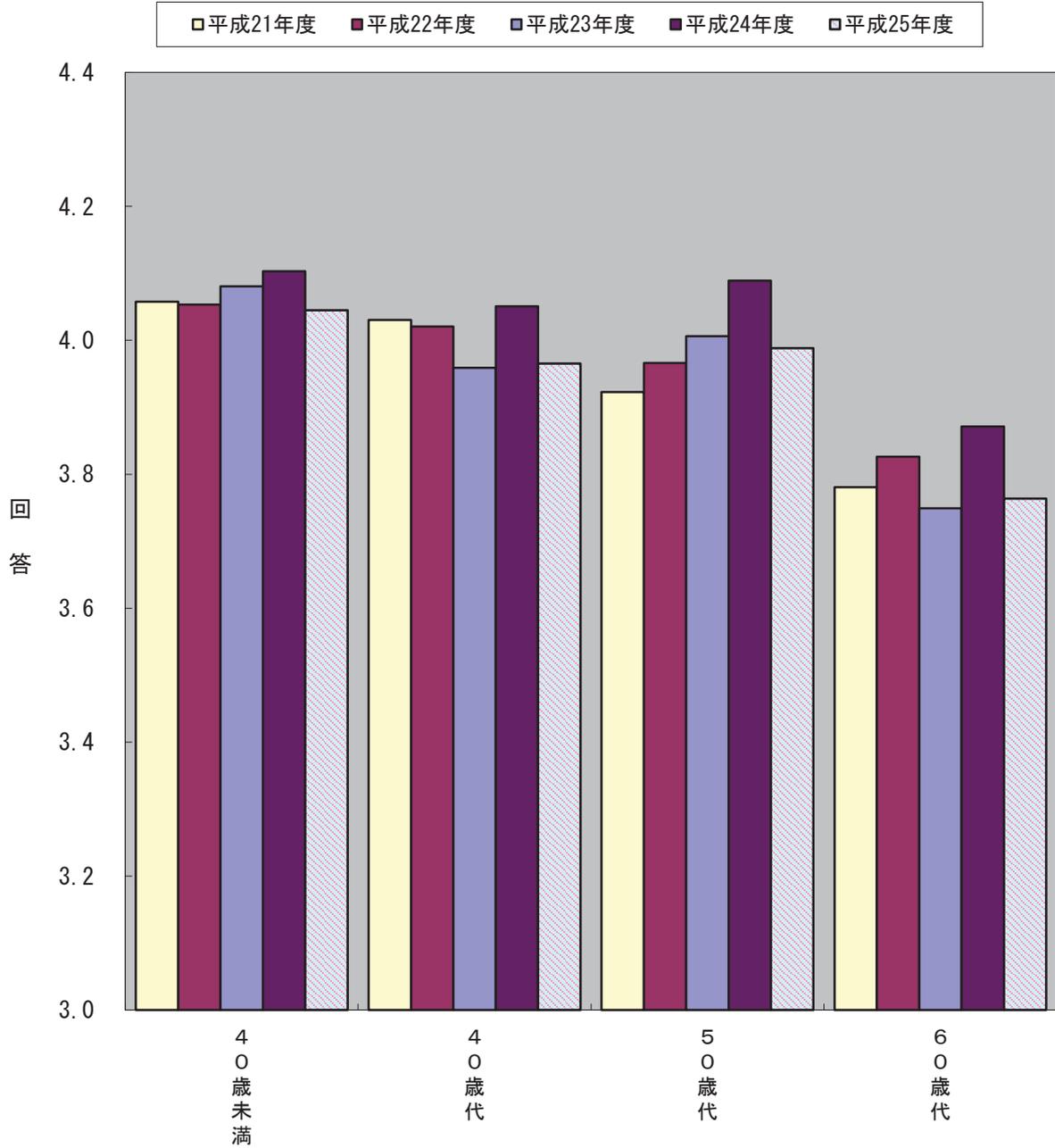
※講師（非常勤）を含む

学部

③ 身分別



④ 年齢別



○人数

平成21年度	106	176	195	143
平成22年度	106	177	191	160
平成23年度	91	168	211	190
平成24年度	76	168	201	187
平成25年度	74	180	191	201

年齢

5. 学科目別 回答の分析

(1) 商学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.56%	1.09%	8.44%	22.99%	66.92%
I-2	3.75%	4.43%	15.13%	27.94%	48.75%
I-3	55.59%	21.12%	15.02%	4.67%	3.60%
I-4	11.81%	2.59%	44.38%	12.51%	28.72%
I-5	68.82%	10.87%	11.85%	5.03%	3.44%
II-1	2.34%	4.55%	23.43%	34.44%	35.24%
II-2	0.67%	2.56%	51.00%	35.15%	10.61%
II-3	1.13%	1.99%	28.42%	35.44%	33.03%
II-4	0.56%	2.37%	66.95%	22.94%	7.19%
II-5	2.48%	5.06%	19.33%	29.06%	44.07%
II-6	2.72%	5.16%	25.38%	32.00%	34.74%
II-7	2.01%	5.16%	23.43%	33.23%	36.18%
II-8	3.13%	5.22%	37.02%	27.72%	26.91%
II-9	3.51%	8.27%	32.22%	34.35%	21.65%
II-10	3.95%	6.06%	31.81%	33.93%	24.24%
III	2.63%	4.64%	25.40%	35.33%	32.00%

(2) 政経学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.93%	1.14%	11.75%	26.52%	59.66%
I-2	5.15%	5.29%	18.94%	28.64%	41.98%
I-3	58.96%	22.09%	12.82%	3.61%	2.54%
I-4	16.33%	2.03%	36.41%	12.84%	32.39%
I-5	73.74%	8.52%	10.78%	4.13%	2.82%
II-1	3.23%	4.77%	23.48%	34.91%	33.61%
II-2	0.80%	2.68%	51.26%	35.51%	9.75%
II-3	1.26%	1.93%	27.41%	34.19%	35.21%
II-4	0.73%	3.08%	70.26%	19.89%	6.04%
II-5	2.86%	5.50%	19.21%	29.80%	42.63%
II-6	3.39%	4.54%	24.91%	29.78%	37.37%
II-7	2.40%	3.96%	22.07%	32.42%	39.15%
II-8	4.18%	5.45%	41.21%	25.59%	23.58%
II-9	4.32%	8.76%	32.16%	34.42%	20.34%
II-10	3.72%	5.92%	31.34%	34.93%	24.09%
III	3.26%	4.76%	25.79%	35.52%	30.67%

(3) 外国語学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.09%	0.86%	8.08%	19.75%	71.21%
I-2	5.86%	6.00%	17.86%	27.81%	42.48%
I-3	38.07%	27.03%	25.26%	6.41%	3.23%
I-4	7.02%	1.45%	53.31%	12.14%	26.07%
I-5	71.90%	10.70%	9.34%	4.55%	3.51%
II-1	1.36%	4.26%	18.48%	30.84%	45.06%
II-2	1.36%	3.76%	57.10%	30.93%	6.85%
II-3	0.68%	1.50%	23.33%	30.11%	44.37%
II-4	0.68%	2.90%	72.68%	18.53%	5.21%
II-5	1.47%	3.86%	14.70%	24.87%	55.11%
II-6	1.63%	2.59%	21.43%	29.10%	45.26%
II-7	1.41%	2.91%	16.52%	29.40%	49.75%
II-8	2.00%	3.54%	25.36%	28.22%	40.88%
II-9	1.41%	3.86%	23.39%	36.29%	35.06%
II-10	3.08%	4.35%	28.20%	33.36%	31.01%
III	1.86%	3.63%	17.48%	32.52%	44.50%

(4) 工学部専門科目 (講義科目)

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.32%	0.41%	7.25%	17.01%	75.01%
I-2	7.44%	7.71%	23.26%	28.67%	32.93%
I-3	53.75%	21.32%	16.75%	5.23%	2.94%
I-4	10.31%	1.89%	63.31%	7.74%	16.74%
I-5	60.77%	12.72%	17.08%	5.98%	3.44%
II-1	3.32%	7.04%	31.00%	34.96%	23.69%
II-2	0.96%	3.06%	46.22%	35.25%	14.51%
II-3	1.56%	2.43%	36.63%	34.22%	25.15%
II-4	0.94%	2.56%	64.36%	23.58%	8.57%
II-5	3.73%	5.98%	25.66%	33.41%	31.21%
II-6	4.03%	6.06%	30.50%	31.80%	27.61%
II-7	3.88%	8.70%	34.46%	32.39%	20.57%
II-8	3.16%	5.89%	41.58%	30.15%	19.22%
II-9	6.16%	12.51%	39.33%	28.72%	13.28%
II-10	6.18%	8.88%	41.47%	28.98%	14.49%
III	4.82%	7.73%	35.77%	32.42%	19.25%

(5) 工学部専門科目 (実験・実習科目)

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.00%	0.56%	2.71%	11.72%	85.01%
I-2	12.17%	8.27%	29.28%	26.01%	24.26%
I-3	4.27%	2.50%	22.79%	28.10%	42.35%
I-4	0.24%	3.31%	28.06%	35.56%	32.82%
II-1	1.76%	3.20%	20.14%	33.57%	41.33%
II-2	0.80%	3.51%	38.39%	41.18%	16.12%
II-3	0.72%	2.79%	54.14%	31.77%	10.59%
II-4	3.27%	8.13%	30.22%	31.50%	26.87%
II-5	1.68%	5.44%	22.64%	32.88%	37.36%
II-6	2.16%	4.08%	27.98%	34.29%	31.49%
II-7	1.44%	3.60%	28.48%	35.68%	30.80%
II-8	0.96%	4.80%	26.38%	37.41%	30.46%
II-9	2.55%	6.61%	27.17%	39.20%	24.46%
II-10	1.28%	3.19%	26.68%	41.85%	27.00%
II-11	1.68%	4.24%	27.90%	38.13%	28.06%
III	1.76%	4.24%	25.74%	35.33%	32.93%

(6) 国際学部専門科目

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.73%	1.46%	15.04%	30.04%	52.74%
I-2	7.98%	7.74%	26.75%	27.09%	30.44%
I-3	60.40%	19.85%	13.18%	3.44%	3.13%
I-4	10.28%	1.97%	33.90%	17.98%	35.87%
I-5	67.39%	10.73%	13.68%	4.69%	3.51%
II-1	2.43%	3.93%	21.96%	31.18%	40.50%
II-2	0.66%	2.03%	63.70%	26.17%	7.43%
II-3	0.87%	1.95%	26.20%	32.06%	38.92%
II-4	0.35%	1.90%	80.18%	13.59%	3.98%
II-5	2.30%	3.57%	17.03%	29.01%	48.09%
II-6	2.08%	3.97%	20.87%	28.80%	44.28%
II-7	1.44%	3.00%	20.44%	31.07%	44.04%
II-8	5.07%	5.10%	37.64%	22.95%	29.24%
II-9	2.90%	5.16%	25.37%	32.59%	33.97%
II-10	2.21%	3.96%	22.82%	31.67%	39.33%
III	2.40%	3.53%	21.27%	29.34%	43.46%

(7) 教養科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.87%	1.16%	10.43%	20.96%	66.58%
I-2	8.85%	6.60%	21.67%	25.42%	37.45%
I-3	69.15%	16.20%	9.40%	2.56%	2.69%
I-4	19.36%	4.35%	35.44%	6.66%	34.20%
I-5	75.62%	8.26%	9.26%	3.87%	2.98%
II-1	3.24%	5.36%	26.61%	31.24%	33.56%
II-2	1.21%	3.43%	57.97%	27.80%	9.60%
II-3	1.40%	2.06%	30.50%	31.92%	34.12%
II-4	1.06%	2.54%	72.36%	17.58%	6.46%
II-5	3.20%	5.53%	20.16%	26.56%	44.56%
II-6	3.51%	4.99%	26.79%	28.31%	36.40%
II-7	3.03%	5.55%	25.29%	30.82%	35.31%
II-8	5.60%	4.90%	39.78%	23.11%	26.61%
II-9	4.17%	7.33%	30.66%	33.30%	24.54%
II-10	4.23%	5.88%	30.64%	32.02%	27.23%
III	3.29%	4.90%	25.93%	32.99%	32.88%

(8) 外国語科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.43%	0.97%	9.88%	20.55%	68.17%
I-2	3.47%	4.03%	18.50%	31.36%	42.65%
I-3	38.02%	32.71%	21.29%	4.99%	2.99%
I-4	2.95%	2.62%	59.35%	10.77%	24.31%
I-5	64.72%	12.45%	13.81%	5.31%	3.70%
II-1	2.00%	3.99%	20.44%	34.27%	39.29%
II-2	1.11%	3.88%	55.64%	31.00%	8.36%
II-3	0.97%	1.66%	26.38%	32.37%	38.62%
II-4	0.90%	3.14%	71.64%	19.06%	5.26%
II-5	1.99%	3.68%	16.75%	27.97%	49.61%
II-6	2.00%	3.44%	23.19%	30.63%	40.74%
II-7	1.34%	3.28%	18.15%	32.10%	45.13%
II-8	1.71%	3.29%	25.32%	31.69%	37.99%
II-9	2.53%	6.10%	24.84%	34.51%	32.03%
II-10	3.50%	5.51%	30.60%	31.46%	28.92%
III	2.53%	4.24%	20.87%	31.84%	40.52%

(9) スポーツ・トレーニング科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.17%	0.34%	8.50%	16.50%	74.49%
I-2	1.53%	2.37%	15.42%	28.98%	51.69%
I-3	0.51%	1.36%	8.18%	29.13%	60.82%
I-4	2.72%	3.35%	44.56%	9.83%	39.54%
II-1	0.51%	0.85%	14.04%	31.30%	53.30%
II-2	3.56%	4.58%	69.83%	13.90%	8.14%
II-3	1.19%	2.90%	82.94%	5.97%	7.00%
II-4	0.51%	1.87%	25.51%	26.36%	45.75%
II-5	0.17%	1.02%	13.78%	23.30%	61.73%
II-6	1.02%	2.20%	17.43%	29.78%	49.58%
II-7	0.51%	1.36%	14.29%	29.76%	54.08%
II-8	0.17%	0.68%	11.86%	31.36%	55.93%
II-9	0.51%	0.34%	13.90%	31.53%	53.73%
II-10	0.51%	1.02%	18.64%	32.20%	47.63%
II-11	0.51%	1.36%	13.41%	33.79%	50.93%
III	0.85%	1.19%	12.12%	26.62%	59.22%

(10) 教職・社教・日語科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.11%	1.06%	10.15%	29.39%	59.30%
I-2	1.28%	2.98%	19.89%	29.79%	46.06%
I-3	58.77%	24.21%	12.90%	1.69%	2.43%
I-4	3.39%	0.85%	73.97%	9.84%	11.96%
I-5	74.00%	10.57%	10.57%	2.64%	2.22%
II-1	1.27%	3.48%	22.15%	35.44%	37.66%
II-2	0.63%	2.01%	61.67%	30.31%	5.39%
II-3	0.64%	1.27%	27.28%	36.62%	34.18%
II-4	1.05%	4.00%	76.19%	15.17%	3.58%
II-5	1.21%	4.63%	18.74%	28.11%	47.30%
II-6	2.00%	3.59%	24.05%	30.91%	39.45%
II-7	0.53%	2.43%	18.57%	29.96%	48.52%
II-8	2.85%	3.90%	38.61%	25.63%	29.01%
II-9	2.00%	5.17%	28.69%	37.34%	26.79%
II-10	1.48%	3.79%	28.98%	36.56%	29.19%
III	1.58%	3.59%	24.16%	35.55%	35.13%

(11) ゼミ・外書講読

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.29%	0.86%	8.91%	24.71%	65.23%
I-2	10.06%	5.75%	16.95%	23.56%	43.68%
I-3	40.52%	20.98%	24.14%	6.03%	8.33%
I-4	3.99%	2.49%	25.19%	27.18%	41.15%
I-5	50.72%	14.41%	16.14%	9.51%	9.22%
II-1	1.15%	2.30%	15.23%	29.02%	52.30%
II-2	0.86%	3.15%	66.48%	21.78%	7.74%
II-3	0.00%	1.16%	23.48%	23.19%	52.17%
II-4	0.29%	2.87%	82.76%	8.05%	6.03%
II-5	0.62%	1.55%	12.38%	24.77%	60.68%
II-6	1.44%	1.44%	18.68%	25.57%	52.87%
II-7	1.15%	2.31%	16.71%	25.07%	54.76%
II-8	2.01%	2.58%	26.93%	24.64%	43.84%
II-9	0.86%	1.15%	18.62%	34.96%	44.41%
II-10	1.15%	1.72%	17.19%	28.94%	51.00%
III	0.58%	0.86%	13.54%	22.77%	62.25%

(12) 全体（講義科目）

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.61%	1.04%	10.29%	22.99%	65.07%
I-2	5.69%	5.61%	19.92%	28.36%	40.41%
I-3	54.10%	23.16%	15.56%	4.17%	3.01%
I-4	12.26%	2.52%	44.54%	11.56%	29.12%
I-5	69.10%	10.53%	12.27%	4.76%	3.34%
II-1	2.60%	4.74%	23.60%	33.49%	35.57%
II-2	0.93%	3.03%	54.62%	31.85%	9.56%
II-3	1.14%	1.92%	28.42%	33.19%	35.34%
II-4	0.77%	2.73%	71.17%	19.27%	6.06%
II-5	2.58%	4.77%	19.02%	28.78%	44.85%
II-6	2.81%	4.43%	24.81%	30.14%	37.82%
II-7	2.17%	4.54%	22.69%	31.81%	38.79%
II-8	3.56%	4.74%	35.76%	27.10%	28.84%
II-9	3.61%	7.52%	29.82%	33.63%	25.42%
II-10	3.78%	5.79%	30.96%	32.55%	26.93%
III	2.95%	4.72%	24.73%	33.10%	34.50%

6. 学部設問項目 平均値・標準偏差

(1) 政経学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏
IV-1	この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか	専任教員	108	4.18	0.92
		講師(非常勤)	167	4.15	0.97
IV-2	授業に支障をきたすような私語は無い	専任教員	108	4.03	1.08
		講師(非常勤)	167	3.95	1.10

(2) 外国語学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏
IV-1	この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか	専任教員	91	4.41	0.88
		講師(非常勤)	83	4.15	0.99
IV-2	このクラスの学生数は適切ですか	専任教員	91	4.35	0.93
		講師(非常勤)	83	4.15	0.95

(3) 工学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏
IV-1	宿題や課題にどれくらい取り組んでいますか	専任教員	89	3.54	1.10
		講師(非常勤)	57	3.27	1.17
IV-2	この授業の内容について、どれくらい質問していますか	専任教員	89	2.41	1.23
		講師(非常勤)	57	2.30	1.22
IV-3	この授業で設定している到達目標について、知識や技術が身につきましたか	専任教員	89	3.28	0.99
		講師(非常勤)	57	3.14	1.02

(4) 国際学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏
IV-1	授業の開始時間、終了時間は守られている	専任教員	100	4.57	0.73
		講師(非常勤)	156	4.50	0.78
IV-2	出欠はきちんととられている	専任教員	100	4.44	0.97
		講師(非常勤)	156	4.50	0.83
IV-3	授業中、学生同士の私語はない	専任教員	100	4.17	0.97
		講師(非常勤)	156	3.84	1.07
IV-4	1年生は今後進むコースを、2年生以降は所属するコースを選んでください。①国際協力、①国際経済、②国際政治、③国際文化、④国際観光、⑤農業総合	専任教員	100	2.47	1.48
		講師(非常勤)	156	2.56	1.46

IV コース・分野・学科別集計

1. 商学部専門科目（コース別）

区 分 項 目	学 科 コ ー ス 科 目 数	経 営			国際ビジネス	会 計	全 体
		経 営	経営情報	流 通	国際ビジネス		
	科目数	44	28	17	34	31	154
I-1	平均値	4.55	4.56	4.55	4.50	4.56	4.54
	標準偏差	0.77	0.73	0.71	0.75	0.71	0.74
I-2	平均値	4.12	3.86	4.25	3.88	4.27	4.08
	標準偏差	1.08	1.30	0.95	1.14	1.03	1.12
I-3	平均値	1.82	1.65	1.74	1.90	1.82	1.79
	標準偏差	1.09	0.99	1.07	1.18	1.01	1.08
I-5	平均値	1.68	1.59	1.54	1.85	1.47	1.64
	標準偏差	1.11	1.07	1.01	1.23	0.93	1.09
II-1	平均値	3.89	3.95	3.96	4.02	4.03	3.96
	標準偏差	1.03	0.99	0.95	0.97	0.99	0.99
II-3	平均値	3.92	3.97	3.99	3.99	4.07	3.98
	標準偏差	0.91	0.88	0.87	0.90	0.86	0.89
II-5	平均値	4.01	4.01	4.06	4.19	4.16	4.07
	標準偏差	1.06	1.06	1.03	0.98	0.95	1.03
II-6	平均値	3.83	3.89	3.99	4.06	3.82	3.92
	標準偏差	1.05	1.00	0.98	0.96	1.07	1.02
II-7	平均値	3.94	3.79	4.00	4.01	4.18	3.97
	標準偏差	0.96	1.07	0.97	0.99	0.92	0.99
II-8	平均値	3.65	3.75	3.65	3.79	3.75	3.71
	標準偏差	1.02	1.03	1.00	1.02	1.00	1.02
II-9	平均値	3.58	3.67	3.64	3.78	3.54	3.64
	標準偏差	1.03	0.96	0.99	1.03	1.10	1.02
II-10	平均値	3.62	3.62	3.76	3.86	3.55	3.68
	標準偏差	1.04	0.99	0.98	1.03	1.09	1.03
III	平均値	3.84	3.90	3.91	4.03	3.85	3.90
	標準偏差	1.02	0.96	0.94	0.98	1.02	0.99

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.51	3.46	3.51	3.52	3.64	3.52
	標準偏差	0.76	0.75	0.70	0.75	0.76	0.75
II-4	平均値	3.30	3.43	3.34	3.26	3.42	3.34
	標準偏差	0.65	0.75	0.67	0.64	0.68	0.68

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / コース	経 営	経営情報	流 通	国際ビジネス	会 計	全 体
1. 講義への興味	11.9	12.8	11.0	9.7	13.6	11.7
2. 教員にひかれて	2.4	3.6	2.1	3.6	1.8	2.7
3. 単位が必要	48.7	44.0	42.9	38.4	48.1	44.6
4. 単位取得が楽	11.6	11.3	13.6	13.6	11.4	12.3
5. 時間帯が空いている	25.4	28.4	30.4	34.6	25.1	28.7
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

2. 政経学部専門科目（分野別）

区分	分野	法律	政治	行政	経済	その他	全体
設問	科目数	23	27	9	54	6	119
I-1	平均値	4.42	4.39	4.44	4.44	4.48	4.43
	標準偏差	0.81	0.86	0.82	0.80	0.76	0.81
I-2	平均値	4.10	4.07	3.66	4.01	3.99	4.02
	標準偏差	0.99	1.12	1.20	1.10	1.13	1.10
I-3	平均値	1.65	1.67	1.57	1.71	1.93	1.69
	標準偏差	0.92	0.98	0.90	1.03	0.98	1.00
I-5	平均値	1.47	1.52	1.46	1.56	1.55	1.53
	標準偏差	0.93	1.01	0.96	1.06	0.97	1.02
II-1	平均値	3.96	3.99	3.70	3.88	3.94	3.91
	標準偏差	0.93	1.02	1.12	1.03	1.00	1.02
II-3	平均値	3.97	4.08	4.01	3.98	4.01	4.00
	標準偏差	0.87	0.88	0.90	0.92	0.92	0.90
II-5	平均値	4.10	4.09	4.00	4.03	3.60	4.04
	標準偏差	0.96	1.02	1.10	1.06	1.19	1.04
II-6	平均値	3.93	3.97	3.75	3.95	3.74	3.93
	標準偏差	1.00	1.10	1.16	1.04	1.07	1.05
II-7	平均値	4.05	4.17	4.12	3.94	4.07	4.02
	標準偏差	0.91	0.92	0.96	1.04	0.94	0.99
II-8	平均値	3.57	3.52	3.39	3.61	3.94	3.58
	標準偏差	0.97	1.09	1.09	1.03	1.05	1.04
II-9	平均値	3.63	3.66	3.46	3.51	3.62	3.56
	標準偏差	0.94	1.07	1.08	1.06	1.06	1.05
II-10	平均値	3.81	3.81	3.64	3.64	3.55	3.70
	標準偏差	0.92	1.02	1.07	1.03	1.06	1.02
III	平均値	3.93	3.94	3.77	3.81	3.75	3.85
	標準偏差	0.94	1.02	1.08	1.03	1.03	1.02

その他：アカデミック・スキル等

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.48	3.49	3.46	3.54	3.50	3.51
	標準偏差	0.66	0.73	0.72	0.76	0.81	0.73
II-4	平均値	3.20	3.27	3.18	3.31	3.26	3.27
	標準偏差	0.54	0.61	0.60	0.69	0.63	0.64

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回答 / 分野	法律	政治	行政	経済	その他	全体
1. 講義への興味	14.9	16.2	16.3	17.2	19.4	16.6
2. 教員にひかれて	1.1	1.4	1.6	2.3	3.4	1.9
3. 単位が必要	34.2	31.5	36.2	37.8	41.8	36.0
4. 単位取得が楽	15.3	14.9	13.3	12.0	3.8	13.0
5. 時間帯が空いている	34.5	35.9	32.6	30.7	31.6	32.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

3. 外国語学部専門科目（学科別）

区 分	学 科	英米語	中国語	スペイン語	自由科目	全 体
設 問	科目数	52	25	34	9	120
I-1	平均値	4.62	4.61	4.57	4.65	4.61
	標準偏差	0.67	0.67	0.70	0.68	0.68
I-2	平均値	4.01	4.09	4.06	3.15	3.95
	標準偏差	1.13	1.08	1.06	1.43	1.17
I-3	平均値	2.14	2.18	2.26	1.33	2.10
	標準偏差	1.07	1.01	1.14	0.80	1.08
I-5	平均値	1.41	1.89	1.74	1.35	1.57
	標準偏差	0.92	1.24	1.13	0.94	1.06
II-1	平均値	4.16	4.08	4.23	3.94	4.14
	標準偏差	0.93	0.98	0.92	1.07	0.95
II-3	平均値	4.13	4.19	4.29	3.94	4.16
	標準偏差	0.88	0.89	0.83	0.92	0.88
II-5	平均値	4.37	4.14	4.31	4.07	4.28
	標準偏差	0.89	1.07	0.92	0.98	0.95
II-6	平均値	4.21	4.00	4.20	3.92	4.14
	標準偏差	0.92	0.97	0.97	0.93	0.95
II-7	平均値	4.31	4.10	4.29	3.97	4.23
	標準偏差	0.84	1.01	0.92	1.04	0.92
II-8	平均値	4.10	3.99	4.13	3.49	4.02
	標準偏差	0.96	0.97	0.92	1.15	0.99
II-9	平均値	4.02	3.92	4.12	3.73	4.00
	標準偏差	0.89	0.99	0.89	1.04	0.93
II-10	平均値	3.92	3.72	3.89	3.65	3.85
	標準偏差	0.98	1.04	0.98	1.12	1.01
III	平均値	4.18	4.03	4.24	3.95	4.14
	標準偏差	0.91	1.04	0.91	1.05	0.96

自由科目：情報スキルI等

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.34	3.48	3.41	3.31	3.38
	標準偏差	0.71	0.77	0.69	0.77	0.73
II-4	平均値	3.21	3.34	3.22	3.30	3.25
	標準偏差	0.61	0.69	0.55	0.70	0.62

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / 学 科	英米語	中国語	スペイン語	自由科目	全 体
1. 講義への興味	8.1	5.4	5.1	8.7	7.0
2. 教員にひかれて	0.9	1.6	1.5	4.1	1.4
3. 単位が必要	49.0	63.3	58.1	47.7	53.3
4. 単位取得が楽	11.1	14.7	14.3	8.1	12.1
5. 時間帯が空いている	31.0	15.0	21.0	31.4	26.1
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

4. 工学部専門科目

(1) 実験・実習科目 (学科別)

区分	学科	機械	電子システム	情報	デザイン	基礎教育	全体
設問	科目数	3	7	6	13	1	30
I-1	平均値	4.90	4.88	4.84	4.74	4.92	4.81
	標準偏差	0.39	0.39	0.43	0.57	0.35	0.49
I-2	平均値	2.85	3.18	3.39	3.59	4.66	3.42
	標準偏差	1.43	1.28	1.33	1.14	0.62	1.27
I-3	平均値	3.88	4.09	4.30	3.83	4.74	4.02
	標準偏差	1.19	1.04	0.90	1.09	0.55	1.07
I-4	平均値	3.78	4.12	4.07	3.88	4.27	3.97
	標準偏差	0.92	0.86	0.85	0.87	0.68	0.87
II-1	平均値	4.17	4.17	3.91	4.12	4.18	4.10
	標準偏差	0.96	0.88	1.03	0.93	0.82	0.94
II-4	平均値	3.75	3.86	3.36	3.78	3.74	3.71
	標準偏差	1.03	0.93	1.14	1.04	0.99	1.05
II-5	平均値	4.01	3.97	3.73	4.12	3.86	3.99
	標準偏差	1.00	0.93	1.08	0.93	1.04	0.98
II-6	平均値	4.09	3.95	3.72	3.89	4.00	3.89
	標準偏差	0.86	0.88	1.13	0.95	0.83	0.97
II-7	平均値	4.12	3.95	3.75	3.91	4.03	3.91
	標準偏差	0.82	0.85	1.06	0.92	0.71	0.93
II-8	平均値	3.80	3.91	4.00	3.89	4.18	3.92
	標準偏差	1.05	0.88	0.91	0.90	0.76	0.92
II-9	平均値	3.48	3.79	3.63	3.86	3.95	3.76
	標準偏差	1.08	0.92	1.08	0.92	0.72	0.98
II-10	平均値	3.59	3.89	3.86	3.99	3.95	3.90
	標準偏差	0.94	0.87	0.94	0.83	0.76	0.88
II-11	平均値	3.55	3.74	3.69	4.08	3.95	3.87
	標準偏差	1.00	0.94	0.99	0.84	0.76	0.93
III	平均値	3.77	3.91	3.76	4.06	4.03	3.93
	標準偏差	0.99	0.90	1.02	0.93	0.81	0.95

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.85	3.49	3.67	3.75	3.58	3.68
	標準偏差	0.73	0.83	0.89	0.77	0.63	0.81
II-3	平均値	3.44	3.46	3.42	3.56	3.16	3.49
	標準偏差	0.69	0.78	0.82	0.71	0.54	0.75

(注) : 「実験・実習用アンケート」で実施した演習等科目を含む。

(2) 学科・学科目別(講義科目)

区分	学科	機 械	電子システム	情 報	デザイン	基礎教育系列	全 体
設 問	科目数	20	18	19	8	37	102
I-1	平均値	4.71	4.61	4.62	4.56	4.74	4.66
	標準偏差	0.61	0.72	0.68	0.68	0.61	0.66
I-2	平均値	3.70	3.62	3.66	3.67	3.89	3.72
	標準偏差	1.26	1.18	1.17	1.13	1.24	1.21
I-3	平均値	1.74	1.97	1.80	1.77	1.84	1.82
	標準偏差	1.09	1.09	1.08	1.04	1.04	1.07
I-5	平均値	1.75	2.01	1.70	1.66	1.80	1.79
	標準偏差	1.14	1.17	1.12	0.99	1.15	1.13
II-1	平均値	3.69	3.65	3.62	3.81	3.72	3.69
	標準偏差	1.01	0.99	1.02	0.96	1.04	1.01
II-3	平均値	3.75	3.74	3.73	3.89	3.87	3.79
	標準偏差	0.93	0.91	0.88	0.84	0.91	0.90
II-5	平均値	3.79	3.81	3.81	3.90	3.85	3.82
	標準偏差	1.12	0.98	1.06	1.03	1.05	1.06
II-6	平均値	3.77	3.59	3.72	4.03	3.66	3.73
	標準偏差	1.04	1.03	1.10	0.98	1.04	1.05
II-7	平均値	3.64	3.60	3.38	3.60	3.66	3.57
	標準偏差	1.02	0.95	1.06	1.00	1.06	1.03
II-8	平均値	3.58	3.50	3.52	3.53	3.65	3.56
	標準偏差	0.97	0.92	0.94	1.02	1.00	0.97
II-9	平均値	3.30	3.20	3.12	3.55	3.46	3.30
	標準偏差	1.03	1.01	1.05	0.95	1.08	1.05
II-10	平均値	3.35	3.24	3.21	3.80	3.43	3.37
	標準偏差	1.01	1.01	1.04	0.95	1.04	1.03
III	平均値	3.52	3.44	3.36	3.84	3.65	3.54
	標準偏差	1.03	0.98	1.05	0.94	1.07	1.04

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.58	3.66	3.72	3.45	3.49	3.59
	標準偏差	0.81	0.79	0.82	0.72	0.81	0.81
II-4	平均値	3.34	3.38	3.44	3.28	3.33	3.36
	標準偏差	0.73	0.71	0.73	0.62	0.71	0.71

※1-4「受講動機」回答の分布(複数回答可)

単位：%

回答/学科	機 械	電子システム	情 報	デザイン	基礎教育系列	全 体
1. 講義への興味	5.8	7.8	14.5	11.9	10.5	10.3
2. 教員にひかれて	2.4	0.9	0.8	3.3	2.6	1.9
3. 単位が必要	65.3	67.5	65.6	51.4	62.7	63.3
4. 単位取得が楽	9.4	10.3	6.9	4.9	7.0	7.7
5. 時間帯が空いている	17.1	13.6	12.2	28.5	17.3	16.7
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

5. 国際学部科目

(1) 英語群 (配当学年、回答者の学年で分類)

区 分	回答者学年	1年配当 (1年)	1年配当 (2～4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
設 問	科 目 数	54	20	42	14	2	99
I-1	平 均 値	4.61	3.76	4.47	3.79	4.60	4.53
	標 準 偏 差	0.74	1.00	0.75	0.86	0.49	0.76
I-2	平 均 値	3.92	3.42	3.74	3.86	4.20	3.83
	標 準 偏 差	1.08	1.16	1.14	1.19	0.75	1.11
I-3	平 均 値	2.02	1.82	2.20	2.64	2.20	2.10
	標 準 偏 差	1.04	1.03	1.04	1.34	0.40	1.05
I-5	平 均 値	1.61	2.03	1.71	2.36	1.20	1.66
	標 準 偏 差	1.04	1.20	1.10	1.17	0.40	1.07
II-1	平 均 値	4.11	3.94	4.04	4.50	4.60	4.08
	標 準 偏 差	0.95	0.94	0.97	0.63	0.80	0.96
II-3	平 均 値	4.10	4.00	4.03	4.36	4.40	4.07
	標 準 偏 差	0.90	0.80	0.90	0.72	0.80	0.90
II-5	平 均 値	4.22	4.24	4.29	4.46	4.60	4.25
	標 準 偏 差	0.94	1.07	0.92	0.84	0.80	0.93
II-6	平 均 値	4.11	4.32	4.06	4.21	4.20	4.09
	標 準 偏 差	0.94	0.93	0.99	0.86	0.98	0.96
II-7	平 均 値	4.21	4.18	4.19	4.14	4.60	4.20
	標 準 偏 差	0.93	1.10	0.94	0.99	0.80	0.93
II-8	平 均 値	4.13	4.06	4.02	4.21	4.40	4.08
	標 準 偏 差	0.94	1.19	1.01	0.86	0.80	0.98
II-9	平 均 値	4.00	4.15	4.03	4.29	4.20	4.02
	標 準 偏 差	0.97	0.94	0.94	0.80	0.75	0.96
II-10	平 均 値	3.92	3.85	3.93	4.14	4.40	3.92
	標 準 偏 差	1.02	0.97	0.96	0.91	0.80	0.99
III	平 均 値	4.08	4.21	4.09	4.21	4.40	4.09
	標 準 偏 差	1.00	1.08	1.00	0.77	0.80	1.00

※3の回答が適切である項目

II-2	平 均 値	3.37	3.32	3.31	3.50	3.40	3.34
	標 準 偏 差	0.77	0.63	0.69	0.63	0.49	0.74
II-4	平 均 値	3.22	3.26	3.22	3.29	3.20	3.22
	標 準 偏 差	0.64	0.61	0.62	0.59	0.40	0.63

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回 答 / 学 科	1年配当 (1年)	1年配当 (2～4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
1. 講義への興味	3.0	0.0	1.7	0.0	16.7	2.5
2. 教員にひかれて	3.7	0.0	1.4	0.0	0.0	2.7
3. 単位が必要	61.7	63.6	72.3	75.0	16.7	65.3
4. 単位取得が楽	9.5	22.7	11.3	12.5	0.0	10.4
5. 時間帯が空いている	22.1	13.6	13.3	12.5	66.7	19.0
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 地域言語群 (配当学年、回答者の学年で分類)

区 分	回答者の学年	1年配当 (1年)	1年配当 (2～4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
設 問	科目数	44	21	40	18	18	84
I-1	平均値	4.61	4.24	4.37	3.71	4.53	4.48
	標準偏差	0.78	0.94	0.84	1.28	0.72	0.84
I-2	平均値	4.24	3.94	4.15	3.90	4.41	4.19
	標準偏差	0.92	1.03	0.94	1.06	0.73	0.94
I-3	平均値	2.15	2.30	2.02	2.14	2.21	2.10
	標準偏差	1.02	1.06	0.94	0.99	1.13	0.99
I-5	平均値	1.70	1.83	1.68	2.00	2.07	1.70
	標準偏差	1.10	1.14	1.07	0.93	1.24	1.09
II-1	平均値	4.23	4.24	4.18	3.90	4.56	4.21
	標準偏差	0.87	0.88	0.91	1.23	0.57	0.90
II-3	平均値	4.19	4.11	4.16	3.81	4.47	4.17
	標準偏差	0.84	0.95	0.86	1.10	0.68	0.86
II-5	平均値	4.26	4.20	4.20	4.30	4.71	4.23
	標準偏差	0.92	1.01	0.97	1.00	0.57	0.94
II-6	平均値	4.21	3.97	4.10	4.24	4.51	4.15
	標準偏差	0.89	1.05	0.97	1.02	0.77	0.93
II-7	平均値	4.21	3.89	4.05	4.24	4.73	4.13
	標準偏差	0.89	1.11	0.98	1.11	0.52	0.95
II-8	平均値	4.16	4.11	3.97	4.10	4.15	4.08
	標準偏差	0.87	0.95	0.99	0.97	0.95	0.93
II-9	平均値	3.99	3.89	4.01	3.67	4.45	3.99
	標準偏差	0.95	1.11	1.01	1.17	0.60	0.99
II-10	平均値	4.00	3.81	3.98	3.71	4.60	3.98
	標準偏差	0.91	1.11	1.00	0.98	0.59	0.96
III	平均値	4.25	3.97	4.12	3.90	4.77	4.18
	標準偏差	0.88	1.22	1.00	1.11	0.45	0.95

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.51	3.57	3.43	3.81	3.33	3.49
	標準偏差	0.74	0.75	0.68	0.73	0.66	0.72
II-4	平均値	3.32	3.27	3.27	3.57	3.07	3.31
	標準偏差	0.65	0.76	0.64	0.73	0.41	0.65

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回 答 / 学 科	1年配当 (1年)	1年配当 (2～4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
1. 講義への興味	2.0	3.7	0.0	0.0	8.6	1.3
2. 教員にひかれて	5.9	0.0	1.6	6.7	1.9	4.2
3. 単位が必要	34.7	33.3	58.1	73.3	3.8	43.4
4. 単位取得が楽	14.7	7.4	11.6	13.3	47.6	13.4
5. 時間帯が空いている	42.6	55.6	28.7	6.7	38.1	37.6
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(3) 基礎科目群 (回答者の学年で分類)

区 分	回答者の学年	1年	2年	3・4年	全 体
設 問	科目数	35	21	19	37
I-1	平均値	4.58	4.20	4.26	4.52
	標準偏差	0.80	0.77	0.80	0.81
I-2	平均値	3.77	3.96	3.83	3.78
	標準偏差	1.23	1.09	1.27	1.23
I-3	平均値	1.65	1.73	1.81	1.67
	標準偏差	1.02	0.94	1.05	1.02
I-5	平均値	1.56	1.62	1.72	1.58
	標準偏差	1.07	0.96	1.19	1.08
II-1	平均値	4.01	4.18	4.24	4.04
	標準偏差	1.04	0.81	0.88	1.02
II-3	平均値	3.98	4.09	4.24	4.02
	標準偏差	0.97	0.79	0.92	0.96
II-5	平均値	4.16	4.39	4.32	4.19
	標準偏差	1.01	0.78	0.89	0.98
II-6	平均値	3.94	4.04	4.25	3.98
	標準偏差	1.05	0.91	0.91	1.04
II-7	平均値	3.99	4.16	4.19	4.02
	標準偏差	1.05	0.95	0.96	1.04
II-8	平均値	3.74	3.75	3.77	3.74
	標準偏差	1.10	1.08	0.97	1.08
II-9	平均値	3.84	4.09	3.96	3.86
	標準偏差	1.05	0.91	0.97	1.04
II-10	平均値	3.74	4.05	3.98	3.79
	標準偏差	1.12	0.82	1.03	1.10
III	平均値	3.89	4.13	4.21	3.94
	標準偏差	1.06	0.83	0.93	1.04

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.45	3.25	3.37	3.43
	標準偏差	0.79	0.51	0.73	0.77
II-4	平均値	3.33	3.07	3.26	3.31
	標準偏差	0.71	0.42	0.62	0.69

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回 答 / 学 科	1年	2年	3・4年	全 体
1. 講義への興味	6.9	11.5	8.5	7.5
2. 教員にひかれて	6.4	3.8	1.4	5.4
3. 単位が必要	54.1	42.3	43.0	51.4
4. 単位取得が楽	7.4	9.6	10.6	8.1
5. 時間帯が空いている	25.2	32.7	36.6	27.7
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0

(4) 専門共通科目 (回答者の所属で分類)

区分	科目区分	専門(1年)	専門(2年)	専門(3・4年)	全体
設問	科目数	12	19	20	20
I-1	平均値	4.53	4.26	4.18	4.38
	標準偏差	0.77	0.84	0.83	0.82
I-2	平均値	3.64	3.48	3.66	3.62
	標準偏差	1.30	1.21	1.24	1.27
I-3	平均値	1.64	1.61	1.79	1.67
	標準偏差	1.01	0.92	1.06	1.01
I-5	平均値	1.56	1.58	1.63	1.58
	標準偏差	1.06	0.94	1.08	1.04
II-1	平均値	3.79	3.79	4.13	3.89
	標準偏差	1.12	0.99	0.92	1.06
II-3	平均値	3.86	3.91	4.19	3.96
	標準偏差	0.99	0.84	0.88	0.94
II-5	平均値	3.95	3.97	4.23	4.03
	標準偏差	1.14	0.98	0.93	1.06
II-6	平均値	3.77	3.96	4.25	3.94
	標準偏差	1.10	0.96	0.91	1.04
II-7	平均値	3.85	4.01	4.19	3.98
	標準偏差	1.14	0.91	0.89	1.04
II-8	平均値	3.44	3.53	3.81	3.56
	標準偏差	1.19	1.01	1.07	1.14
II-9	平均値	3.51	3.62	3.93	3.65
	標準偏差	1.19	0.99	0.98	1.12
II-10	平均値	3.71	3.72	4.03	3.80
	標準偏差	1.18	0.91	0.93	1.08
III	平均値	3.76	3.81	4.06	3.86
	標準偏差	1.14	0.97	0.96	1.07

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.62	3.40	3.40	3.52
	標準偏差	0.80	0.62	0.66	0.74
II-4	平均値	3.39	3.24	3.23	3.32
	標準偏差	0.69	0.53	0.57	0.64

※1-4「受講動機」回答の分布(複数回答可)

単位：%

回答 / 科目区分	専門(1年)	専門(2年)	専門(3・4年)	全体
1. 講義への興味	12.1	13.3	7.1	10.9
2. 教員にひかれて	3.1	3.1	1.7	2.7
3. 単位が必要	35.8	41.8	42.0	38.7
4. 単位取得が楽	8.6	14.2	18.5	12.6
5. 時間帯が空いている	40.5	27.6	30.7	35.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

(5) 専門コース科目（回答者の所属で分類）

区 分	科目区分	国際協力		国際経済		国際政治		国際文化		国際観光		農業総合		専門コース科目	
	科目数	17		5		9		17		7		3		58	
設 問	学生所属	全体	主専攻	全体	主専攻										
I-1	平均値	4.21	4.33	4.19	4.31	4.25	4.50	4.35	4.44	4.40	4.62	4.23	4.66	4.31	4.35
	標準偏差	0.89	0.84	0.93	0.92	0.87	0.77	0.80	0.74	0.78	0.66	0.89	0.54	0.84	0.82
I-2	平均値	3.48	3.71	3.55	4.08	3.48	3.47	3.52	3.46	3.76	4.75	3.51	4.29	3.65	3.73
	標準偏差	1.21	1.17	1.21	1.13	1.23	1.25	1.17	1.18	1.17	0.58	1.20	0.85	1.19	1.18
I-3	平均値	1.77	1.75	1.82	1.70	1.69	1.65	1.63	1.57	1.64	1.57	1.75	1.71	1.70	1.71
	標準偏差	1.06	0.94	1.11	0.91	1.03	0.95	1.00	0.90	1.01	0.86	1.07	1.11	1.04	1.04
I-5	平均値	1.77	1.70	1.75	1.69	1.72	1.73	1.63	1.65	1.59	1.46	1.78	2.02	1.69	1.74
	標準偏差	1.18	1.15	1.18	1.14	1.15	1.12	1.07	1.02	1.04	0.86	1.17	1.05	1.11	1.15
II-1	平均値	3.98	4.05	4.02	4.30	4.02	4.06	4.07	4.01	4.11	4.31	4.03	4.34	4.09	4.12
	標準偏差	1.01	1.00	1.01	0.94	1.01	1.00	0.98	1.04	0.96	0.90	0.99	0.74	0.97	0.97
II-3	平均値	4.03	4.21	4.06	4.26	4.04	4.18	4.06	4.02	4.10	4.31	4.05	4.26	4.10	4.13
	標準偏差	0.90	0.86	0.88	0.81	0.90	0.80	0.89	0.89	0.87	0.80	0.88	0.72	0.88	0.86
II-5	平均値	4.14	4.26	4.14	4.28	4.11	4.24	4.24	4.25	4.22	4.31	4.20	4.81	4.22	4.25
	標準偏差	0.98	0.97	0.98	0.97	1.03	1.02	0.95	0.87	0.95	0.99	0.95	0.43	0.95	0.95
II-6	平均値	4.04	4.16	4.02	4.23	4.06	4.10	4.19	4.22	4.18	4.29	4.11	4.69	4.15	4.17
	標準偏差	1.01	1.09	1.00	0.97	1.01	0.98	0.95	0.95	0.95	0.95	0.99	0.58	0.97	0.98
II-7	平均値	4.10	4.30	4.13	4.32	4.06	4.01	4.17	4.17	4.22	4.46	4.15	4.58	4.19	4.22
	標準偏差	0.91	0.86	0.89	0.81	0.96	0.99	0.89	0.88	0.87	0.78	0.90	0.64	0.89	0.88
II-8	平均値	3.74	3.91	3.78	4.11	3.61	3.36	3.66	3.73	3.66	3.59	3.75	3.95	3.70	3.71
	標準偏差	1.08	1.11	1.06	1.03	1.10	1.09	1.10	1.07	1.10	1.15	1.08	1.01	1.09	1.11
II-9	平均値	3.85	3.89	3.84	4.16	3.87	3.86	4.01	4.07	4.05	4.21	3.93	4.48	3.99	4.03
	標準偏差	1.03	1.11	1.02	0.88	1.03	1.00	0.95	0.94	0.93	0.83	1.01	0.71	0.97	0.96
II-10	平均値	4.01	4.20	3.95	4.11	3.97	4.02	4.12	4.22	4.15	4.28	4.09	4.73	4.09	4.15
	標準偏差	0.97	1.00	1.00	1.03	1.01	0.96	0.93	0.90	0.89	0.76	0.96	0.51	0.95	0.92
III	平均値	4.05	4.19	4.05	4.34	4.03	4.12	4.17	4.24	4.21	4.37	4.13	4.72	4.16	4.22
	標準偏差	0.99	0.97	0.98	0.84	1.03	1.01	0.96	0.91	0.93	0.86	0.97	0.55	0.96	0.93

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.40	3.50	3.45	3.31	3.34	3.23	3.30	3.27	3.29	3.23	3.35	3.19	3.33	3.32
	標準偏差	0.71	0.68	0.71	0.64	0.68	0.54	0.64	0.57	0.62	0.51	0.68	0.40	0.65	0.63
II-4	平均値	3.17	3.16	3.18	3.07	3.17	3.08	3.13	3.12	3.14	3.14	3.16	3.16	3.15	3.15
	標準偏差	0.56	0.49	0.53	0.38	0.55	0.42	0.50	0.40	0.48	0.46	0.53	0.37	0.50	0.49

単位：%

回 答 / 科目区分	国際協力		国際経済		国際政治		国際文化		国際観光		農業総合		専門コース科目	
1. 講義への興味	10.4	11.3	11.0	11.0	11.8	7.0	11.4	10.4	9.8	4.2	9.7	0.0	10.1	9.2
2. 教員にひかれて	1.2	0.6	1.5	4.0	1.5	1.2	1.9	1.9	1.9	1.2	1.3	3.5	1.7	1.7
3. 単位が必要	37.6	28.8	37.2	34.0	35.0	34.9	33.5	33.6	31.0	20.2	34.5	10.5	32.1	30.9
4. 単位取得が楽	21.7	18.1	18.9	13.0	21.1	22.7	17.5	14.6	15.1	14.9	25.1	50.9	19.8	21.6
5. 時間帯が空いている	29.1	41.2	31.3	38.0	30.7	34.3	35.7	39.6	42.1	59.5	29.4	35.1	36.2	36.6
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

6. 教養教育科目

(1) 講義科目 (群別)

項目	群	第1群	第2群	第3群	第4群	第5群	第6群	第7群	第8群	第9群	第10群	第12群	全体
	科目数	9	6	5	11	5	3	11	5	1	18	16	90
I-1	平均値	4.41	4.49	4.62	4.36	4.57	4.56	4.48	4.57	4.28	4.58	4.57	4.51
	標準偏差	0.86	0.76	0.69	0.92	0.78	0.74	0.84	0.73	1.05	0.68	0.75	0.79
I-2	平均値	4.02	3.86	3.62	3.93	4.10	3.99	3.95	3.44	2.57	3.68	3.03	3.75
	標準偏差	1.19	1.13	1.19	1.16	1.18	1.10	1.14	1.41	1.29	1.29	1.46	1.27
I-3	平均値	1.49	1.41	1.42	1.52	1.47	1.55	1.52	1.54	1.19	1.45	1.74	1.50
	標準偏差	0.92	0.88	0.83	0.96	0.87	1.04	0.96	0.92	0.44	0.86	1.14	0.93
I-5	平均値	1.49	1.39	1.37	1.37	1.40	1.67	1.51	1.46	1.16	1.55	1.80	1.48
	標準偏差	1.02	0.92	0.86	0.89	0.89	1.15	1.03	0.97	0.52	1.03	1.19	0.99
II-1	平均値	3.98	3.69	3.71	3.48	3.95	4.09	3.59	3.71	2.79	4.29	4.07	3.82
	標準偏差	0.94	1.02	1.03	1.23	0.97	0.88	1.03	0.99	1.21	0.84	1.03	1.05
II-3	平均値	3.99	3.87	3.90	3.72	4.02	4.04	3.88	3.88	3.54	4.20	3.97	3.94
	標準偏差	0.89	0.90	0.90	1.03	0.86	0.82	0.91	0.88	0.92	0.82	0.98	0.92
II-5	平均値	4.27	4.10	3.99	3.36	4.23	4.27	3.58	3.84	2.83	4.51	4.28	4.00
	標準偏差	0.91	0.97	1.08	1.36	0.94	0.86	1.13	1.01	1.19	0.76	0.99	1.09
II-6	平均値	3.91	3.94	3.85	3.49	3.86	4.32	3.87	3.70	3.38	4.13	4.04	3.87
	標準偏差	1.04	1.05	1.03	1.29	1.02	0.81	1.02	1.05	1.19	0.94	1.03	1.07
II-7	平均値	3.88	3.83	3.61	3.83	3.91	4.00	3.83	3.49	3.62	4.32	4.16	3.87
	標準偏差	1.07	1.01	1.03	1.09	1.04	0.99	0.97	1.10	1.23	0.82	0.98	1.04
II-8	平均値	3.58	3.45	3.43	3.27	3.60	3.72	3.49	3.47	2.77	4.00	3.99	3.57
	標準偏差	1.07	1.12	1.09	1.17	1.04	1.02	1.05	1.09	1.20	0.96	1.03	1.10
II-9	平均値	3.76	3.56	3.66	3.27	3.65	3.91	3.21	3.43	2.64	4.19	3.91	3.62
	標準偏差	0.99	1.02	0.93	1.22	0.97	0.86	1.05	0.99	1.12	0.79	1.05	1.05
II-10	平均値	3.97	3.70	3.66	3.39	3.70	4.15	3.34	3.54	3.00	4.20	3.69	3.70
	標準偏差	0.97	1.05	0.94	1.22	0.99	0.87	1.05	0.98	1.19	0.80	1.08	1.05
III	平均値	4.04	3.84	3.82	3.46	3.91	4.29	3.52	3.67	2.90	4.41	3.98	3.85
	標準偏差	0.93	1.00	0.92	1.22	0.95	0.82	1.04	1.00	1.03	0.76	1.04	1.03

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.39	3.42	3.23	3.54	3.42	3.37	3.64	3.41	3.57	3.20	3.40	3.41
	標準偏差	0.75	0.75	0.63	0.77	0.68	0.62	0.88	0.77	1.05	0.60	0.83	0.75
II-4	平均値	3.21	3.24	3.16	3.28	3.30	3.16	3.30	3.35	3.19	3.08	3.42	3.25
	標準偏差	0.62	0.59	0.57	0.71	0.62	0.55	0.74	0.70	0.71	0.42	0.83	0.65

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回答 / 群	第1群	第2群	第3群	第4群	第5群	第6群	第7群	第8群	第9群	第10群	第12群	全体
1. 講義への興味	21.6	19.7	24.5	25.4	22.5	19.5	23.3	21.1	34.7	15.4	4.2	21.0
2. 教員にひかれて	2.9	5.0	6.2	2.9	2.4	4.5	2.0	8.1	2.8	4.8	2.5	4.2
3. 単位が必要	29.3	28.4	31.7	30.5	32.0	25.0	38.0	37.4	41.7	28.3	72.4	33.3
4. 単位取得が楽	6.1	4.3	4.7	5.9	7.2	10.5	5.4	6.9	5.6	9.5	6.3	6.4
5. 時間帯が空いている	40.0	42.7	32.9	35.4	35.9	40.5	31.3	26.6	15.3	42.1	14.6	35.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 外国語科目 (商・政経・外国語・工学部 12カ国語)

項目	外国語	英語	A語	B・P語	C語	F語	G語	K語	I・M語	I・P語	R語	S語	日本語	全体
	科目数	131	2	2	16	14	18	11	6		2	13	29	244
I-1	平均値	4.56	4.32	4.69	4.55	4.57	4.62	4.55	4.69		4.39	4.57	4.76	4.58
	標準偏差	0.73	0.79	0.46	0.74	0.72	0.67	0.70	0.75		0.76	0.73	0.51	0.71
I-2	平均値	4.00	4.52	3.67	4.29	4.28	4.21	4.27	4.07		4.39	4.18	4.32	4.12
	標準偏差	1.07	0.64	1.60	0.96	0.90	0.98	0.95	0.90		0.68	0.93	0.85	1.02
I-3	平均値	1.89	2.12	1.62	1.92	1.83	1.80	2.12	2.16		1.39	1.93	2.64	1.96
	標準偏差	1.01	1.11	0.74	0.98	0.96	0.90	1.01	0.81		0.68	0.94	1.13	1.02
I-5	平均値	1.62	2.60	1.54	1.68	1.49	1.50	1.75	1.65		1.71	1.51	2.74	1.71
	標準偏差	1.04	1.36	0.75	1.17	0.99	0.90	1.19	1.00		1.13	0.98	1.39	1.13
II-1	平均値	3.90	4.60	3.85	4.03	4.01	3.97	4.34	3.91		3.89	3.84	4.41	3.99
	標準偏差	0.99	0.63	0.95	1.11	0.96	0.99	0.81	1.10		1.15	1.00	0.79	0.99
II-3	平均値	3.95	4.44	3.85	4.05	4.08	4.00	4.39	3.88		4.00	3.95	4.28	4.02
	標準偏差	0.91	0.75	0.86	1.02	0.85	0.88	0.75	0.99		1.05	0.87	0.84	0.90
II-5	平均値	4.13	4.72	4.00	4.00	4.13	4.10	4.59	4.09		3.00	3.92	4.45	4.15
	標準偏差	1.00	0.45	0.78	1.18	1.00	1.01	0.67	1.15		1.33	1.06	0.77	1.00
II-6	平均値	3.94	4.36	3.93	3.86	4.02	3.95	4.37	3.95		3.61	3.82	4.32	3.99
	標準偏差	1.00	0.97	0.80	1.11	0.93	0.97	0.84	1.13		1.16	1.02	0.84	1.00
II-7	平均値	4.15	4.72	4.00	4.08	4.10	4.11	4.36	4.14		4.17	3.95	4.32	4.15
	標準偏差	0.90	0.45	0.78	1.05	1.00	0.89	0.87	1.00		0.69	0.95	0.79	0.92
II-8	平均値	3.88	4.40	4.00	3.92	3.98	4.02	4.26	4.19		3.89	3.77	4.21	3.95
	標準偏差	0.97	0.94	0.76	1.04	0.94	0.90	0.84	0.90		0.81	0.98	0.83	0.96
II-9	平均値	3.75	4.40	3.86	3.69	3.55	3.66	4.14	3.99		3.56	3.29	4.35	3.77
	標準偏差	1.01	0.75	0.83	1.11	1.08	0.99	0.91	1.01		1.21	1.11	0.77	1.03
II-10	平均値	3.54	4.44	3.79	3.62	3.63	3.57	3.96	3.79		3.50	3.27	4.22	3.63
	標準偏差	1.06	0.70	1.01	1.12	1.04	0.99	0.95	1.07		1.07	1.11	0.83	1.06
III	平均値	3.89	4.76	4.15	3.92	3.95	3.95	4.30	4.16		3.94	3.61	4.38	3.96
	標準偏差	1.01	0.43	0.77	1.12	1.02	1.01	0.82	1.06		1.03	1.16	0.82	1.02

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.39	3.48	3.00	3.44	3.66	3.58	3.33	3.15		3.50	3.65	3.27	3.43
	標準偏差	0.76	0.70	0.55	0.77	0.71	0.80	0.69	0.55		0.69	0.74	0.70	0.75
II-4	平均値	3.21	3.16	3.08	3.28	3.32	3.36	3.14	3.07		3.44	3.41	3.19	3.24
	標準偏差	0.61	0.46	0.47	0.69	0.66	0.74	0.57	0.54		0.60	0.70	0.63	0.64

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回答 /	外国語	英語	A語	B・P語	C語	F語	G語	K語	I・M語	I・P語	R語	S語	日本語	全体
1. 講義への興味		3.7	0.0	0.0	3.7	2.4	4.7	2.9	3.0		0.0	1.2	2.5	3.3
2. 教員にひかれて		1.3	5.0	10.0	2.5	0.8	1.1	1.7	13.4		0.0	0.6	4.7	2.0
3. 単位が必要		71.2	45.0	50.0	57.4	57.1	63.3	46.3	23.9		50.0	66.5	53.5	63.4
4. 単位取得が楽		8.6	30.0	0.0	6.2	7.9	8.4	11.4	7.5		0.0	3.5	12.7	8.9
5. 時間帯が空いている		15.2	20.0	40.0	30.2	31.9	22.5	37.7	52.2		50.0	28.3	26.6	22.4
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注1. A語：アラビア語、B・P語：ブラジル・ポルトガル語、C語：中国語、F語：フランス語、
G語：ドイツ語、K語：韓国語、I・M語：インドネシア・マレーシア語、
I・P語：インド・パキスタン語 (実施科目なし)、R語：ロシア語、S語：スペイン語

注2. 国際学部の地域言語は、47ページを参照

(3) スポーツ・トレーニング科目

設 問	科 目 数	26
I-1	平均値	4.65
	標準偏差	0.66
I-2	平均値	4.27
	標準偏差	0.91
I-3	平均値	4.48
	標準偏差	0.75
II-1	平均値	4.36
	標準偏差	0.79
II-4	平均値	4.15
	標準偏差	0.90
II-5	平均値	4.45
	標準偏差	0.78
II-6	平均値	4.25
	標準偏差	0.89
II-7	平均値	4.36
	標準偏差	0.81
II-8	平均値	4.42
	標準偏差	0.74
II-9	平均値	4.38
	標準偏差	0.77
II-10	平均値	4.25
	標準偏差	0.83
II-11	平均値	4.33
	標準偏差	0.80
III	平均値	4.42
	標準偏差	0.81
IV-1	平均値	4.35
	標準偏差	0.89
IV-2	平均値	4.06
	標準偏差	1.13
IV-3	平均値	3.68
	標準偏差	1.25

※3の回答が適切である項目

設 問	科 目 数	26
II-2	平均値	3.18
	標準偏差	0.79
II-3	平均値	3.15
	標準偏差	0.63

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

回 答	全 体
1. 講義への興味	2.7
2. 教員にひかれて	3.3
3. 単位が必要	44.6
4. 単位取得が楽	9.8
5. 時間帯が空いている	39.5
合 計	100.0

(4) 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目

区分	課程・講座	教 職	社 教	日 語	全 体
設 問	科目数	27	0	4	31
I-1	平均値	4.46		4.60	4.47
	標準偏差	0.73		0.68	0.73
I-2	平均値	4.17		4.07	4.16
	標準偏差	0.93		0.85	0.93
I-3	平均値	1.65		1.55	1.65
	標準偏差	0.94		0.89	0.94
I-5	平均値	1.48		1.53	1.49
	標準偏差	0.94		0.88	0.94
II-1	平均値	4.04		4.22	4.05
	標準偏差	0.93		0.73	0.92
II-3	平均値	4.01		4.30	4.02
	標準偏差	0.85		0.79	0.85
II-5	平均値	4.14		4.51	4.16
	標準偏差	0.97		0.75	0.96
II-6	平均値	4.01		4.31	4.02
	標準偏差	0.98		0.86	0.98
II-7	平均値	4.22		4.44	4.24
	標準偏差	0.88		0.68	0.87
II-8	平均値	3.72		4.16	3.74
	標準偏差	1.01		0.87	1.01
II-9	平均値	3.80		4.20	3.82
	標準偏差	0.96		0.81	0.95
II-10	平均値	3.86		4.40	3.88
	標準偏差	0.92		0.71	0.92
III	平均値	3.96		4.51	3.99
	標準偏差	0.94		0.75	0.94

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.39		3.18	3.38
	標準偏差	0.65		0.48	0.65
II-4	平均値	3.18		2.89	3.16
	標準偏差	0.59		0.60	0.59

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / 課程・講座	教 職	社 教	日 語	全 体
1. 講義への興味	2.8		11.7	3.4
2. 教員にひかれて	0.9		0.0	0.8
3. 単位が必要	77.3		25.0	74.0
4. 単位取得が楽	10.2		5.0	9.8
5. 時間帯が空いている	8.8		58.3	12.0
合 計	100.0	0.0	100.0	100.0

V 評価及び課題

1. 商学部

(1) アンケート実施状況

平成 25 年度に「授業改善のための学生アンケート」を実施した商学部の教員数は、専任教員 49 名、講師（非常勤）123 名であり、実施率はそれぞれ 100 % である。専任教員に関しては平成 12 年度から今年度まで実施率は 100% であるが、講師に関しても昨年に比べ 100 % である。これらの実施状況の数字から判断する限り、専任教員、講師とも「授業改善のための学生アンケート」の実施の必要性に関して、一定の理解が得られているようである。

平成 25 年度の実施科目数は専任教員 103 科目、講師 216 科目で、合計で 319 科目である。1 年生から 4 年生まで延べ 10,423 名（昨年 9,027 名）が回答している。1 年生は 3,798 名（昨年 3,393 名）、2 年生は 3,202 名（昨年 2,535 名）、3 年生は 2,420 名（昨年 2,094 名）、4 年生 977 名（昨年 987 名）と、昨年に比べて全体的に回答者数は増加している（前年比 1.15 % 程度増加）。

アンケートはその実施が目的ではない。アンケートの結果が教員に適性にフィードバックされて、授業改善が行われることが目的である。この観点から、集計結果を分析し、今後取り組むべき課題とその解決策を指摘する。

(2) 集計結果

①. アンケート設問項目別の点検・評価

「学生の出席状況」（設問項目 I-1）について、平成 25 年度の平均値は 4.55（5 点満点）（昨年 4.44）であった。専任教員の科目が 4.55（昨年 4.46）、講師の科目は 4.55（昨年 4.46）であった。専任教員と講師との間に平均値の差はみられないが、いずれも昨年に比べると 0.09 ポイントの向上が観られる。

「ノートやメモをきちんととっているか」（設問項目 I-2）の平均値は、全体で 4.14（昨年 3.99）、専任教員の科目は 4.15（昨年 3.94）、講師の科目 3.91（昨年 3.86）といずれも昨年に比べて、0.05 ～ 0.21 ポイントの向上が観られる。

「どのくらい予習・復習を行っているか」（設問項目 I-3、① 30 分未満、② 30 分以上、③ 1 時間以上、④ 2 時間以上、⑤ 4 時間以上）の平均値は、全体で 1.80、専任教員の科目は 1.76、講師の科目 1.81 であり、平均的に予習復習の時間は 1 時間に満たないことがわかる。昨年度から新設された質問項目である。昨年度と比べ、0.07 ～ 0.1 ポイント低下し、決して高い数字とは言えない。予習等を通して教室以外で学習する機会は少ない。あるいは学習する環境が上手に作れないといった傾向があるかもしれない。単位制の本来の目的を遂行するためにも、教員は予習・復習を必要とするような授業、例えば、次回講義の予告、小テストの実施やレポートの提出を求めるなどの工夫をする必要があるだろう。

「受講動機」（設問項目 I-4）については、①この時間帯が空いていたから 28.7 %、②単位取得が楽だから 12.3 %、③単位が必要だから 44.6 %、④教員にひかれて 2.7 %、⑤講義要項を読んで興味を持ったから 11.7 %という結果であった。受講動機の中で、講義内容および教員の魅力以外の動機が 85.6 % を占め、学生が主体的に授業に参加している

とは言えない状況である。

「授業時間以外に先生へ質問に行くことがあるか」(設問項目Ⅰ-5)の平均値は、全体で**1.63**、専任教員の科目は**1.59**、講師の科目**1.64**と、学生がオフィスアワー等に先生に質問に行く程度はそれほど高いとは言えない。

「授業の狙い」(設問項目Ⅱ-1)の平均値は、全体で**3.96**(昨年**4.00**)、専任教員の科目は**3.92**(昨年**4.03**)、講師の科目は**3.99**(昨年**4.01**)と、やや専任教員の科目の平均値が低い。専任教員・講師共に平均値が昨年に比べて低くなっている。シラバスにある授業の目的や達成目標を「○○できる」「○○が身につく」などの表現で統一したことが一因であると考えられる。

「講義要項に沿って授業が行われているか」(設問項目Ⅱ-3)の平均値は、全体で**3.97**、専任教員の科目は**3.96**、講師の科目**4.01**となっており、講師に比べて専任教員の平均値がやや低いが、**4.00**ポイント程度が約8割のものが講義要項に沿った授業が行われていると考える。

「話し方や声は聞き取りやすいか」(設問項目Ⅱ-5)である。平均値は全体で**4.07**(昨年**3.98**)、専任教員の科目は**4.05**(昨年**4.07**)、講師の科目**4.13**(昨年**4.13**)となっており、昨年とほぼ同様である。

「教材等は授業内容を理解するのに有効か」(設問項目Ⅱ-6)である。平均値は全体で**3.91**(昨年**3.99**)、専任教員の科目は**3.88**(昨年**4.04**)、講師の科目**3.99**(昨年**4.02**)となっており、昨年と比べて低下している。

「教室内の雰囲気」(設問項目Ⅱ-7)の平均値は、全体で**3.96**、専任教員の科目は**3.96**、講師の科目**4.03**となっており、昨年と比べて低下している。

「宿題・課題等が適切に出されているか」(設問項目Ⅱ-8)の平均値は、全体で**3.70**、専任教員の科目は**3.70**、講師の科目**3.82**となっており、昨年と比べて、設問項目の内容が変わったせいか、**1.2**ポイント増加している。宿題・課題は大変適切であると回答している。

「授業の内容は理解できたか」(設問項目Ⅱ-9)の平均値は、全体で**3.62**(昨年**3.63**)、専任教員の科目は**3.64**(昨年**3.70**)、講師の科目**3.73**(昨年**3.78**)となっており、全体的に昨年と比べて、わかりやすい授業を行うための工夫が必要である。

「授業を通じてものの見方や考え方が深まったか」(設問項目Ⅱ-10)の平均値は、全体で**3.68**、専任教員の科目は**3.70**、講師の科目**3.68**となっている。若干の向上は観られる。

「満足度」(設問項目Ⅲ)の平均値は、全体で**3.89**(昨年**3.95**)、専任教員の科目は**3.89**(昨年**3.98**)、講師の科目**3.95**(昨年**3.99**)となっている、昨年に比べて低下しており、創意工夫が必要である。

全国的なFDの研究学会等では、満足度の数値が5段階評価で**3.5**以上であることが望ましいと言われているようであるが、この基準に沿えば、商学部専門科目は合格ラインを満たしているという結果にはなっている。

②. 学科別の結果の点検

「満足度」は、経営**3.91**(昨年**3.86**)、国際ビジネス**3.93**(昨年**3.88**)、会計**3.88**(昨

年 3.82) と、三学科共に向上している。学生の理解度や満足度、関心度に影響を与える
とされている項目について見ると、まず「話し方や声は聞きやすいか」は、平成 23 年度
が経営 3.91、国際ビジネス 3.94、会計 3.97 であった。平成 24 年度が経営 3.95、国際ビ
ジネス 3.96、会計 3.99 であった。平成 25 年度は、経営 4.07、国際ビジネス 4.11、会計 4.10
で各学科において向上している。

「教材等は授業内容を理解するのに有効化か」は、平成 23 年度が経営 3.81、国際ビジ
ネス 3.87、会計 3.92 であった。平成 24 年度は経営 3.92、国際ビジネス 3.92、会計 3.94
であった。平成 25 年度は、経営 3.92、国際ビジネス 3.94、会計 3.93 であり、会計は、
低下したが、経営と国際ビジネスは同等もしくは向上している。「話し方や声は聞きやす
いか」の項目と同様に、いずれの学科においても、これらの項目の向上が全体の満足度に
少なからず影響を与えているものとする。

「学生の出席状況」については、平成 23 年度は、経営 4.53、国際ビジネス 4.51、会計 4.51、
平成 24 年度は、経営 4.49、国際ビジネス 4.42、会計 4.51、平成 25 年度は、経営 4.56、
国際ビジネス 4.50、会計 4.60 であった。平成 23 年度から観て、いずれの学科において
も平均値が低下と向上を繰り返している。

「ノートやメモをとっているか」については、平成 23 年度は、経営 4.05、国際ビジネ
ス 4.05、会計 4.05 であった。平成 24 年度は、経営 4.01、国際ビジネス 3.89、会計 3.86
であった。平成 25 年度は、経営 4.07、国際ビジネス 3.97、会計 4.16 であった。昨年と
比べて、すべての学科において向上している。

「予習・復習」については、平成 24 年度は、経営 1.73、国際ビジネス 1.77、会計 1.66
であった。平成 25 年度は、経営 1.72、国際ビジネス 1.87、会計 1.75 であった。比べて
国際ビジネス、会計で向上。いずれの学科においても平均するとそれほど多くの時間が予
習・復習に充てられているとは言えない。

「学生の出席状況」「ノートやメモをとっているか」の平均値と、「予習・復習」の平
均値の低さを鑑みると、学生の主体性が低下している可能性がある。基礎ゼミ I 等で学生
に対する働きかけを積極的に行っていく必要があるだろう。

「授業の狙いやポイントが明確か」については、平成 23 年度は、経営 3.90、国際ビジ
ネス 3.90、会計 3.99 であった。平成 24 年度は、経営 3.90、国際ビジネス 3.92、会計 3.95
であった。平成 25 年度は、経営 3.94、国際ビジネス 3.98、会計 3.98 であった。すべて
の学科において微増傾向が見られる。

「講義要項に沿った授業か」については、平成 24 年度は、経営 3.94、国際ビジネス 3.97、
会計 3.98 と決して低くはない値であるため、いずれの学科においても講義要項に沿った
授業が行われていると考えられる。平成 25 年度は、経営 3.94、国際ビジネス 3.98、会計
4.04 であった。昨年度と比べてみても向上していることが分かる。

「授業の内容は理解できたか」については、平成 23 年度は、経営 3.59、国際ビジネス 3.67、
会計 3.62 であった。平成 24 年度は、経営 3.60、国際ビジネス 3.64、会計 3.52 であった。
平成 25 年度は、経営 3.65、国際ビジネス 3.72、会計 3.65 で、昨年度と比べてみても向
上していることが分かる。

「ものの見方や考え方が深まったか」については、平成 23 年度は、経営 3.56、国際ビ
ジネス 3.68、会計 3.57 であった。平成 24 年度は、経営 3.55、国際ビジネス 3.57、会計 3.44

と、いずれの学科においても昨年に比べて低下しているが、特に国際ビジネスと会計においては 0.1 ポイント以上の低下が見られた。平成 25 年度は、経営 3.69、国際ビジネス 3.71、会計 3.63 であった。昨年度と比べて 0.1 ポイント程度向上している。以上のことから時系列的に観て、ポイントの増加と減少の繰り返しが行われている可能性が伺える。今後注意が必要であろう。

(3) 今後の課題

第 1 に、組織レベルでの F D 活動に関して、学科・コース等の構成メンバーである教員が学生による授業アンケート評価結果を持ちより、お互いに情報を共有した上で、授業科目の構成を含めたカリキュラム再編成・検討、そして履修モデルの作成等を進める必要性がある。

さらに、大学の理念・目標を受けて商学部と各学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）を明確にし、各授業の到達目標との整合性を合理的・体系的に説明するカリキュラム・ポリシーを具体的に作成する必要がある。具体的には、商学部と各学科のディプロマ・ポリシーと各授業の到達目標との関係性を表現したカリキュラム・マップを作成することになる。カリキュラム・マップはディプロマ・ポリシーと各授業の到達目標の整合性を明示するマトリックスである。これにより、どの授業でどのディプロマ・ポリシーを実現するかが分かる。組織の構成メンバーである教員がカリキュラム・マップを作成することで、ディプロマ・ポリシーの達成度を具体的にどの授業で保証しているかを明確に説明できる。学生の立場から見れば、何のためにその授業を履修するか、カテゴリ（学科・科目群・学年）ごとの目標を達成するとどのような能力を修得できるかを知ることができる。具体的には、各授業の目的や到達目標をシラバスに明記し、講義の中でも学生達に明確に説明することが必要である。

第 2 に、教員個人レベルでの F D 活動に関して、学生による授業アンケート評価結果に対する教員のコメントをさらに学生にフィードバックするためにも、学生による授業アンケート評価結果をわかりやすい形で全面公開することが望ましいと考えられる。可能な限りアンケート期間中の早期にアンケートを実施し、授業期間中に学生に結果をフィードバックすることが望ましい。完全セメスター制を意識したアンケートの実施と結果のフィードバックが必要であろう。但し、実施に関しては、通年科目は後期に実施する。

以上の二点に関し、さらに各教員が授業改善に向けて現場で行っている様々な工夫点、手法などをお互いに自由に紹介し話合える雰囲気・環境が必要である。商学部では昨年度に引き続きゼミナールの担当者を中心として懇談会を行った。出席者が各ゼミでどのような取り組みを行っているのか、そしてどのような問題を抱えているのかなどを報告してもらうことによって、教員間の情報の共有が図れたと思う。共有された事例のいくつかは次年度のゼミナールへの取り組みに反映されると考える。さらに、ゼミナールの成果だけにとどまらず、他の講義への良い効果も期待できると考える。

今後、このような様々な視点からの学部・学科コースの横断的な意見の情報共有および意見集約の場をもつことは意義深であり、その機会をもっと増やすことである。

2. 政経学部

(1) 実施状況について

平成25年度の「授業改善のための学生アンケート」調査は、後期に行われた前年度にかわり、前期、平成25年6月24日(月)から同年7月13日(土)までの期間(なお、7月15日(月)から7月22日(月)を予備日として設定)に実施された。

専任教員では対象教員53人全員によって実施され(実施率100%)、講師(非常勤)は対象教員117人のうち116名によって実施された(同99.1%)。実施しないと回答した講師(非常勤)(1人)にも実施を促したが、時間を授業のために使いたいとの意向が強く、結局、実施されなかった。来年度に向けて引き続きアンケートの意義についての意見交換をしてまいりたい。

アンケート調査の実施科目数は専任教員担当分で112科目、また講師(非常勤)全体では181科目と昨年度(各118科目、197科目)より減少した。アンケート対象となった科目総数も293と昨年度の315から減少した。外国語科目で減少したこと、および専任教員が一人減となったことが背景にある。

専任教員は1人あたり平均して2.11科目(昨年度は2.18科目)、講師(非常勤)は1人あたり平均して1.56科目(昨年度は1.70科目)のアンケート調査を実施したことになる。

アンケート調査の実施科目を科目別に多い順であげると、専門科目が122科目(昨年度は125科目)、外国語科目が94科目(昨年度は113科目)、教養科目・総合教育科目が29科目(昨年度も29科目)、スポーツ・トレーニング科目が18科目(昨年度も18科目)、教職・社教・日本語科目が14科目(昨年度も14科目)、ゼミ・外書購読が12科目(昨年度は13科目)などとなっている。

学生のアンケート回答数(延べ人数)は、1年生が3,116人(昨年度は3,298人)、2年生が3,450人(昨年度は3,116人)、3年生が3,047人(昨年度は3,023人)、4年生が1,681人(昨年度は1,394人)であり、学年を回答しなかった36人を含めて合計11,330人がアンケートに応じている。これは、昨年度の10,857人から約500人の増にあたる。

実施科目数で22科目減少したものの、回答学生数は4%を超える増加となっておりアンケート・ベースはむしろ拡大した。実施科目数については、引き続き、回復・再増に努めて参りたい。

(2) 集計結果について

①. 政経学部専門科目群に関する設問項目別評価

政経学部専門科目のアンケート結果をみると、過去数年度にわたり全般に平均値の上昇が続き、相応の水準が定着してきた項目も多いが、一方で、今年度には昨年度比で低下した項目もある。いっそうの改善に向けた努力を緩めることなく、真摯に取り組んでいかなければならない。

主だった特徴を上げると、以下の2点に集約できる。

- i. アンケート項目Ⅰの諸項目にみられる学生側の修学意識に関しては昨年度比ほぼ横ばいに推移し、過去数年度でみれば改善しているものの、改善が目立った昨年度と比べればそのトレンドを維持することはできなかった項目もある。
- ii. 教員サイドの要因であるアンケート項目Ⅱに関しては、一部の項目で前年の評価(平均値)を上回っているが、伸び悩んでいる、ないし昨年比低下した項目も散見される。これら諸項目についても、今後の改善の余地を残しているといえよう。

項目ごとにみると、以下のような特徴が看取できる。

I-1 「学生の出席状況」

授業に80%以上出席しているとの回答は59.66%と昨年度の60.22%とほぼ横ばいであった。とはいえ、この水準は十分高いとはいえ、かつ、本学全体の65.07%を下回っていることを勘案しても、依然として改善の余地があろう。すでに、学部の方針に沿って、可能な限り全ての科目で出席を採るべく教員は努力しているが、学生の自覚を高め、また、出席への動機付けを与える工夫が必要だろう。なお、3・4年生に関しては、就職活動が出席を阻害する要因となっていることは否定できない。教員が、就職活動をする学生を応援したいと考えることも自然なことであろうと考えられるが、就職活動と言えば欠席が赦されるといった風潮が蔓延することのないような工夫を施すことが求められるだろう。

I-2 「ノート・メモをとっているか」

「⑤：強くそう思う」と「④：そう思う」を合わせると70.62%と、昨年度の71.86%比で微減となった。一方、「②：そう思わない」、「①：まったくそう思わない」の合計は10.44%と昨年度の10.62%から横ばいで推移した。初年次教育でも、様々なタイプの講義様式（例えば、板書を書く先生ばかりではなく、スライドを用いて説明される先生、口頭で説明されることの多い先生）が大学では普通に行われており、それに合わせたノートやメモの取り方をしなければならないことについて指導しているが、実際に身に付いていく学生は七割程度ということであろうか。残る三割の学生にノート・メモをとる動機付けを与える工夫が必要だが、それは、初年次教育以外の場でも指導していく必要がある。また、教科書あるいはレジュメがあれば、ノートをとらなくても（さらに著しくは授業に出なくても）大丈夫といった誤解を学生に与えないような教科書類やレジュメ等の使い方を考えていかなければならないだろう。

I-3 「どのくらいの予習・復習をしているか」

本項目への回答結果は昨年度と今年度に大きな変化はなく、ただ全体にわずかに下方シフトしたことが見て取れる。従来から予習・復習、なかでも復習の重要さはつとに指摘されているにもかかわらず、とくに大学生のそれが不十分であることも広く認識されていることは残念なことである。政経学部では、現状を改善すべく、近年、**BlackBoard**

(Bb)システムを活用した課題の付与や自習教材の提供が、一部の教員の間から始められつつある。ただし、同システムを使いこなすノウハウや活用意欲の差から、依然として十分な活用レベルには達していないことは認めざるを得ないだろう。今後、システム活用に向けた啓蒙やノウハウの提供を拡充する必要がある。

一方、後述の通り、Ⅱ－8「宿題・課題が大変か」との設問に対する回答をみると、「⑤：強くそう思う」と「④：そう思う」を合わせた回答の割合は49.17%を占め、昨年度の同18.66%比格段に増加している。教員の間には、宿題・課題を与えて、講義時間以外の学習を促そうとする工夫が広く行われるようになってきていることの表れであろうと考えられる。ただ、予習・復習時間の伸び悩みと宿題・課題の負担増の、一見矛盾するアンケート結果については、調査を要すると考えている。

I－4「受講した動機（複数回答可）」

この項目についても、昨年度と今年度の回答結果に大きな変化はなかった。

「⑤：講義要項を読んで」は昨年度32.25%、今年度32.39%。「④：教員にひかれて」は同13.22%、12.84%。「③：単位が必要」は同34.08%、36.41%。「②：単位取得が楽だから」は2.91%、2.03%。「①：時間が空いていた」は昨年度17.53%、今年度16.33%だった。

これをみると、受講の選択に講義要項がかなり大きな判断材料になっていることがうかがわれ、教員にとって要項をしっかりと作成することが重要なことと再認識させられる。同時に、教員の魅力（様々な側面があるだろう）と答えた学生が一割以上いることが目を引く。さらに、「①：時間が空いていた」との回答も多く、科目配置のあり方も学修行動に影響を与えていることが確認できる。

I－5「授業時間外の教員への質問」

この項目への回答は、昨年度より今年度のほうが「質問しに行く」と傾向がわずかながら強くなっていることを示している。ただし、「①：全くそう思わない」と「②：そう思わない」を合わせた割合は、昨年度83.09%から今年度の82.26%へと微減ながら、その絶対値は圧倒的に大きい。必要がないからなのか、敷居が高いからなのか、オフィス・アワーの意義や教員とのコミュニケーションの取り方が分からないからなのか等、分析の余地があろう。いずれにせよ、大学が、学生にとって教員との接点を増やすことによって、より充実した学修の場になりうると考えれば、授業時間以外の教員との接触はもっと活発化させる余地があろう。

Ⅱ－1「授業の狙いは明確か」

この項目に「⑤：強くそう思う」ないし「④：そう思う」と回答した者の割合はあわせて68.52%と昨年度の73.44%から減少し、一昨年度の68.30%に近いレベルに戻ってしまった。上にみたとおり、講義要項は受講を決める判断材料として重要な位置を占めており、「授業の狙い」は、講義要項に明確に示され、それに沿った授業展開がなされる必要がある。一方で、受講する学生の側にも、問題意識を明確に持ち、その授業から何を学ぶのかを自覚的に追及する姿勢が求められよう。

Ⅱ－２「授業の難易度」

「③：ちょうど良い」との回答は51.26%と昨年度の53.87%から減少し、「⑤：難しすぎる」と「④やや難しい」を合わせた割合は45.26%と昨年度の42.31%から増加した。昨年度から今年度への変化をみれば、難易度が上がったとみる学生の割合が増えたということだが、一昨年以前の水準に戻ったというのが正確な観察であり、むしろ、この項目への回答はここ五年間にほぼ安定して推移している。重要なのは「②：やややさしい」「①：やさしすぎる」と答えた者が昨年度3.82%、今年度3.48%と少ないレベルで推移していることだろう。やさしすぎて知的刺激が弱い場合に学びの効果は期待できず、歯が立たないほどではないが、やや難しいくらいが望ましいと考えられるからである。

Ⅱ－３「講義要項に沿って授業が行われているか」

昨年度から設けられた設問だが、項目全体の平均値は昨年度が4.08、今年度が4.00と高い値になっている。ほぼ講義要項に従った授業展開が実践されているということだろう。

「⑤：強くそう思う」と「④そう思う」を合わせた回答の割合は、昨年度が74.49%に対して今年度は69.40%だった。また、「①：全くそう思わない」と「②：そう思わない」の合計は昨年度2.37%だったものが今年度は3.19%だった。

Ⅱ－４「授業の進度」

この項目もⅡ－２「授業の難易度」と似た傾向である。「③：ちょうど良い」は70.26%と昨年度の73.23%から減じ、「⑤：速すぎる」「④：やや速い」は25.93%と昨年度の22.12%から増加した。が、今年度は一昨年度以前のレベルに戻っているのである。「②：やや遅い」「①：遅すぎる」との回答は合わせて3.81%（昨年度は4.66%）と少なく、授業に退屈している受講者は多くないと思われる。

Ⅱ－５「聞き取りやすいか」

この項目の平均値では過去五年間でもっとも高い値になっている。「③：どちらとも言えない」は19.21%と昨年度の16.23%から増えたためである。しかし、「⑤：強くそう思う」と「④：そう思う」の合計は72.43%と昨年度の75.30%から減少しており、聞き取りにくい授業があるという問題は依然として課題として残っていると考えられる。マイクの使用方法の問題、教室内の静謐性の問題、また教員の声質の問題など、授業ごとに区々の問題があると考えられるが、少なくとも教員がこの問題に無頓着であることは許されないであろう。

Ⅱ－６「教材等は授業の理解に有効か」

「⑤：強くそう思う」と「④：そう思う」をあわせた割合は67.15%と昨年度の73.35%から減少したが、「③：どちらとも言えない」が24.91%と昨年度の19.52%から増加したため、項目の平均値では微減となった。ただし、一昨年度以前のレベルは維持している。

授業における **Power Point** や動画の利用など、ビジュアルな教材の活用や、**BlackBoard (Bb)** システムの活用による教材の提供など、様々な効果が期待できる教材の利用は着実に増えていると思われる。ただし、副作用として、レジュメをダウンロードしたり、映出される画面を眺めるだけで、ノートやメモを取ることをせず、その結果、手を動かすことによって考えるという大事な学習プロセスから遠ざかっている学生が増えることが心配される。教材の有効な利用ということのなかには、「楽だ」「楽しい」という学生の評価だけでなく、教育上の実質的な効果が上がっているかどうかという、教員側の尺度での評価も欠かせないだろう。

II-7 「教室内は学習にふさわしい雰囲気か」

この項目に対する学生の評価はかなり高いものの、やや下降気味であることが懸念される。項目全体の平均値を過去5年間でみると、後期にアンケートを実施した場合には高く、前期の場合には低く出る傾向があるようにみえる。そうして、前期に実施した一昨年度と今年度を比べると低下しているのである。実施時期と雰囲気との相関が本当にあるのか、また、もしあるならばなぜなのかは詳しく調査する必要があるだろう。

とはいえ、この設問に「⑤：強くそう思う」「④：そう思う」と回答した者を合わせた割合は、今年度（前期に実施）が71.57%、昨年度（後期に実施）が75.28%、一昨年度（前期に実施）が68.85%と、前期実施の一昨年度比で今年度は改善している。また、逆に「①：全くそう思わない」「②：そう思わない」と答えた不満組は一昨年度（前期に実施）に7.67%、昨年度（後期に実施）に6.70%いたものが、今年度（前期に実施）には6.36%と、前期実施年度を比べると大きく減少している。教員の努力が結実しつつあるものと評価できる。ただし、依然として6~7%の不満組が存在しており、今後はこうした学生も気持ちよく受講できるようにしていく努力が必要だ。

II-8 「宿題・課題が大変か」

「⑤：強くそう思う」と「④：そう思う」を合わせた回答の割合は49.17%を占め、昨年度の同47.95%比で改善している。教員の間で、宿題・課題を与えて、講義時間以外の学習を促そうとする工夫が広く行われるようになってきていることの表れであろうと考えられる。

設問I-3「どのくらいの予習・復習をしているか」への回答結果をみると、授業時間以外にはあまり学習していない姿が浮かび上がっており、宿題・課題についてはさらに工夫していく余地がありそうである。

II-9 「理解しやすいか」

この項目についても前期に低く、後期に高くでる傾向があるのではないかと疑われる。項目全体の平均値をみると、今年度（前期実施）は3.58と昨年度（後期実施）の3.63より低下したが、前期に実施した一昨年度の3.55とほぼ同レベルであった。

「⑤：強くそう思う」あるいは「④：そう思う」と答えた、理解しやすかったと評価している学生の割合は今年度（前期実施）54.76%と昨年度（後期実施）の57.1

6%から低下しているが、同じ前期実施年度であった一昨年度の51.82%と比べると改善している。教員による授業改善努力の表れと評価できよう。

学生の理解度を高めることは教育の基本的な課題であるが、それは教員と学生の双方の営為の関数なので一筋縄ではいかない。学生に理解するための努力を相応に求める程度の難易度の授業レベルが理想なのかもしれないが、その努力を厭う学生が存在することも確かなのである。では、学生が易々となせるレベルの授業ならば、この設問で「理解しやすかった」という回答を得るだろうが、こうしたことは望ましいものではないだろう。一方、学生の学習能力を大きく超える難度の授業を展開すれば、この項目への回答は「全く理解できなかった」に傾くだろう。さらに難しいのは、各科目において、これだけは理解してもらわないと講ずる意味がないという内容があると思われるが、それが学生にとって難しい事柄である場合であろう。それをいまどきの学生にもわかりやすく説明せよといわれても、限界がある場合が多い。そこでは学生側に、考えて、苦しんで理解するという営為が是非必要なのだが、ついてこない学生も多いのは残念なことである。努力を厭う学生に難しいが必要なことを教えて、かつ「理解しやすかった」という評価を得るのは簡単なことではない。

II-10 「見方・考え方が深まる」

この設問全体に関する評価の平均値は一昨年度から昨年度にかけて改善し、今年度も昨年度のレベルを維持している。平均値のレベルも相応に高く、悦ばしいことである。

「⑤：強くそう思う」ないし「④：そう思う」と回答した者はあわせて59.02%と昨年度の60.40%に対して微減となったが、一昨年度の52.44%からは大きく増加している。教員が、学生の知的好奇心を刺激し続ける授業を工夫していることの表れであろうと考えられる。

一方、「①：全くそう思わない」「②：そう思わない」との回答は、一昨年以降、10.88%、9.87%、9.64%と低位で推移していることにも留意したい。

III 「満足度」

この項目全体の平均値を過去五年間でみると、3.84程度を挟んで上下動を繰り返している。やはり実施が前期だと低めに、後期だと高めになる傾向がみられ、II-1「授業の狙いは明確か」、II-6「教材等は授業の理解に有効か」、II-7「教室内は学習にふさわしい雰囲気か」、II-9「理解しやすさ」などの諸項目と連動しているように見える。巨視的にみれば、こうした項目への評価を総合したものが「満足度」という評価につながっているだろう。ただし、個別の科目では出席管理もゆるく、難しくもなく、単位がとりやすい、いわゆる「楽勝科目」の満足度が高く、それとは逆の厳格な授業の満足度が低くなるという事態もあるだろうと考えられ、総合的にみる配慮が必要であろう。

この設問に「⑤：強くそう思う」「④：そう思う」と答え、授業満足度が高い学生の割合はあわせて66.19%であり、昨年度の同69.86%には及ばなかったものの、一昨年度の60.88%からは大きく上昇した。実施時期が前期、後期で上下する傾向があるとすれば、同じ前期実施の一昨年度と今年度を比較して改善したとの評価も可能

であろう。

なお、満足度は授業の規模（履修登録者数）によっても影響を受けるとの観察もある。確かに、全学でみると講義科目の履修登録者数が100人以下の授業の満足度の平均値は3.95なのに対して301人以上の授業では3.73と低くなっている。この傾向は、Ⅱ-1「授業の狙いは明確か」、Ⅱ-6「教材等は授業の理解に有効か」、Ⅱ-7「教室内は学習にふさわしい雰囲気か」、Ⅱ-9「理解しやすさ」などの諸項目にも共通しており、大規模の授業の難しさを反映しているとも思われる。政経学部は他学部と比べて、とくに、教員あたりの学生数が多く、大規模授業が多くなる傾向があり、そのなかで満足度を改善していくことはより一層の努力を要するであろうと考えられる。

Ⅳ-1「教室、施設・設備は適切か」

この学部設問項目に対する回答は、専任教員が担当する科目の平均値で昨年度の4.08から今年度の4.18に改善した。

Ⅳ-2「私語はない」

全学共通のⅡ-7「教室内は学習にふさわしい雰囲気か」に加えて、学部設問項目として私語に絞って訊いている。専任教員の担当する科目の平均値で昨年度の4.13が4.03に低下した。Ⅱ-7で観察した通り、アンケート時期が前期の場合には低くなる傾向があり、この項目も同様の影響を受けている可能性があるだろう。

②. 教員属性別評価

i. 政経学部専任教員

設問項目ごとの平均値は以下の通り

Ⅰ-1「学生の出席状況」	4.49
Ⅰ-2「ノート・メモをとっているか」	4.11
Ⅰ-3「どのくらいの予習・復習をしているか」	1.71
Ⅰ-5「授業時間外の教員への質問」	1.55
Ⅱ-1「授業の狙いは明確か」	3.93
Ⅱ-3「講義要項に沿って授業が行われているか」	4.03
Ⅱ-5「聞き取りやすいか」	4.06
Ⅱ-6「教材等は授業の理解に有効か」	3.93
Ⅱ-7「教室内は学習にふさわしい雰囲気か」	4.05
Ⅱ-8「宿題・課題が適切か」	3.65
Ⅱ-9「理解しやすいか」	3.57
Ⅱ-10「見方・考え方が深まる」	3.71
Ⅲ「満足度」	3.86
③の回答が適切である質問項目	
Ⅱ-2「授業の難易度」	3.54
Ⅱ-4「授業の進度」	3.27

全体では昨年度と比べると、大きな変化はなかったが、Ⅱ－８「宿題・課題が大変か」では昨年度の２．４６から今年度の３．６５へと１．１９ポイントも上昇した。一方、評価が下落した項目のなかではⅡ－７「教室内は学習にふさわしい雰囲気か」が昨年度の４．２６から０．２１ポイント低下した。

また、全学の専任教員と比較すると、大きな違いはないが、Ⅱ－９「理解しやすいか」で全学が３．６８であるのに対し０．１１ポイント劣後した一方、Ⅰ－２「ノート・メモをとっているか」では全学の３．９８を０．１３ポイント上回っている。

ii. 政経学部講師（非常勤）

設問項目ごとの平均値は以下の通り

Ⅰ－１「学生の出席状況」	４．４３
Ⅰ－２「ノート・メモをとっているか」	３．９２
Ⅰ－３「どのくらいの予習・復習をしているか」	１．６７
Ⅰ－５「授業時間外の教員への質問」	１．５２
Ⅱ－１「授業の狙いは明確か」	３．９２
Ⅱ－３「講義要項に沿って授業が行われているか」	３．９７
Ⅱ－５「聞き取りやすいか」	４．０７
Ⅱ－６「教材等は授業の理解に有効か」	３．９２
Ⅱ－７「教室内は学習にふさわしい雰囲気か」	３．９９
Ⅱ－８「宿題・課題が適切か」	３．６４
Ⅱ－９「理解しやすいか」	３．６５
Ⅱ－１０「見方・考え方が深まる」	３．６９
Ⅲ「満足度」	３．８９
③の回答が適切である質問項目	
Ⅱ－２「授業の難易度」	３．４３
Ⅱ－４「授業の進度」	３．２８

全体では昨年度と比較しておおきな変化はなかったが、前項の専任教員と同様に、Ⅱ－８「宿題・課題が大変か」で１．０７ポイント上昇した。

全学の講師（非常勤）との比較では、Ⅰ－３「どのくらいの予習・復習をしているか」とⅡ－８「宿題・課題が大変か」の両項目でいずれも０．１１ポイントとわずかに劣後した。

③. 学科別評価

政経学部の法律政治学科の学生による回答（４，１９０件）と経済学科の学生による回答（６，９２２件）の集計は以下の通り。

	法律政治学科	経済学科
I-1 「学生の出席状況」	4. 4 3	4. 4 5
I-2 「ノート・メモをとっているか」	4. 0 3	3. 9 7
I-3 「どのくらいの予習・復習をしているか」	1. 6 8	1. 7 0
I-5 「授業時間外の教員への質問」	1. 5 1	1. 5 6
II-1 「授業の狙いは明確か」	3. 9 2	3. 9 3
II-3 「講義要項に沿って授業が行われているか」	4. 0 3	4. 0 0
II-5 「聞き取りやすいか」	4. 0 7	4. 0 8
II-6 「教材等は授業の理解に有効か」	3. 9 2	3. 9 5
II-7 「教室内は学習にふさわしい雰囲気か」	4. 0 7	4. 0 1
II-8 「宿題・課題が適切か」	3. 5 9	3. 6 9
II-9 「理解しやすいか」	3. 6 5	3. 6 1
II-10 「見方・考え方が深まる」	3. 7 4	3. 6 8
III 「満足度」	3. 9 1	3. 8 8
③の回答が適切である質問項目		
II-2 「授業の難易度」	3. 4 3	3. 4 8
II-4 「授業の進度」	3. 2 1	3. 2 8

両学科の学生の回答は極めて近似しており、II-8「宿題・課題が適切か」で0.10ポイントの差があるのが最大であった。

④. 分野別評価

政経学部の科目を五つの分野に分けたとき、それぞれの分野ごとの評価の平均値は以下の通り。なお、各分野の科目数は、法律分野23科目、政治分野27科目、行政分野9科目、経済分野54科目、その他6科目。

	法律	政治	行政	経済	その他
I-1 「学生の出席状況」	4. 4 2	4. 3 9	4. 4 4	4. 4 4	4. 4 8
I-2 「ノート・メモをとっているか」	4. 1 0	4. 0 7	3. 6 6	4. 0 1	3. 9 9
I-3 「どのくらいの予習・復習をしているか」	1. 6 5	1. 6 7	1. 5 7	1. 7 1	1. 9 3
I-5 「授業時間外の教員への質問」	1. 4 7	1. 5 2	1. 4 6	1. 5 6	1. 5 5
II-1 「授業の狙いは明確か」	3. 9 6	3. 9 9	3. 7 0	3. 8 8	3. 9 4
II-3 「講義要項に沿って授業が行われているか」	3. 9 7	4. 0 8	4. 0 1	3. 9 8	4. 0 1
II-5 「聞き取りやすいか」	4. 1 0	4. 0 9	4. 0 0	4. 0 3	3. 6 0

Ⅱ－6「教材等は授業の理解に有効か」	3.93	3.97	3.75	3.95	3.74
Ⅱ－7「教室内は学習にふさわしい雰囲気か」	4.05	4.17	4.12	3.94	4.07
Ⅱ－8「宿題・課題が大変か」	3.57	3.52	3.39	3.61	3.94
Ⅱ－9「理解しやすいか」	3.63	3.66	3.46	3.51	3.62
Ⅱ－10「見方・考え方が深まる」	3.81	3.81	3.64	3.64	3.55
Ⅲ「満足度」	3.93	3.94	3.77	3.81	3.75
③の回答が適切である質問項目					
Ⅱ－2「授業の難易度」	3.48	3.49	3.46	3.54	3.50
Ⅱ－4「授業の進度」	3.20	3.27	3.18	3.31	3.26

設問項目の全体を俯瞰すると、昨年度と今年度で大きく変化した項目はなかった。項目によってわずかな変化をみせたものもあったが、残念な方向への変化も散見されるし、また、アンケートの実施時期が昨年度は後期であり今年度は前期であったことによるバイアスが作用していることが疑われる項目も多い。もし、そのようなバイアスが存在するとすれば、前期に実施した一昨年度と比較して改善したⅡ－2「ノート・メモをとっているか」、Ⅱ－1「授業の狙いは明確か」、Ⅱ－5「聞き取りやすいか」、Ⅱ－6「教材等は授業の理解に有効か」、Ⅱ－9「理解しやすいか」、Ⅱ－10「見方・考え方が深まる」、Ⅲ「満足度」など多くの項目で改善している。正確に判断するためには、実施時期による変位に関するより精緻な分析が必要だろう。

こうした分析は別にしても、政経学部としては、取り組んできた **FD** 活動を一層推し進めることが必要だろう。政経学部では、平成25年度の **FD** 活動として、「教員が授業力を高め、授業を改善することを支援し、それにより学生の学習意欲と学習能力の向上を図る」ことを目標として、以下の6点を中心として **FD** 活動に取り組んでいる。

- i. 「授業改善のための学生アンケート」を実施する。
- ii. 教員相互の授業参観を行う。
- iii. 所管委員会に協力して、アスクの授業力向上を図る。
- iv. 所管委員会に協力して、ゼミナールの成果向上を図る。
- v. 所管委員会に協力して、学生のIT能力向上を図る。
- vi. 学部全体の動きに合わせ、カリキュラム改訂に参画する。

(3) 今後の課題

まず、実施時期およびカバレッジについて検討の余地があるのではないかと考える。

現在の実施方法では、前期に実施する年度と後期に実施する年度があり、これは前期のみの開講科目も後期のみの開講科目もともに対象にするためには有効な措置であるとともに、個々の教員が自分の授業への見方を観測するための、いわば「サンプル調査」をおこなううえでは十分な方法であろうと考えられる。しかし一方で、サンプル調査を超えて、

学生全体の授業に対する見方を検討する材料を得ようとする場合には、各年度のアンケート結果を単純に比較しにくくする複雑さをもたらしていると考えられる。加えて、カバレッジの観点からみると、この方法では、実施の対象から漏れる科目があることが避けられない。今後、本アンケートを学生全体の授業に対する見方を検討する材料として活用しようとするのであれば、こうした問題を回避する方策を検討する必要があるのではないかと考える。またその場合、カバレッジの観点からは、比較的少人数のゼミナールや演習などをアンケートの対象とすべきかの検討も必要と考える。

つぎに、アンケートの結果の活用について、さらに検討する余地があるのではないかと考える。

教員は自分自身の授業に関するアンケート調査の結果の還元を受けて、授業の改善に取り組む仕組みになっているが、これを、成功例の開陳も含め、教員相互の授業方法に関する情報交換につなげる方策を強化すべきと考える。授業効果を改善する良案や、学生のニーズをくみあげるための良案は多くのものが、いわば「私蔵」されていると考えられ、これらを教員間の共有ツールにして活用していくための仕組みづくりを検討して参りたい。

3. 外国語学部

(1) 実施状況について

今年度「授業改善のための学生アンケート」を実施した外国語学部教員は、専任教員（特別非常勤講師を含む）が 41 名、講師（非常勤）が 44 名であった。実施率は、専任教員、講師（非常勤）ともに 100 %であった。昨年度に続き実施率 100 パーセントを達成できたことは、外国語学部教員の中に F D 活動への積極的な意識が根付いてきたことを示している。

実施科目数は、専任教員は 91、講師（非常勤）は 83 で、合計 174 であった。その内訳は、外国語学部専門科目が 114、国際学部専門科目が 2、教養科目・総合教育科目が 19、外国語科目が 25、教職・社教・日語科目が 6、ゼミ・外書講読が 8 である。

アンケート回答数（延べ人数）は、1 年が 1,177 名、2 年が 1,119 名、3 年が 593 名、4 年が 199 名、無回答が 20 名で、合計 3,108 名であった。昨年度は、1 年が 1,164 名、2 年が 682 名、3 年が 607 名、4 年が 182 名、無回答が 17 名で、合計 2,652 名だった。したがって、今年度の合計は昨年度に比べ、456 名の増加となった。

(2) 集計結果とその分析

① 学科目別（講義等科目）

大学全体の集計結果と比較しながら、外国語学部の集計結果を見てみよう。

外国語学部専門科目に対する評価を設問項目別に数値で見えていくと、次のようなことがわかる。

- I-1 「学生の出席状況」は、大学全体の中で 2 番目に高い 4.61 である（1 位は工学部専門科目）。
- I-2 「ノート・メモ」は 3.95 で大学全体の平均値をわずかに上回るが、必ずしも十分とは言えないだろう。
- I-3 「予習・復習」は 2.10 で、大学全体の中では 2 番目に高い（1 位はゼミ・外書講読）が、外国語の習得を志す学生としては不十分であろう。
- I-5 「質問（オフィスアワー等）」は 1.57 で、大学全体の平均値 1.63 よりやや低い。
- II-1 「狙いの明確さ」は 4.14 で、大学全体の中では 2 番目に高い（1 位はゼミ・外書講読）。
- II-3 「講義要項との進み具合」は 4.16 で、これも大学全体の中では 2 番目に高い。
- II-5 「声の大きさ」は 4.28 で、やはり大学全体の中では 2 番目に高い。
- II-6 「教材等の効果」は 4.14 で、これも大学全体の中では 2 番目に高い。
- II-7 「教室内の雰囲気」は 4.23 で、大学全体の中では 3 番目に高い。
- II-8 「宿題・課題」は 4.02 で、大学全体の中では 2 番目に高い。
- II-9 「理解しやすさ」は 4.00 で、これも大学全体の中で 2 番目に高い。
- II-10 「見方・考え方が深まる」は 3.85 で、大学全体の中では 4 番目である。
- III 「満足度」は 4.14 で、大学全体の中では 2 番目に高い（1 位はゼミ・外書講読）。

Ⅱ－２「難易度」とⅡ－４「進度」は上記の項目と異なり、評価が**3.00**になる回答が好ましいと判断されるが、それぞれ**3.38**、**3.25**であり、大学全体の平均値よりも**3.00**に近い良好な数字となっている。

以上の集計結果により、外国語学部の教育にとって特に重要だと思われる項目、「狙いの明確さ」「声の大きさ」「教材等の効果」「教室内の雰囲気」「理解しやすさ」などは、学生たちから比較的高い評価を受けていることがわかる

また、さまざまなレベルの学生がいるため、高い評価を受けるのが難しいと思われる「難易度」と「進度」についても、概ね良好な評価を得ている。

総合評価とも言える「満足度」も**4.14**で良好な数値ではあるが、教員としてはさらに「満足度」を上げる努力を怠ってはならないだろう。

②教員所属別評価

専任教員に対する評価

専任教員に対する評価では、「狙いの明確さ」「講義要項との進み具合」「声の大きさ」「教材等の効果」「教室内の雰囲気」「宿題・課題」「理解しやすさ」が大学全体の中で最も高い評価を受け、「見方・考え方が深まる」が2番目に高い評価を受けている。また、「満足度」も**4.27**と大学全体の中で最も高い数値がついている。「難易度」「進度」も良好である。

講師（非常勤）に対する評価

「教材等の効果」「宿題・課題」「理解しやすさ」「見方・考え方が深まる」の項目が**4.0**以下の評価になっているが、いずれも大学全体の平均値と同じか少し上回る数値で、「満足度」は**4.0**と概ね良好である。

外国語学部の授業への学生たちの評価は、専任教員の「満足度」が一昨年（**4.20**）より昨年（**4.24**）、昨年より今年（**4.27**）と上がっていることによくあらわれている。今後も専任教員と講師（非常勤）は連携を密にしながら、より効果的な外国語教育ができるよう、さらに努力を重ねていかなければならないだろう。

③学生所属別評価（講義科目）

学科別の分析

講義科目に関する学生アンケートの回答を学科別に見てみよう。

I－１「学生の出席状況」

昨年度の学科別の平均値は、英米語**4.56**、中国語**4.45**、スペイン語**4.49**だったが、今年度は、英米語**4.66**、中国語**4.57**、スペイン語**4.60**で、すべての学科で出席状況がよくなっている。

I－２「ノート・メモ」

昨年度の学科別の平均値は、英米語**3.78**、中国語**3.90**、スペイン語**3.95**だったが、今

年度は、英米語 **3.93**、中国語 **3.85**、スペイン語 **3.94** で、英米がわずかに上がり、中国語とスペイン語は少し下がっている。

I-3「予習・復習」

昨年度の学科別の平均値は、英米語 **1.96**、中国語 **2.03**、スペイン語 **2.04** だったが、今年度は、英米語 **1.85**、中国語 **1.98**、スペイン語 **2.06** で、スペイン語がわずかに上がり、英米語と中国語は少し下がっている。これらの数値は他学部と比べてあまり変わりがなが、外国語学部の学生たちは、他学部の学生たちよりずっと予習・復習に時間をかけるべきであろう。

I-5「質問（オフィスアワー等）」

昨年度の学科別の平均値は、英米語 **1.35**、中国語 **1.66**、スペイン語 **1.70** だったが、今年度は、英米語 **1.33**、中国語 **1.79**、スペイン語 **1.68** だった。中国語とスペイン語は他学部の数値とあまり変わらないが、英米語だけは昨年度同様、大学全体の平均値より低くなっている。

II-1「狙いの明確さ」

昨年度の学科別の平均値は、英米語 **4.05**、中国語 **4.06**、スペイン語 **4.15** だったが、今年度は、英米語 **4.07**、中国語 **4.01**、スペイン語 **4.11** だった。他学部と比較しても、外国語学部は3学科とも昨年度同様高い数値を維持している。

II-3「講義要項との進み具合」

昨年度の学科別の平均値は、英米語 **4.09**、中国語 **4.13**、スペイン語 **4.14** だったが、今年度も、英米語 **4.10**、中国語 **4.17**、スペイン語 **4.14** というように、いずれも高い平均値だった。昨年に続き、学内のトップ・スリーを占めている。外国語学部では、引き続き適切な授業運営が行われていると言える。

II-5「声の大きさ」

昨年度の学科別の平均値は、英米語 **4.08**、中国語 **4.07**、スペイン語 **4.16** であったが、今年度は、英米語 **4.24**、中国語 **4.11**、スペイン語 **4.24** となり、どの学科も評価を上向きにした。英米語とスペイン語は学内で最も高い数値を得た。

II-6「教材等の効果」

昨年度の学科別の平均値は、英米語 **4.13**、中国語 **3.95**、スペイン語 **4.16** だったが、今年度も、英米語 **4.12**、中国語 **3.97**、スペイン語 **4.11** と、ほぼ昨年度同様の数値をつけている。英米語とスペイン語は、昨年度に続き、今年度も学内の1位と2位を占めた。

II-7「教室内の雰囲気」

昨年度の学科別の平均値は、英米語 **4.09**、中国語 **4.04**、スペイン語 **4.16** だったが、今年度は、英米語 **4.17**、中国語 **4.08**、スペイン語 **4.16** と、英米語と中国語が少し評価を上げた。英米語とスペイン語は学内の1位と2位を占めている。

II-8「宿題・課題」

昨年度の学科別の平均値は、英米語 **2.76**、中国語 **2.93**、スペイン語 **2.87** だったが、今年度は、英米語 **3.91**、中国語 **3.87**、スペイン語 **3.96** で、3学科とも昨年度よりポイントを上げた。語学学習が主となる外国語学部としては望ましい傾向である。

II-9「理解しやすさ」

昨年度の学科別の平均値は、英米語 **3.83**、中国語 **3.75**、スペイン語 **3.97** だったが、今

年度は、英米語 **3.87**、中国語 **3.84**、スペイン語 **3.98** で、どの学科も昨年度より数値を上げた。スペイン語学科の数値は、昨年度に続き、本年度も学内トップになった。

II-10「見方・考え方が深まる」

昨年度の学科別の平均値は、英米語 **3.77**、中国語 **3.60**、スペイン語 **3.80** だったが、今年度は、英米語 **3.84**、中国語 **3.68**、スペイン語 **3.81** で、**3** 学科ともわずかに数値を上げた。

III「満足度」

昨年度の学科別の平均値は、英米語 **4.01**、中国語 **3.96**、スペイン語 **4.09** だったが、今年度は、英米語 **4.08**、中国語 **3.94**、スペイン語 **4.11** だった。中国語はごくわずかに数値を下げたが、英米語とスペイン語は少し数値を上げた。

スペイン語学科の満足度は学内トップで、英米語学科は学内 **3** 位である。初年次教育（特にスペイン語学科のSAM）をはじめ、いくつものきめ細かい指導が、学生たちに好ましい印象を与えていると考えていいだろう。

「満足度」という項目は、授業に対する総合評価でもあるので、外国語学部の教育は概ね学生たちから良い評価を得ていると言える。

II-2「難易度」およびII-4「進度」についても、最も適切だと考えられる数値 **3.00** から大きく逸脱しない結果となり、**3** 学科とも良好な評価を得ている。

④授業に対する学生の満足度

設問項目別に見た「外国語学部専門科目」に対する満足度

それぞれの設問に対し、学生たちは **5** 段階（最高値は⑤、但し「難易度」と「進度」は③が適切）で評価している。どの項目で、満足のいく数値⑤や④が多くつけられているだろうか。

I-1「学生の出席状況」は、⑤が **71.21** %と最も多く、次いで④の **19.75** %となっている。

I-2「ノート・メモ」は、⑤が **42.48** %と最も多く、次いで③の **27.81** %となっている。

I-3「予習・復習」は、①が **38.07** %と最も多く、次いで②の **27.03** %となっている。

I-4「受講した動機」は、③「単位が必要だから」が **53.31** %と最も多く、次いで⑤「時間帯が空いている」の **26.07** %となっている。

I-5「質問（オフィスアワー）」は、①が **71.90** %と最も多く、次いで②の **10.70** %となっている。

II-1「狙いの明確さ」は、⑤の **45.06** %が最も多く、次いで④の **30.84** %となっている。

II-2「難易度」は、③の **57.10** %が最も多く、次いで④の **30.93** %となっている。

II-3「講義要項と進み具合」は、⑤の **44.37** %が最も多く、次いで④の **30.11** %となっている。

II-4「進度」は、③の **72.68** %が最も多く、次いで④の **18.53** %となっている。

II-5「声の大きさ」は、⑤の **55.11** %が最も多く、次いで④の **24.87** %となっている。

II-6「教材等の効果」は、⑤の **45.26** %が最も多く、次いで④の **29.10** %となっている。

II-7「文字・画面」は、⑤の **49.75** %が最も多く、次いで④の **29.40** %となっている。

II－8「教室内の雰囲気」は、⑤の**40.88%**が最も多く、次いで④の**28.22%**となっている。

II－9「理解しやすさ」は、④の**36.29%**が最も多く、次いで⑤の**35.06%**となっている。

II－10「見方・考え方が深まる」は、④の**33.36%**が最も多く、次いで⑤の**31.01%**となっている。

III「満足度」は、⑤の**44.50%**が最も多く、次いで④の**32.52%**となっている。

以上のことから、外国語学部全体として、概ね良好な評価を得ていることがわかる。

⑤学部設問項目

昨年度同様、今回のアンケートに外国語学部が独自に入れた設問項目は、次の2つであった。

IV－1「この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか」

IV－2「このクラスの学生数は適切ですか」

「この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか」に対する回答の平均値は、専任教員の授業では昨年度と同じ**4.41**で、講師（非常勤）の授業でも昨年度の数値に近い**4.15**（昨年度は**4.16**）であった。いずれも**4**を超えており、良好だと言える。

「このクラスの学生数は適切ですか」に対する回答の平均値は、専任教員の授業では**4.35**（昨年度は**4.33**）、講師（非常勤）の授業では**4.15**（昨年度は**4.14**）であった。こちらも概ね良好な結果となっている。

これら2項目は、少人数教育を中心とした外国語の授業で効果的に授業が行われる環境が整っているかどうかをチェックする重要な設問であるが、今年度も学生側からは一応満足できる評価が得られていると考えられる。

（3）授業改善に向けての今後の課題

以上、「平成**25**年度授業改善のための学生アンケート」の集計結果を分析してきたが、今年度も外国語学部の数値は全般にわたって比較的安定した高い水準を維持していると言える。

声の大きさ、理解しやすさ、明確さなど、外国語教授法の基本となる部分を、多くの教員がしっかり身に着け、実践し続けていることが、学生たちからよい評価を受けることにつながっていると思われる。

少人数の授業が比較的多い外国語学部の授業では、授業時間内だけでなく、休み時間を利用して研究室に足を運び、教員の指導を受けている学生の姿がよく見かけられる。

しかし、その一方で、I－5「質問（オフィスアワー等）」の数値は、前からそれほど高くはない。一部の学生はよく質問するが、それが全体的な流れとなっていないのかもしれない。そのことは、「語学サロン」への参加者の固定化にもあらわれている。より多くの学生が自発的に学ぶような環境をさらに整えていく必要があるだろう。

外国語学部の学生の満足度が高いのは、授業中だけでなく、留学相談、資格試験対策、

就活相談、外国語弁論大会など、多方面で懇切丁寧な教育指導が行われていることとも関連があるだろう。今後も、教室内外でこうしたきめ細かな指導を続けることが、学生たちの力をさらに伸ばすことにつながるはずである。

今われわれが抱える大きな課題のひとつは、年々広がる学力差を前にして、どのように効果的な授業を行うかである。それに対応するために、授業の工夫が以前にも増して求められている。外国語学部では、3学科とも能力別クラスを導入することによって、より学習効果が上がる体制が整備されている。しかし、同時に教員たちは絶えず学生の学習到達度を細かくチェックする必要があり、教員間の連携も重要である。

学生たちの学力差は、今後さらに広がることが考えられる。さまざまな学習到達度の学生が混在する授業では、授業の進め方がさらにむずかしくなるものと思われる。そして、困難になればなるほど、教員の力量が問われることになるだろう。

来年度もさらに試行錯誤しながら、よりよい教育の実践に努めたい。

4. 工学部

(1) 授業アンケートの実施状況

今年度は昨年度と異なり、前期にアンケートが実施された。今回もこれまでと同様授業期間の後半（通常 12～14 回目、月曜は 10～12 回目）の実施であり、授業に関する評価も定まっている頃なので、十分に学生の意見が反映される時期である。

実施教員数は、専任教員 57 名中 57 名、講師（非常勤）52 名中 52 名で、共にこれまでと同様 100% の実施率であり、アンケートが着実に定着していることがわかる。

実施科目数は、専任教員 116 科目、講師 62 科目で、専任教員は一人当たりおよそ 2 科目、講師（非常勤）はおよそ 1 科目となっており、アンケート可能な科目は大体すべて実施されているのではないかと考えられる。

アンケートの回答者数は延べ 6,469 名で、1, 2 年生がそれぞれ 2,235 名、2,136 名とほぼ同程度となっており、3 年生は 1,723 名とやや少なくなっている。これは 3 年生の履修科目数が少なかったり、履修している科目も実験・実習科目が多く、時間数に対する科目数が少ないためではないかと思われる。4 年生は 278 名であるが、工学部では 4 年生向けの科目はほとんどないので、再履修などによって授業を受けている学生によるものと思われる。

科目の分類は、工学部専門科目（講義）が 100、（実験・実習）が 30 と、学生の傾向を見るのには十分な数となっている。

ここでは、主に工学部専門科目（講義）と（実験・実習）科目に対するアンケート結果についての分析や課題について述べる。

(2) 全体集計結果に基づく授業アンケート結果の分析

1) 全体の傾向について

毎回のことではあるが、工学部のアンケート結果は他学部と比較した場合に、出席状況を除きいずれも悪い値を示している。もちろん、授業において改善すべき点が多いということも否定できないが、回答者集団の性質という可能性もある。今後なんらかの方法で平均値のずれの原因を確かめる必要があると思われる。

2) 個別の項目について

I 受講の姿勢や動機

I-1 学生の出席状況

工学部専門科目（講義）では 4.66、（実験・実習）では 4.81 と他学部と比べても最も高い値で、偏差も最も小さい。これは、出席をきっちりと取り、評価にも反映される科目が多いからなのではないかと思われる。また、授業の形態も積み上げ型のものが多く、欠席してしまうとどうしてもハンデを負ってしまうため、学生も出席を強く意識している表れと思われる。反面、つい欠席してしまうと、取り戻すことが難しくなってしまうことが懸念される。これらの数値の高さは教員の専任、非常勤による違いはあまりない。

過去 5 年間の推移をみると、工学部では講義科目、実験・実習科目共にわずかながら年々上昇している。この傾向は大学全体の傾向とやや違っており、学生の意識の違いか、教員の指導法の違いかはわからない。

学科別では、機械システムの 4.75 から、情報・デザインの 4.62 までいずれも高い値となっており、機械システムがやや高いものの、全体に高いという点では大きな違いはない。

I-2 ノート・メモ

これは、工学部専門科目（講義）で 3.72 と一転して小さい値となっている。表面的には、学生がサボっているようにも見えるが、個人的には教科書やプリントなどの資料が充実しており、あまり多くノートをとることなく授業が展開されているためであると思われる。多くの授業でパワーポイントなどを使った授業が行われており、ハンドアウトも配布されることが多い。授業内容も、複雑な計算式やアルゴリズムの説明などが多く、教科書を積極的に利用したり、資料として配布したりするのが適切であると思われるので、数値としてはやむを得ないとも考えられる。

しかしながら、授業の工夫によりある程度ノート・メモを取らせることも、教育効果を高めるために必要であると思われる。教員所属別の値では、他学部同様専任教員の数値が高く、ある程度の工夫がなされていると思われる。過去 5 年間の推移では、大学全体ではほぼ値に変化がないところ、わずかながら上昇傾向となっている。それほど大きな変化ではないので、現状ではなんとも言えないが、このような傾向が定着してゆくかどうか今後の変化をみてゆく必要がある。

学科別では、機械システムで 3.85 とやや高く、情報デザインで 3.70 とそれほど大きな違いはない。

I-3 予習・復習

工学部専門科目（講義）では 1.82 と、外国部専門科目、外国語科目等に次ぐ高い値となっている。しかしながら、値は他学部同様低い値となっており、今後、予習復習を課すための工夫が必要となっている。過去 2 年の数値を見ても特に変化はなく、今後の工夫が期待される。

この項目では、電子システムが 1.90 と高い値で、スペイン語、中国語に次いで 3 番目となっており、FD 活動などによって情報交換しつつ、数値の向上を目指してゆきたい。

一方、（実験・実習）では事前準備の値が 3.42、レポート作成の取り組みが 4.02 となっており、必要があればもう少し積極的に取り組むことができるということがわかる。

I-4 受講動機

受講動機は、学系やコースの特徴を表しており、機械・通信・システム学系ではコンパクトなカリキュラムを反映してか、講義への興味などに比べ、必要に応じて授業を履修していることが読み取れる。一方、情報デザインメディア学系では、ある程度講義への興味ベースで受講科目を選んでいることがわかる。これらは、学系、学科の狙いを反映したもので、納得できる結果であるといえる。

I-5 質問

学生の質問に対する積極性についての設問だが、工学部専門科目（講義）では **1.79** と、他学部より高い値となっている。値としては高いとはいえないが、クラスの人数がそれほど多くないのと、教員が在室していることが多く捕まえやすいということから、質問に対する敷居が低く、他より高い値となっているのではないと思われる。

過去 **2** 年間のデータでは、それほど変化は見られない。また、学科別では、デザイン **1.55** から電子の **1.93** の範囲の値となっている。

II 授業の内容や進め方

II-1 狙いの明確さ

授業の狙いについては、**3.69** という値で、他学部に比べ最も低い値である。授業科目としてはいずれも専門化したもので、狙いがわからないというのはちょっと理解に苦しむが、自分の経験から推測すると、その科目が各学科の分野に必要なことは自明なことと思われるため、敢えて専門分野における該当科目のポジショニングや意義についての説明に時間を割かないことが多く、ここに学生とのギャップが存在していることに原因があると考えられる。

この傾向は **5** 年間の推移で変化していないので、教員に意識的に授業の狙いなどを説明してもらうといったことが必要であると思われる。

また、実験実習科目では **4.1** となっており、他学部や大学平均と同水準であることから、講義科目が実験実習科目と比べられてしまい、狙いがわかりにくいという印象を与えている可能性も考えられる。

学科別に見ても、**3.69** ～ **3.73** と、ほぼ同水準である。

II-2 難易度

難易度は、**3** という回答が適切な項目であるが、（講義科目）で **3.59**、（実験・実習）で **3.68** となっており、全体で最も高い値となっている。学生の印象として授業内容や実習内容がやや難しいという印象を持っていることがわかる。一方偏差も最も大きく、学生の幅が広いことが考えられ、上に合わせるか下に合わせるかという選択で、やや難しめになっていると想像される。

ただし、**5** 年間の推移を見てみると、大学全体であまり変化がないのに比べて、工学部では **3.0** に近づく方向へ推移しており、今後徐々に改善されていくことが期待される。

学科別に見ると、情報が **3.64** と最も高い値となっており、他学科が **3.59** 以下となっているところを押し上げている結果となっている。

II-3 講義要項との進み具合

講義要項の記述に対する講義の進み具合については、工学部講義科目で **3.79** と最も小さい値となっている。悪くとれば、講義要項に沿って授業が進んでいないということになるが、良くとれば、学生の様子を見ながら柔軟に内容を変更しているということも考えられる。過去 **2** 年のデータではほとんど変化していない。

学科別に見てみると、情報の **3.78** からデザインの **3.90** とほとんど差がないため、工学

部全体の傾向であるといえる。

II - 4 進度

授業の進度は、3 の回答が適切な設問であるが、工学部専門科目（講義）は 3.36、（実験・実習）は 3.49 となっており、やはり最も高い値となっているが、他学部も 3.16～3.34 という値で、それほどの違いはない。また、過去 5 年間はほとんど変化ない。この傾向も全体の傾向と一致している。学科別では、情報の 3.40 がやや高く、デザインが 3.25 と低い値になっている。しかし、本当に 3 が適切かどうかは、議論が必要であろう。

II - 5 声の大きさ

声の大きさは、工学部専門科目（講義）では 3.82、（実験・実習）では 3.99 と、他学部がすべて 4.0 以上なのに対し 4.0 を割るという結果になっている。登録者数別のデータを見ると、300 人以上の授業で 4.0 を割っているが、工学部の授業ではそれほどの大人数や大教室ということはなく、またマイクも使われているので、何が原因でこのような結果となっているか良くわからない。

ただし、過去 5 年間の推移をみると、徐々に改善されているので、各教員が意識をして努力をしているようにも見えるので、今後も様子を見てゆきたい。

学科別では、機械システムの 3.83 からデザインの 3.92 となっており、それほどの違いは見られない。

II - 6 教材等の効果

教材等の効果については、工学部専門科目（講義）で 3.73、（実験・実習）で 3.89 という、最も小さい値となっている。教材としては、教科書やプリントなどが考えられるが、よりわかりやすい教材を求められているのではないかと考えられる。5 年間の推移ではあまり変化がなく、大きな工夫がなされているわけではないようである。これは、大学全体の傾向と一致している。

学科別に見てみると、電子システムの 3.67 からデザインの 3.86 となっており、多少の違いはあるものの、いずれも 4.0 以下の値である。

II - 7 教室内の雰囲気

教室内の雰囲気は、工学部専門科目（講義）で 3.57、（実験・実習）で 3.92 という値となっており、他学部に比べて低い値となっている。5 年間の推移ではほぼ同じかやや悪い結果となっているが、これは大学全体の傾向とも一致している。

学科別の数値では、情報の 3.50 から機械の 3.79 という値になっている。

おそらく、教室内の静粛性よる評価であると思うが、私語等に対する注意をもっと多くして欲しいということであろうか。数値が低いということは、不満を感じている学生の方が多いということで、逆に私語をする学生は少ないが目立っているというふうに捉えることができる。ほかに比べて特に騒がしいとも考えにくいので、より静かな環境を望む学生が多いのではないかと思われる。

II－8 宿題・課題

宿題・課題に対する工学部専門科目（講義）の値は **3.57** となっていて、他学部より低い値となっている。宿題や課題に対してはそれほど大変だとは思っていないということで、適切な量の課題が出されていると考えることができる。しかし、過去 **2** 年間のデータでは、前年より今年は値が急激に増加していて、時間外学習の増加が意識されているように思われる。これは、大学全体の傾向とも一致している。

学科別では、デザインの **3.53** から機械システムの **3.65** という範囲の値で、それほど大きな違いはない。

この項目については、**5** に近づければいいというものではないと思うが、時間外学習確保の点からも、学生に宿題や課題を課すということを増やしてゆくことが必要である。

II－9 理解しやすさ

理解しやすさの項目については、工学部専門科目（講義）で **3.30** という値となっており、他学部に比べて低い値となっており、学生は難しい内容であると感じていることがわかる。ただし、過去 **5** 年間の推移ではわずかながら上昇傾向にあり、今後この傾向が維持されることが望まれる。大学全体ではやや低下傾向にあるので、工学部としては良い方向に行っていることがわかる。

学科別に見てみると、情報の **3.26** からデザインの **3.50** となっており、抽象的な概念はやはり理解しにくいということがわかる。

一方、（実験・実習）で **3.76** とやや改善されており、やはり実際に手を動かして学習するスタイルが工学系の学習の理解に役立っていることがわかる。

II－10 見方・考え方が深まる

見方や考え方の深まりであるが、工学部専門科目（講義）で **3.37** となっており、他に比べて最も小さい。授業の内容から他への応用などが想像できない様子が見られる。講義科目では比較的細分化された内容が多いように思われるので、教員側から積極的に、学習内容がどのように利用されるかを説明する必要があるように思われる。ただし、過去 **5** 年間の傾向では、徐々に上昇傾向となっており、大学全体としてはほぼ一定の値となっていることから、徐々に近づいてゆくことが期待できる。

学科別の値は、情報の **3.31** からデザインの **3.61** の範囲となっている。

一方、（実験・実習）では **3.87** と、他学部に比べても高い値となっている。

III 満足度

総合的な指標である満足度については、工学部専門科目（講義）では **3.54** と、他に比べて低い値となっており、より良い授業を望んでいることがわかる。しかし、過去 **5** 年間の推移では講義科目、実験・実習科目共にやや上昇傾向にあり、徐々に良くなっていることがわかる。大学全体の値はほぼ一定なので、今後近づいてゆくことに期待したい。

学科別に見てみると、機械システムが（講義）**3.52**、（実験・実習）**3.77**、電子システムが（講義）**3.44**、（実験・実習）**3.91**、情報が（講義）**3.36**、（実験・実習）**3.76**、デザインが（講義）**3.84**、（実験・実習）**4.06** という値となっている。全体に実験・実習科目

は満足度が高く、特にデザインでは **4.0** を超えた値となっている。過去 **5** 年間の推移では、各学科おおよそ上昇傾向にあり、いずれの学科も今後数値の改善が期待できる。

IV 学部別設問

工学部では、学部別設問として、学生の授業に対する取り組みや達成度についての項目を設けている。

IV－1 宿題や課題への取り組み

宿題や課題への取り組みについては、**3.54** という値で、それほど積極的ではないものの、ある程度の努力はしているという結果になっている。しかし、**3.54** という値は高い値ではなく、より取り組みを促すことが、授業内容を理解させる上で必要である。

IV－2 授業に対する質問

授業に対する質問に対しては **2.41** という値で、質問に対してあまり積極的でない様子が伺える。これもより高い値となることが授業理解のために望ましいので、質問しやすい環境を整えるなどの工夫が必要であると思われる。

IV－3 到達の度合い

授業の到達目標に対する、到達の度合いについては **3.28** という値で、到達できているという感触がつかめていない様子が伺える。

3) 複数の項目による傾向の分析

設問 **I** は学生の傾向に関する項目であるが、徐々に出席状況が改善されたり、積極的に取り組もうという感じが出ているように思われる。今後もこの傾向が続くようであれば、学習効果の高まりが期待できる。

設問 **II**－1～4 は授業の進め方等に関する設問であるが、授業の設定そのものにそれほど大きな違いはないものの、難易度をやや下げ学生に対応している様子が見られる。

設問 **II**－5～8 は授業の技術的な面に関する設問であるが、声を大きくするなど多少の改善は図られているように思われる。一方、教室全体の雰囲気は良くなっているようには感じられていないようである。ただし、宿題・課題については目に見えて増加していると感じている。

II－9，10 は授業を受けた結果の理解度、見方であるが、これは徐々に増加しており、**III** の満足度についても、同様に上昇傾向にある。

(3) 今後の課題

過去 **5** 年間の推移を見てみると、総合的な評価である満足度はおおよそ上昇傾向にある。そこで、他の項目の中で同様に上昇傾向にあるものが、満足度に関連しているのではないかと考え、項目をピックアップしてみる。

過去 **5** 年間で上昇している項目としては、**I**－1 出席状況、**I**－2 ノート・メモ、**II**－5 声の大きさ、**II**－8 宿題・課題、**II**－9 理解しやすさ、**II**－10 見方・考え方などである。一方、**I**－3 予習復習、**II**－1 狙いの明確さ、**II**－6 教材の効果、**II**－7 教室内の

雰囲気などはあまり変化がなかったり、やや減少したりしているものもある。

これを見ると、当然ではあるがやはり授業内容を理解できたかどうかという点が、授業の満足度に大きく影響しているように思われる。具体的な内容としては、教室内の雰囲気や教材の工夫などもさることながら、Ⅱ－２難易度、Ⅱ－４進度が**3.0**に徐々に近づいている点が目立っている。

これらのことから考えると、授業の難易度や進度を見直すことによって学生の感覚に近づけることにより、授業の理解しやすさが深まり、結果として満足度の上昇が期待できるということになる。

ここで注目すべき点は、宿題や課題が大変かという設問で値が急上昇しているにも関わらず満足度が上昇している点で、宿題や課題が増えたとしても、授業の理解につながるのであれば、満足度が高くなる可能性があるということである。宿題や課題についての設問はまだ2年分しか取られていないので、今後の傾向の変化を注視してゆく必要があると思うが、授業時間外学習時間確保の観点から、宿題や課題の増加は必須であり、その効果を確かめるためのアンケート項目が必要である。

5. 国際学部

(1) 実施の状況

本年度もこれまで同様に、専任教員と講師（非常勤）を問わず、学部開設のすべての科目を対象に「授業改善のための学生アンケート」を実施した。できるだけ多くの回数の授業を行った後で学生の反応を把握するために、実施期間は予備日も利用し、平成 25 年 6 月 24 日（月）から 7 月 22 日（月）に設定した。

アンケートの実施科目総数は 256 科目であった。アンケート結果は、英語群（6 分類）、地域言語群（6 分類）、基礎科目群（4 分類）、専門共通科目（4 分類）、専門コース科目（14 分類）の 5 群 34 分類の分野別データとして集計された。

アンケート回答数（延べ人数）は、1 年生 3,180 人、2 年生 3,124 人、3 年生 1,691 人、4 年生 479 人、無回答 130 人の 8,604 人であった。

(2) 学科目別の評価

① 授業の内容や進め方

専門科目（78 科目）について、授業の内容や進め方に関する各項目の過去 5 年間における平均値を並べた。前年度よりも上昇した場合に△印を、低下した場合に▼印を、変化がなかった場合には□印を付けた。但し、「2-2. 難易度」と「2-3. 進度」の 2 項目は数値が 3 の回答が適切であると判断されるものであるため、3 に近づく方向を「上昇」とした。参考のために、本年度における大学全体の平均値も付記してある。

なお、「2-5. 講義要項との進み具合」は平成 24 年度から新しく設けられた項目である。「2-8. 宿題・課題」については、今年度、設問の内容が変更されている。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	大学全体
2-1. 狙いの明確さ	3.92	△3.99	△4.00	▼3.98	△4.03	3.95
2-3. 講義要項との進み具合				4.02	△4.06	4.00
2-5. 声の大きさ	3.93	□3.93	△3.95	△4.00	△4.17	4.09
2-6. 教材等の効果	3.84	△3.99	▼3.98	△4.04	△4.09	3.96
2-7. 教室内の雰囲気	4.04	△4.08	△4.09	△4.12	△4.13	4.01
2-8. 宿題・課題					3.66	3.73
2-9. 理解しやすさ	3.66	△3.75	▼3.72	△3.76	△3.90	3.70
2-10. 見方・考え方が深まる	3.68	△3.81	▼3.79	△3.88	△4.02	3.73
3. 満足度	3.79	△3.87	▼3.86	△3.95	△4.08	3.91

3 の回答が適切である項目

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	大学全体
2-2. 難易度	3.44	▼3.45	▼3.53	△3.34	▼3.38	3.46
2-4. 進度	3.19	▼3.21	▼3.28	△3.16	▼3.19	3.27

専門科目の平均値は、全体として昨年度より上昇した。10項目のうち8項目で昨年度より平均値が高まった。その一方で、2項目について昨年度よりも低下しものの、その差は僅かであった。授業の総合的な評価にあたる「3. 満足度」では、平成18年度から低下傾向が続き、平成22年度から改善に転じた。本年度はさらに上昇して、4.0を超える高い水準にまで達した。大学全体の平均値との比較では、「2-8. 宿題・課題」だけを除いて、11項目のうち10項目で上回るという良い結果であった。

2-1から2-4までの4項目は、授業の設計に関するものである。「2-1. 狙いの明確さ」と「2-3. 講義項目との進み具合」はともに4.0を超えて、高い水準であった。これらとは対照的に、「2-2. 難易度」と「2-4. 進度」が昨年度よりも低下した。「2-2. 難易度」については、「やややさしい」の回答が26.17%、「やさしすぎる」の回答が7.43%であった。「2-4. 進度」では、「やや遅い」の回答が13.59%、「遅すぎる」の回答が3.98%であった。授業が「やさしく」、進度が「遅い」と感じている学生の割合が増えている。

次に、授業の技術と運営に関する2-5から2-7までの3項目では、すべての項目で平均値が昨年度よりも高まった。「2-8. 宿題・課題」については、「この授業は、宿題・課題等が適切に出されていると思いますか」という問いに対して、「どちらとも言えない」(37.64%)の回答が最も多かった。

2-9と2-10は学習の成果に関する項目である。2項目ともに平均値で昨年度から上昇した。特に、「2-10. 見方・考え方が深まる」が4.0を超える結果は従来にはなかった。これまでの継続的な授業改善の取り組みの成果の表れといえる

② 受講する姿勢や動機

1-1から1-5までの各項目について、回答の多かった上位2つを挙げた。これらの結果によれば、授業への出席状況は良好で、多くの学生が授業中にノートやメモをとっている。その反面で、予習や復習の時間は短く、授業時間以外に先生へ質問に行く学生は極めて少ないという実態が明らかとなった。これは昨年度から変化がない。

特に注目すべきは、受講動機である。昨年度までは「単位が必要だから」の回答が最も多かった。しかし、本年度は「講義要項を読んで興味を持ったから」の回答がこれを上回った。受講動機に変化がみられた。学生が授業を選択する判断材料として、講義要項の役割が大きい。

「1-1. 授業への出席状況」	① 90%以上 (52.74%)	② 80%以上 (30.04%)
「1-2. ノート・メモ」	① 強くそう思う (30.44%)	② そう思う (27.09%)
「1-3. 予習・復習」	① 0.5h未満 (60.40%)	② 0.5h以上 (1h未満) (19.85%)
「1-4. 受講動機」	① 講義要項を読んで興味を持ったから (35.87%)	② 単位が必要だから (33.90%)
「1-5. 質問」	① 全くそう思わない (67.39%)	② どちらとも言えない (13.68%)

(3) 学部設問項目の評価

学部設問項目として、本年度もこれまで同様に、「授業の開始時間・終了時間」、「出欠席管理」、「授業中の私語」の3項目を設けた。学部設問項目について、過去5年間における各項目の平均値を並べた。前年度よりも上昇した場合に△印を、低下した場合に▼印を、変化がなかった場合には□印を付けた。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
6-1. 授業の開始・終了時間					
専任教員	▼4.45	△4.47	▼4.44	△4.46	△4.57
講師(非常勤)	▼4.41	▼4.40	△4.42	△4.48	△4.50
6-2. 出欠席管理					
専任教員	▼4.43	△4.49	▼4.46	△4.51	▼4.44
講師(非常勤)	▼4.48	□4.48	▼4.47	△4.54	▼4.50
6-3. 授業中の私語					
専任教員	▼4.06	▼4.03	□4.03	△4.17	□4.17
講師(非常勤)	△3.76	□3.76	▼3.72	△3.83	△3.84

授業の開始・終了時間と出欠席管理については、継続的に高い平均値を維持しており、これらが定着していることを表している。授業中の私語については、専任教員の場合は低下傾向が続いていたが、平成23年度から改善に転じ、本年度は昨年度と同じ水準を維持した。さらに、講師(非常勤)の場合は、専任教員よりも平均値で劣るが、昨年度との比較では若干上昇しており、学部全体として授業中の私語が改善に向かっているといえる。

(4) 教員所属別の評価

専任教員の科目(100科目)と講師(非常勤)の科目(156科目)について、各項目の昨年度と本年度の平均値を並べた。昨年度よりも上昇した場合に△印を、低下した場合に▼印を、変化がなかった場合には□印を付けた。

	専任教員		講師(非常勤)		大学全体
	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成25年度
2-1. 狙いの明確さ	4.13	□4.13	4.14	▼3.99	3.95
2-3. 講義要項との進み具合	4.13	▼4.12	4.14	▼4.03	4.00
2-5. 声の大きさ	4.15	△4.24	4.16	□4.16	4.09
2-6. 教材等の効果	4.17	▼4.13	4.17	▼4.03	3.96
2-7. 教室内の雰囲気	4.24	□4.24	4.16	▼4.04	4.01
2-8. 宿題・課題		3.79		3.87	3.73
2-9. 理解しやすさ	3.93	△3.97	4.00	▼3.90	3.70
2-10. 見方・考え方が深まる	3.98	△4.04	3.95	▼3.90	3.73
3. 満足度	4.10	△4.15	4.19	▼4.03	3.91

3 の回答が適切である項目

	専任教員		講師(非常勤)		大学全体
	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成25年度
2-2. 難易度	3.37	▼3.39	3.30	▼3.39	3.46
2-4. 進度	3.18	▼3.20	3.15	▼3.24	3.27

専任教員については、10 項目のうち 4 項目で昨年度より上昇した。「3. 満足度」でも上昇している。これに対して、講師（非常勤）では、10 項目のうち 9 項目で低下という結果であった。さらに、専任教員と講師（非常勤）と平均値の比較では、11 項目のうち 10 項目で専任教員の方が優れている。講師（非常勤）への評価が若干低調といわざるを得ない。

(5) 分野別の評価

① 分野相互間の比較

英語群（99 科目）、地域言語群（84 科目）、基礎科目群（37 科目）、専門共通科目（20 科目）、専門コース科目（58 科目）の 5 群について、相互に比較した。平均値が最も高いものに○印を、最も低いものに●印を付けた。

	英語群	地域言語群	基礎科目群	専門共通科目	専門コース科目
2-1. 狙いの明確さ	4.08	○4.21	4.04	●3.89	4.09
2-3. 講義要項との進み具合	4.07	○4.17	4.02	●3.96	4.10
2-5. 声の大きさ	○4.25	4.23	4.19	●4.03	4.22
2-6. 教材等の効果	4.09	○4.15	3.98	●3.94	○4.15
2-7. 教室内の雰囲気	○4.20	4.13	4.02	●3.98	4.19
2-8. 宿題・課題	○4.08	○4.08	3.74	●3.56	3.70
2-9. 理解しやすさ	○4.02	3.99	3.86	●3.65	3.99
2-10. 見方・考え方が深まる	3.92	3.98	●3.79	3.80	○4.09
3. 満足度	4.09	○4.18	3.94	●3.86	4.16

3 の回答が適切である項目

	英語群	地域言語群	基礎科目群	専門共通科目	専門コース科目
2-2. 難易度	3.34	3.49	3.43	●3.52	○3.33
2-4. 進度	3.22	3.31	3.31	●3.32	○3.15

「3. 満足度」では、地域言語群、専門コース科目、英語群、基礎科目群、専門共通科目という順であった。さらに、地域言語群の授業は最も多くの項目で平均値が高く、11 項目のうち 5 項目で平均値が最も高かった。これに英語群と専門コース科目が続いている。これらに対して、専門共通科目の授業では、11 項目のうち 10 項目で平均値が最も低かった。

専門コース科目だけは昨年度との比較で「3. 満足度」を上昇させた。分野相互の比較においても評価が著しく高まった。

② 英語群

「3. 満足度」で昨年度（4.14）より若干低下したが、大学全体の平均値を上回り、4.0を超える高い水準を維持した。昨年度と同様に、「2-5. 声の大きさ」と「2-7. 教室内の雰囲気」の2項目で評価が高い。「2-10. 見方・考え方が深まる」は平均値で低いが、昨年度（3.90）よりは上昇している。

③ 地域言語群

「3. 満足度」で昨年度（4.35）より若干低下したが、大学全体の平均値を上回り、4.0を超える高い水準を維持した。「2-1. 狙いの明確さ」、「2-3. 講義要項との進み具合」、「2-6. 教材等の効果」、「2-8. 宿題・課題」の4項目で平均値が最も高い。地域言語群は学部の特色の一つとして、継続して高い評価を得ている。しかし、「2-9. 理解しやすさ」と「2-10. 見方・考え方が深まる」という学習の成果に関する2項目で昨年度よりも若干低下している点で注意を要する。

④ 基礎科目群

「3. 満足度」で昨年度（4.11）より若干低下したが、大学全体の平均値は上回った。「2-1. 狙いの明確さ」、「2-3. 講義要項との進み具合」、「2-5. 声の大きさ」、「2-7. 教室内の雰囲気」の4項目で、4.0を超える高い水準に達した。その一方で、「2-9. 理解しやすさ」と「2-10. 見方・考え方が深まる」という学習の成果に関する2項目で平均値が若干低い水準にとどまっている。

⑤ 専門共通科目

「3. 満足度」で昨年度（3.92）より低下し、大学全体の平均値を下回っている。さらに、「2-10. 見方・考え方が深まる」を除くすべての項目で最も低かった。分野相互間の比較で、専門共通科目の授業が平均値で劣るという傾向は以前からみられた。本年度は、この傾向がより顕著になったといえる。

⑥ 専門コース科目

「3. 満足度」で昨年度（3.94）より上昇し、4.0を超える高い水準に達した。全体としても昨年度と比較して、飛躍的に平均値が高まった。特に、「2-10. 見方・考え方が深まる」で平均値が最も高い。「2-2. 難易度」と「2-4. 進度」でも最も適切であった。さらに、「2-1. 狙いの明確さ」、「2-3. 講義要項との進み具合」、「2-5. 声の大きさ」、「2-6. 教材等の効果」、「2-7. 教室内の雰囲気」、「2-10. 見方・考え方が深まる」も4.0を超えた。

特に、専門コース科目については、履修学年別ではなく、科目が配当されているコースと学生の所属の2点を考慮して集計を行ってきた。国際協力（17科目）、国際経済（5科目）、国際政治（9科目）、国際文化（17科目）、国際観光（7科目）、農業総合（3科目）

の 6 コースについて、各項目の昨年度と本年度の平均値を並べた。昨年度よりも上昇した場合に△印を、低下した場合に▼印を、変化がなかった場合には□印を付けた。本年度における学部全体（専門科目）の平均値も付記してある。

	国際協力		国際経済		学部全体
	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成25年度
2-1. 狙いの明確さ	3.95	△3.98	3.94	△4.02	4.03
2-3. 講義要項との進み具合	3.89	△4.03	4.04	△4.06	4.06
2-5. 声の大きさ	3.98	△4.14	3.77	△4.14	4.17
2-6. 教材等の効果	4.09	▼4.04	3.97	△4.02	4.09
2-7. 教室内の雰囲気	4.04	△4.10	4.10	△4.13	4.13
2-8. 宿題・課題		3.74		3.78	3.66
2-9. 理解しやすさ	3.69	△3.85	3.62	△3.84	3.90
2-10. 見方・考え方が深まる	3.85	△4.01	3.78	△3.95	4.02
3. 満足度	3.87	△4.05	3.87	△4.05	4.08

3 の回答が適切である項目

	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成25年度
2-2. 難易度	3.38	△3.40	3.40	▼3.45	3.38
2-4. 進度	3.15	▼3.17	3.16	▼3.18	3.19

	国際政治		国際文化		学部全体
	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成25年度
2-1. 狙いの明確さ	3.95	△4.02	3.63	△4.07	4.03
2-3. 講義要項との進み具合	3.99	△4.04	3.80	△4.06	4.06
2-5. 声の大きさ	3.98	△4.11	3.79	△4.24	4.17
2-6. 教材等の効果	3.97	△4.06	3.84	△4.19	4.09
2-7. 教室内の雰囲気	4.11	▼4.06	3.86	△4.17	4.13
2-8. 宿題・課題		3.61		3.66	3.66
2-9. 理解しやすさ	3.83	△3.87	3.63	△4.01	3.90
2-10. 見方・考え方が深まる	3.90	△3.97	3.69	△4.12	4.02
3. 満足度	3.95	△4.03	3.67	△4.17	4.08

3 の回答が適切である項目

	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成25年度
2-2. 難易度	3.25	▼3.34	3.35	△3.30	3.38
2-4. 進度	3.12	▼3.17	3.21	△3.13	3.19

	国際観光		農業総合		学部全体
	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成25年度
2-1. 狙いの明確さ	4.34	▼4.11	4.05	▼4.03	4.03
2-3. 講義要項との進み具合	4.30	▼4.10	4.05	□4.05	4.06
2-5. 声の大きさ	4.36	▼4.22	4.25	▼4.20	4.17
2-6. 教材等の効果	4.21	▼4.18	4.60	▼4.11	4.09
2-7. 教室内の雰囲気	4.36	▼4.22	4.30	▼4.15	4.13
2-8. 宿題・課題		3.66		3.75	3.66
2-9. 理解しやすさ	4.25	▼4.05	3.95	▼3.93	3.90
2-10. 見方・考え方が深まる	4.35	▼4.15	4.13	▼4.09	4.02
3. 満足度	4.43	▼4.21	4.40	▼4.13	4.08

3の回答が適切である項目

	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成25年度
2-2. 難易度	3.27	▼3.29	3.25	▼3.35	3.38
2-4. 進度	3.23	△3.14	3.08	▼3.16	3.19

「3. 満足度」では、国際観光、国際文化、農業総合、国際協力、国際経済、国際政治という順であった。昨年度との比較では、国際観光コースの授業は10項目のすべてで平均値が低下している。これとは対照的に、昨年度は「3. 満足度」で平均値が最も低かった国際文化コースの授業が高い評価を得た。本年度、国際文化コースの授業では、10項目のすべてで平均値が昨年度より大幅に上昇している。

(6) 評価と課題

本年度の「授業改善のための学生アンケート」の結果によれば、全体として昨年度よりも評価が高まった。具体的には、専門科目で「3. 満足度」は昨年度より上昇し、4.0を超える高い水準に達した。大学全体の平均値との比較でも、ほとんどの項目で上回っている。

学生の授業への出席状況は良好で、多くの学生が授業中にノートやメモをとっている。その反面で、昨年度と同様に、予習や復習の時間が短く、授業時間以外に先生へ質問に行く学生は少なかった。

本年度の特徴として、講義要項を判断材料として授業を選択する学生の割合が増えたことが挙げられる。さらに、授業が「やさしく」、進度が「遅い」と感じている学生の割合が増えている。これらに対処するには、授業の設計段階から学生の反応やニーズを取り入れて、講義要項を継続的に見直していく必要がある。

専任教員と講師（非常勤）との平均値の比較では、講師（非常勤）への評価が若干低調であった。数多くの授業を講師（非常勤）に依存している現状を鑑みると、このような傾向が続けば、学部全体の授業改善を遅らせてしまう。専任教員と講師（非常勤）の間のコミュニケーションをさらに深化させて、一致した授業改善への取り組みが欠かせない。

また、分野（5群）間と専門コース科目（6コース）間の相互比較で注目すべき点とし

て、専門コース科目で平均値が飛躍的に上昇した。そのうち、特に国際文化コースの授業で評価が特に高まり、授業改善の取り組みの成果が表れている。その一方で、専門共通科目の授業が平均点で比較的劣った。全体としては、分野間や専門コース科目間の差は年度ごとに変化し、これらの間の差が固定化するという事態にはなっていない。互いに切磋琢磨して、授業改善でシナジー効果を期待したい。

アンケート結果から明らかになった問題を真摯に受け止め、その解決のために学部全体で必要な対策を講じたい。

6. 教養教育科目

(1) 講義等科目

本節では教養教育科目（以下、教養科目と略称）のうち、第1～第10群および第12群の講義科目（体育実技を除く）を対象とする。まず学科目別の比較を通じて、教養科目全体の現状を明らかにし、次に教養科目内部での群同士の比較を通じて、群毎に見られる現状を分析した後に、教養科目の課題および展望について述べる。

1. 教養科目の特徴——5学部の専門科目との比較より

まず「学科目別平均値・標準偏差」に現れたデータをもとに、5学部の専門科目との比較を通じて教養科目全体の現状を明らかにしたい。そのさい、アンケートの四つの綱目に沿って、①学生の受講姿勢、②授業の内容・進め方、③学生の満足度、④難易度・進度の四つの観点から見て行く。

学生の受講姿勢

まず「学生の出席状況」の項目は **4.51** であり、これは全体の平均値と一致する。ただ、すべての学科目が **4.36** から **4.62** の範囲内にあり、出席状況から教養科目の特徴を見いだすことはできない。また「ノート・メモ」の項目は **3.75** であり、全体の平均値 (**3.92**) より低いが、5学部の専門科目と比較した場合には、ちょうど中間である。ここにも特記すべき特徴は見当たらない。

次の「予習・復習」の項目は **1.50**、「質問」の項目は **1.48** であり、ともに全学科目中、最下位である。商学部では「予習・復習」(**1.80**)、「質問」(**1.63**)、さらに政経学部では「予習・復習」(**1.69**)、「質問」(**1.54**) であり、商・政経学部と比較しても低い数値となっている。ここには教養科目の担当者が対処すべき課題が存在するが、この点については後述する。

授業の内容や進め方

この綱目では教養科目はすべての項目で全体の平均値を下回っている。とはいえ、その差は「講義要項との進み具合」「声の大きさ」「教材等の効果」「理解しやすさ」「見方・考え方が深まる」など、ほとんどの項目で **0.1** 未満であり、大教室での多人数授業ではこれらの項目は少人数・クラス別授業に比べて低い数値が出るという一般的傾向を考慮に入れるならば、こうした結果を直ちに低評価に結びつける必要はない。この点は、5学部の専門科目における、これらの項目の数値と教養科目におけるそれとの差がほとんど無いという結果によっても裏づけられる。

これに対して「宿題・課題」の項目 (**3.57**) は、商学部の専門科目の数値 (**3.70**) と比較しても有意に低い値であり、この点は教養科目担当者の意識改革を望まざるをえない。とはいえ、棒グラフで示されたデータから明らかなように、昨年度の数値 (**2.50**) と比べると、設問項目の変更を行ったことを考慮しても大きく上昇しており、この項目に対する担当者の意識の高まりを見てとることができる。

学生の満足度

教養科目における「満足度」の項目は **3.85** であり、全体の平均値 (**3.91**) より低い、その差はわずか **0.06** であり、ほぼ平均値に等しいとみなしうる。上記の「授業内容・進め方」に関わるすべての項目が全体平均値より低いという事実を考え合わせるならば、この結果は少人数・クラス別授業と比べて不利な状況の中で、教養科目が比較的健闘していると判断できる。とはいえ、「満足度」の尺度が本質的に主観的なものである以上、客観的な数値として表すことになじまないのではないかと、という根本的な疑問は残る。

難易度・進度

教養科目の「難易度」(**3.41**) は適正な数値 (**3.00**) よりも高いが、全体平均値 (**3.46**) を下回っており、また商学部の専門科目 (**3.52**)、政経学部の専門科目 (**3.51**) と比べても適正值に近いことからして、教養科目が学生の理解度に合わせようと努力していると判断できる。また「進度」(**3.25**) は全体の平均値(**3.27**)とほぼ一致しており、授業の進行度はやや速めだが、概ね適正の範囲内にあると判断できる。

2. 教養科目各群の現状

教養科目各群の現状を見て行くにあたり、大教室での多人数授業の講義科目が中心の第1～第9群と、少人数・クラス別授業形態をとる第10群（日本語の表現）および第12群（情報技術）とを分けて見て行く必要がある。

①. 第1群～第9群について

第1群～第9群の編成と名称は以下のようである。

A系列（人間を考える）：

第1群（人間の探究）、第2群（文学・芸術）、第3群（身体と運動）

B系列（社会を考える）：

第4群（歴史・民族）、第5群（社会のしくみ）、第6群（近代社会の変容）

C系列（自然と環境を考える）：

第7群（自然の認識）、第8群（技術の進歩）、第9群（環境と人間）

「教養教育科目（1）講義科目（群別）」をもとに各群の現状を見て行くが、そのさい、あらかじめ留意しておくべき点がある。それは、各群のサンプル数がかなり小さいために、群同士を比較することに客観性が担保されないという点である。第4群（11）、第7群（11）のみ二桁のサンプル数であり、他の群はすべて一桁である。とりわけ第9群はサンプル数1であり、しかも一つの項目を除き、他のすべての項目で最下位である。これはサンプルそのものに問題があると言わざるをえない。そこで以下では第9群を除いた上で、上記の点に留意しつつ見て行くことにする。

学生の受講姿勢

「出席状況」では第3群 (**4.62**) が最上位、第4群 (**4.36**) が最下位であり、「ノート

・メモ」では第5群(4.10)が最上位、第3群(3.62)が最下位である。「予習・復習」では第6群(1.55)が最上位、第2群(1.41)が最下位、「質問」では第6群(1.67)が最上位、第3、第4群(1.37)が最下位である。

授業の内容・進め方

ここではすべての項目で第6群が最上位を占めている。サンプル数3という点を考慮するならば、この結果がそのまま第6群全体にあてはまるとは言えないが、教養科目の現状と課題を検討する上で、参照すべき資料であることは間違いない。

それ以外の群について見ると、「狙いの明確さ」では第1群(3.98)が第2位、第4群(3.48)が最下位であり、「履修要項との進み具合」では第5群(4.02)が第2位、第4群(3.72)が最下位。「声の大きさ」では第1群(4.27)が第6群と並んで最上位、第4群(3.36)が最下位。「教材等の効果」では第2群(3.94)が第2位、第4群(3.49)が最下位。「教室の雰囲気」では第5群(3.91)が第2位、第8群(3.49)が最下位。「宿題・課題」では第5群(3.60)が第2位、第4群(3.27)が最下位。「理解しやすさ」では第1群(3.76)が第2位、第7群(3.21)が最下位。「見方・考え方が深まる」では第1群(3.97)が第2位、第7群(3.34)が最下位であった。以上の結果から見るかぎりでは、第6群を除くと第1群の健闘が目立ち、第4群の成績がやや奮わなかったと判断できる。

学生の満足度

この項目でも第6群(4.29)が最上位、第1群(4.04)が第2位、第4群(3.46)が最下位であり、上記の「授業の内容・進め方」の結果にほぼ対応していることが分かる。前述したように、「満足度」を客観的な数値で表すことができるかは疑問の余地があるが、この結果を見るかぎりでは、必ずしも「満足度」の項目を無視する訳には行かないようである。しかし他方、「受講動機」の欄中の「単位取得が楽」という項目に注目するならば、この項目と「満足度」の項目とに一定の対応が見られるという興味深い事実が判明する。この点については、後の「課題と展望」において詳述する。

難易度・進度

「難易度」が適正值(3.00)にもっとも近いのは第3群(3.23)であり、もっとも遠いのが第7群(3.64)である。文系学生が多くを占める本学では、自然科学系の科目は難しく感じられるのかも知れない。「進度」が適正值にもっとも近いのは第3群と第6群(3.16)であり、もっとも遠いのが第8群(3.35)であるが、この程度の値であれば、概ね適正な進度で授業が進められていると判断できる。

②. 第10群および第12群について

学生の受講姿勢

「出席状況」の項目は第10群(4.58)、第12群(4.57)と、ともに高い。「ノート・メモ」の項目では第10群(3.63)は教養科目全体の平均値(3.75)に近いが、第12群(3.03)は平均値よりかなり低い。これは第12群がパソコン操作という実技中心の授業のためであろう。「予習・復習」の項目は第10群(1.45)、第12群(1.74)であり、第10

群は全体平均値（1.50）より低い。後述する「宿題・課題」の項目が第10群（4.00）と、教養科目全体の中で最上位であることと考え合わせると、第10群の授業では学生はあまり時間をかけずに宿題・課題をこなしていると判断できる。「質問」の項目では第10群（1.55）、第12群（1.80）であり、ともに全体平均値（1.48）より高い。細かい目配りが可能となる少人数教育の利点が反映されたものと判断できる。

授業の内容・進め方

前述したように、この綱目ではほとんどすべての項目で両群の数値が教養科目全体の平均値を上回っており、とりわけ第10群はすべての項目で4.00を超え、また「教材等の効果」の項目を除いて全群中、最上位の結果を収めている。これは授業担当者の努力の賜物であると同時に、少人数・クラス別授業の利点がよく活かされた成果であると判断できる。

第12群は第1群～第9群中、最上位の成績を収めた第6群とほぼ同様の結果となっているが、「見方・考え方が深まる」という項目（3.69）だけが全体平均値（3.70）をわずかに下回っている。第12群がパソコンの操作技術の習得を目的とした科目であることによると思われる。

学生の満足度

「満足度」の項目では第10群（4.41）、第12群（3.98）と、ともに全体平均値（3.85）を上回り、とくに第10群は全群中、最上位の値を示している。上に述べたことがこの項目にもあてはまると思われる。

3. 教養教育科目に関する課題と展望

以上の現状評価を踏まえた上で、教養科目に関する課題と展望について述べる。そのさい教養科目全体の課題および展望と、各群毎におけるそれとを分けて考察することにする。

①. 教養科目全体の課題と展望

前述したように、教養科目全体の結果はほとんどすべての項目で5学部の専門科目の平均値に近い値を示しているが、「予習・復習」「質問」の項目だけが最下位となっている。この点を評価するにあたって次のような事実注目する必要がある。それは「予習・復習」の項目と「宿題・課題」の項目とが、ほとんどすべての学科目において、ほぼ正確に対応しているという事実である。そこから読み取れるのは教養科目における宿題・課題の少なさが予習・復習や質問における数値の低さにつながっているという事態である。科目内容や授業形態といった事情のゆえに宿題・課題を出しにくいという点を考慮に入れても、この課題を解決するためには授業担当者の意識改革が不可欠であろう。

また「授業の内容・進め方」に属する項目では、教養科目は少人数・クラス別授業形態をとる学科目と比べて低い数値となっているが、商・政経学部という大所帯の学部の専門科目とほぼ等しい結果を得ていることは既述のとおりである。ただ、このまま放置しておいてよい訳ではなく、平成27年度、商・政経学部の文京キャンパスへの全面移転に伴う、文京キャンパスでの授業実施にあたって、多人数授業の増加が予想される中、緊急に対策

を立てる必要がある。

次に教養教育の「満足度」は学科目別の全体平均値に近く、また商・政経学部の専門科目の結果ともほぼ一致しており、教養科目だけに関わる緊急の課題は見当たらないが、この項目を「受講動機」欄の「単位取得が楽」の項目と照らし合わせてみると、興味深い事実が浮上する。それは、商・政経学部の専門科目を除いて、「単位取得が楽」の項目が **10%** を超えると、「満足度」の項目が **4.0** を上回り（外国語学部、国際学部）、「単位取得が楽」の項目が **10%** 未満では「満足度」の項目が **4.0** を切る（工学部、教養科目）という一般的傾向が見られるという点である。この傾向は学部別で見ると、より細かな区分で見た方が明瞭となる。たとえば国際学部の「地域言語群」を見ると、「1年配当（2～4年）」科目で「単位取得が楽」（**7.4%**）に対し、「満足度」（**3.97**）だが、「3・4年配当（3・4年）」科目では「単位取得が楽」（**47.6%**）に対し、「満足度」（**4.77**）と数値が跳ね上がっている。教養科目では「単位取得が楽」の項目が唯一、**10%** を上回っている第6群（**10.5%**）の「満足度」（**4.29**）は全群中最上位である。あくまで一般的傾向ではあるが、単位取得が楽とされる、いわゆる楽勝科目と「満足度」とのこうした対応関係を見るかぎり、「満足度」の数値をもって授業の質を判断することには大きな危険が伴うと言わざるをえない。とはいえ、教養科目では「単位取得が楽」の項目（**6.4%**）が全学科目中、最小であるにも拘らず、「満足度」の項目が **3.85** であり、これは「単位取得が楽」の項目が **10%** を超えている商・政経学部の専門科目の「満足度」とほぼ同じ値を示している。したがって教養科目の場合には、学生の満足度は楽勝科目とは別の要因によって測られていると判断できる。

②. 教養科目各群の課題と展望

教養科目各群の課題を正確に把握するためには多くのサンプルが必要であるが、この点で第1群（9）、第4群（11）、第7群（11）、第10群（18）、第12群（16）は問題ないのに対し、その他の群はサンプル数が少なく、とりわけ第6群（3）、第9群（1）はあまりに少ない。設置科目数が比較的少ないという事情があるにせよ、もう少しサンプルを増やす必要があるだろう。こうした問題点があることを念頭に置きつつ、以下、各群の課題および展望について述べる。

各群の課題を把握する上で、「受講動機」欄の「講義への興味」という項目が一つのヒントを与えてくれるように思われる。この項目がもっとも高いのが第9群（**34.7%**）であり、次に高いのが第4群（**25.4%**）である。ところが、この数値に反比例して、ほぼすべての項目にわたって最下位が第9群、下から2番目が第4群である。第9群は「環境と人間」、第4群は「歴史と民族」がテーマであり、学生の関心度が比較的高い分野であろう。したがって、この両群の成績の低さは、学生の関心度の裏返しとなって現れたものと判断できる。こうした事態は教養科目にかぎらず、多くの科目について見られる傾向であろうが、それだけに授業の工夫次第で改善が見込まれるともいえるだろう。逆に「講義への興味」の項目が最小である第6群（**19.5%**）が、多くの項目で最上位の結果を収めたことは、この群の授業内容が学生の期待以上のものであったことを物語っているといえる。

第7群は「理解しやすさ」および「見方・考え方が深まる」の項目が全群中、最下位で

あり、前述したように、文系学生が多くを占める本学では、自然科学系の科目は難しいと感じられるのであろう。授業担当者のさらなる工夫が望まれる。

第1群、第2群、第3群、第5群、第8群は多くの項目が全体平均値に近く、中位の結果を得ているといえる。ただ1昨年は第1群が最上位を占め、昨年は第3群が最上位、第5群が2位を占めるといった具合に、各群の結果は年度毎の変動が激しく、入学してくる学生のレベルや関心に左右される面も大きい。今回だけの結果で一喜一憂する必要はないと思われる。

なお、少人数・クラス別授業を行っている第10群、第12群は第1群～第9群に比べて、ほぼすべての項目で良好な結果を得ている。とりわけ「単位取得が楽」の項目が第10群(9.5%)、第12群(6.3%)と低い値であるにも拘らず、「満足度」の項目が第10群(4.41)、第12群(3.98)と、相対的に高い数値を得ているという事実は、少人数授業の利点を考慮に入れても、授業担当者の努力なしには考えられない成果であろう。課題としては、第10群では「予習・復習」(1.45)および「質問」(1.55)という低い値をどう改善してゆくか、また第12群では、唯一全体平均値を下回っている「見方・考え方が深まる」(3.69)にどう対処するか、といった点を挙げるができる。

4. まとめ

教養教育科目は大教室での授業が中心であり、この点で少人数・クラス別授業形態をとる学科目に比べて不利な条件を背負いながら、比較的健闘しているといえる。特筆すべきは、「単位取得が楽」という動機が全学科目中、最小値でありながら、多くの項目で5学部専門科目の平均値に近い値を得ているという事実であり、この点は単位取得を易しくしようとする昨今の動向に対して、大学教育の本道を呈示しているとみなしうる。しかしながら、「予習・復習」「質問」の項目に関しては、授業担当者の意識の高まりが見られはするものの、依然として最下位であり、さらなる改善の努力が求められる。平成27年度、商・政経学部の文京キャンパスへの全面移転に伴う、文京キャンパスにおける教養科目の授業展開がどのようなものとなるか、不確定要素が多く断定的なことは言えないが、授業担当者の地道な努力がもっとも肝要であることに変わりはないであろう。

(2) 外国語科目

1. アンケートの実施状況

本年度の「授業改善のためのアンケート」は平成 25 年 6 月 24 日(月)から 7 月 13 日(土)に行われた。ここでの「外国語科目」とは、商学部、政経学部、外国語学部、工学部の 11 言語の授業を意味する。科目の内訳は、英語、アラビア語、ブラジル・ポルトガル語、中国語、フランス語、ドイツ語、韓国語、インド・パキスタン語、インドネシア・マレーシア語、ロシア語、日本語である。

2. 項目別における集計結果（設問項目別に全体の平均値と比較）

I-1「学生の出席状況」

昨年の平均値が 4.49 であったのに対し、今年は 4.58 と 0.09 の上昇となった。一昨年の 4.56 よりも若干であるが上回っている。今年の全体の平均値 4.51 も上回っている。英語が 4.56 でほぼ平均値、第二外国語のメジャー言語の中ではドイツ語が 4.62 と良い数値を出している。日本語の 4.76 が、最も高い値となった。日本人学生は、留学生を見習ってほしい。

I-2「ノート・メモ」

外国語科目は 4.12 となり、昨年の平均値 3.99 から 0.13 の上昇となった。昨年と同様、今年も全体の平均値（3.92）を上回っている。ただし第二外国語が比較的高い数値を出しているのに対し、英語は 4.00 と低く、改善が望まれる。

I-3「予習・復習」

今年度の外国語科目の値は 1.96 となっており、全体の平均値 1.79 と比較して 0.17 と大幅に上回っている。しかし 2.00 の値は毎回の予習・復習が 30 分であることを意味しており、決して十分な値とは言えない。また前年度の値が 2.00 であったので、数値は下がっている。予習・復習の内容をより一層具体的に指示することが、求められる。

I-5「質問・オフィスアワー等」

今年度の値は 1.71 で、全体の平均値 1.63 と比較し、0.08 上回った。しかし実体としては、ほとんど質問が行われていないことになる。特に第二外国語のフランス語（1.49）とドイツ語（1.50）の値が低く、改善が求められる。

II-1「狙いの明確さ」

全体の平均値 3.95 に対し、外国語科目の平均値は 3.99 となっている。昨年は全体が 4.06、外国語科目は 4.07 であったため、全体の平均値に対する外国語科目の値の差は広がった。ただし両方とも値が下がっている点は、注意しなければならない。

Ⅱ-3「講義要項との進み具合」

全体の平均値が **4.00** であるのに対して、**4.02** となった。僅差ではあるが、全体を上回る結果となった。

Ⅱ-5「声の大きさ」

全体の平均値 **4.09** に対し、外国語科目の平均値は **4.15** となっており、**0.06** 上回っている。昨年の外国語科目平均値は **4.16** であったため、**0.01** 下降したことになる。前年とほぼ横ばいと言ってよいが、外国語学習にとって、「声の大きさ」は発音練習等で重要な要素となるので、全体の平均値を大きく上回ることを目標とすべきである。

Ⅱ-6「教材などの効果」

外国語科目の平均値は **3.99** で、全体の平均値 **3.96** に対し **0.03** 上回る結果となった。昨年の外国語科目の平均値は **4.09**、全体の平均値は **4.07** であったため、両者とも昨年より評価が下降している。外国語科目にとって教材の効果は重要な要素となるので、一層の改善を期待したい。

Ⅱ-7「教室内の雰囲気」

外国語科目の平均値は **4.15** で、全体の平均値 **4.01** を **0.14** 上回った。昨年の値（外国語科目 **4.19**、全体 **4.16**）を下回ったが、全体の平均値と差が広がる結果となった。

Ⅱ-8「宿題・課題」

全体の平均値が **3.73** であったのに対し、外国語科目の平均は **3.95** であった。アンケートの質問は「この授業は、宿題・課題等が適切に出されていると思いますか」であるため、概ね適切と受講者は捉えている。しかし毎回の予習・復習が平均 **30** 分程度なので、学生の意識改革も必要である。

Ⅱ-9「理解しやすさ」

外国語科目の平均値が **3.77**、全体の平均値 **3.70** で、外国語科目が **0.07** 上回っている。初めて学習する外国語において、理解しやすさは重要な項目となる。しかしながら昨年の外国語科目の平均値は **3.82** であり、一昨年は **3.91** であった。年々受講者の理解度が落ちていると考えられ、対策が必要である。また昨年度は特にスペイン語が **3.29** と値が低かったが、今年度も同じ **3.29** で依然として低い値となっている。今後の改善が望まれる。

Ⅱ-10「見方・考え方が深まる」

外国語科目の平均値は **3.63**、全体の平均値は **3.73** であった。昨年度も外国語科目が全体の平均値よりも若干低かったが（外国語 **3.62**、全体 **3.75**）、今年も同じような傾向となった。この項目でもスペイン語の値が低く（**3.27**）、改善が必要である。

Ⅲ 「満足度」

全体の平均値 **3.91** に対し、外国語科目の平均値は **3.96** となり、**0.05** 上回った。しか

しながら昨年の外国語科目の値 **4.03** を下回っており、課題が残った。

3 の回答が適切である項目

Ⅱ-2 「難易度」

全体の平均値が **3.46** であったのに対し、外国語科目は **3.43** であった。この項目は値が低いほど難易度が下がるので、全体と比較して外国語科目は易しいと判断されていることになる。

Ⅱ-4 「進度」

全体の平均値が **3.27** であったのに対し、外国語科目の平均値は **3.24** であった。これは、外国語科目が値 **3** の「ちょうど良い」により近いことを意味している。

1-4 「受講動機」回答の分布

多くの言語において、「単位が必要」と「時間帯が空いている」が多くのパーセンテージを占めている。「教員にひかれて」また「講義への興味」の値が低いのは、必修の第二外国語が入学前に選択されるため、事前の情報が入手困難であることに起因すると思われる。

3. 本年度の集計結果の評価について

- ①. 「出席状況」、「ノート・メモ」、「見方・考え方が深まる」は、前年度の値を上回っており、今後もこの傾向を維持すべきである。
- ②. 「予習・復習」、「質問・オフィスアワー」、「狙いの明確さ」、「講義要項と進み具合」、「声の大きさ」、「教材等の効果」、「教室内の雰囲気」、「理解のしやすさ」の項目が、昨年の値を下回った。
- ③. 「満足度」については、昨年度を下回る結果となった。
- ④. 一昨年度は昨年度を上回った項目と下回った項目がほぼ同数であった。今年度は、昨年度も上回った項目と下回った項目があったが、下回った項目の方が多かった。昨年度は全体の平均値が上がったため、外国語科目の平均値と差が縮まるか、あるいは逆転する項目があった。今年度は、外国語科目の平均値が全体の平均値を上回る傾向にあるのと同時に、値の差も広がる傾向が見られた。

4. 課題

- ①. 外国語科目の中でも特に第二外国語科目は、昨年度と同様、言語ごとに一クラスあたりの人数に差がある。今年度は中国語の履修者が大幅に減少した。中国語の一クラスあたりの履修者が **20** 名程度にあるのに対し、ドイツ語やフランス語は **40** 名程度と倍近い差がある。前年度も一クラスの受講者数の差が問題となったが、第二外国語では **3** 年間の受講者数の動向を踏まえて、クラス数の調整を図るようにした。このため徐々にばらつきは改善されると思われる。
- ②. アンケートの数値の大まかな傾向を見ると、外国語科目の値が若干下降しながらもほぼ横ばいとなっている。同時に全体の平均値との比較では、ほぼ全ての項目で上回っ

ている状況にある。全体の項目値の中でも特に政経学部の専門科目の値が下降傾向にあり、外国語科目の値が上昇傾向にならなかったのは、その影響もあると考えられる。

- ③. 各言語の数値を見ると、日本語の数値が高く、すべての項目において外国語の平均値を上回っている。これと比較してスペイン語の値が低い傾向がある。これは昨年度も同じような状況であった。今後もスペイン語の授業改善が望まれる。また科目数では英語が圧倒的に多く、英語の数値が全体の平均値に大きく影響する。しかしながら英語の評価については平均を下回っている項目が多く、第二外国語がそれを補っている状況にある。英語に対する評価の向上が、外国語科目全体に対する評価の向上につながる。それ故、英語科目の授業改善への一層の取り組みが期待される。
- ④. 外国語科目の担当者は、少数の専任教員と大多数の講師（非常勤）によって構成されている。そのため授業運営に当たっては、専任教員と講師（非常勤）の連携を密にする必要がある。特に成績評価について、クラス毎にばらつきがあるとの声を依然として聴く。欠席回数の上限についても、同じ言語の授業でさえもクラス間に大きく差がある状況にある。特定のクラスにおいて著しく厳しい評価が施されると、公平性や単位の正当性に疑問が生じかねない。まずは各言語の専任教員間で統一的ルールを決め、これを講師（非常勤）を含め全体に周知する必要がある。
- ⑤. 商学部、政経学部では、平成 27 年度より文京キャンパスでの一貫教育が開始される。これにより、3・4 年次の選択科目も含めたトータルな教育という視点から語学教育を捉えなおす必要がある。例えば第二外国語の初級・中級会話は、八王子および文京にキャンパスが分かれているが、これが文京一貫になれば受講者にとって選択肢が広がる。これを「個人研修奨学金」、「長期・短期留学」といった現行のプログラムと緊密に連携させ、受講者の海外志向を強化させるなどの工夫が必要である。
- ⑥. 大学の大量化に伴い、基礎学力の低い学生の増加が全国的な傾向として見られるが、本学も例外ではない。「理解のしやすさ」の値が下降しているのは、この影響もあると考えられる。この現状を認識した上で、学習習慣に乏しい学生に対し如何に効果的な授業を行うかが教員に対して求められている。一方的に文法項目を説明するのではなく、海外渡航を前提とした実践的な語学学習の場を提供する必要がある。本学の様々な海外プログラムに対し積極的な応募を呼びかけることは重要であるが、プログラムの存在自体を知らない学生も多い。また留学や海外研修が語学力の向上だけでなく、主体性の向上や就職活動に役立つことなどもインセンティブとして明示する必要がある。しかしこういった具体的な情報提供は、各教員任せになっているのが現状である。情報提供への組織的取り組みが、今後の課題となろう。

(3) スポーツ・トレーニング科目

(A) 評価

I. 受講する姿勢や動機について

I-1 「学生の出席状況」

平均値 **4.65** (平成 **24** 年度調査は **4.51**、平成 **23** 年度 **4.58**、平成 **22** 年度 **4.51**、平成 **21** 年度 **4.47**、平成 **20** 年度 **4.53**、平成 **19** 年度 **4.47**)。出席率 **80** %以上と答えた学生は **91** %であった。平成 **24** 年度調査では **88**%、平成 **23** 年度 **90**%、平成 **22** 年度 **88** %、平成 **21** 年度 **88** %、平成 **20** 年度 **90** %、平成 **19** 年度 **88**%であった。商・政経・工学部の必修科目であることからか、出席状況は概ね非常に良好である。

I-2 「健康・運動への関心」

平均値 **4.27** (平成 **24** 年度調査 **4.21**、平成 **23** 年度 **4.15**、平成 **22** 年度 **4.20**、平成 **21** 年度 **4.08**、平成 **20** 年度 **4.11**、平成 **19** 年度 **4.12**)。「強く関心を持つが **51.69** %、そう思うが **28.98** %」で **81** %、平成 **24** 年度は「強く関心を持つが **47.29** %、そう思うが **30.65** %」で **78**%、平成 **23** 年度 **78**%、平成 **22** 年度 **80** %である。過去 **4** 年間程は **78** %以上の学生が「健康・運動」に関心を持っていると回答したことになる。

I-3 「積極的参加」

平均値 **4.48** (平成 **24** 年度調査は **4.37**、平成 **23** 年度 **4.30**、平成 **22** 年度 **4.35**、平成 **21** 年度 **4.28**、平成 **20** 年度 **4.21**、平成 **19** 年度 **4.21**)。「強くそう思う **60.82** %、そう思うが **29.13** %」で **90**%、平成 **24** 年度は「強くそう思う **57.39** %、そう思うが **29.55** %」で **87**%、平成 **23** 年度調査でも **87**%、平成 **22** 年度調査でも **87** %と、数値はここ数年間ほぼ変化していない。

I-4 「受講動機の回答比率」

スポーツ・トレーニング科目は商・政経・工学部必修科目であるため、この項目の調査は適当ではないと考えられる。

II. 授業の内容や進め方について

II-1 「狙いの明確さ」

平均値 **4.36**(平成 **24** 年度調査では **4.33**、平成 **23** 年度 **4.25**、平成 **22** 年度 **4.33**、平成 **21** 年度 **4.23**、平成 **20** 年度調査 **4.21**、平成 **19** 年度 **4.30**)。「強くそう思う **53.30**%、そう思う **31.30**%」で **85** %、平成 **24** 年度は「強くそう思う **51.32**%、そう思う **31.58**%」で **83** %、平成 **23**・**22** 年度も **84** %と、ほぼ同様の数値が継続している。平成 **21** 年度も同様に **84**%であった。

II-2 「難易度」

平均値 **3.18** (平成 **24** 年度調査は **3.15**、平成 **23** 年 **3.17**、平成 **22** 年度 **3.26**、平成 **21**

年度 3.20、平成 20 年度 3.20、平成 19 年度 3.22)。「ちょうど良い」が 69.83%、平成 24 年度は「ちょうど良い」が 72.98%、平成 23 年度が 71.76 %で数値は若干減少した。

Ⅱ－3 「進捗」

平均値 3.15 (平成 24 年度調査は 3.09、平成 23 年度 3.06、平成 22 年度 3.19、平成 21 年度 3.14、平成 20 年度 3.12、平成 19 年度 3.17)。「ちょうど良い」が 82.94 %、平成 24 年度は「ちょうど良い」が 89 %、平成 23 年度は 87 %であった。今後改善していかなければならないと思われる。

Ⅱ－4 「説明方法・分かりやすさ」

平均値 4.15 (平成 24 年度調査は 4.22、平成 23 年度 4.11、平成 22 年度 4.23、平成 21 年度 4.02、平成 20 年度 4.08、平成 19 年度 4.17)。「強くそう思う 45.75%、そう思う 26.36%」で 72 %、平成 24 年度は「強くそう思う 48.04%、そう思う 25.98%」で 74 %、平成 23 年度では 71 %、平成 22 年度は 77 %、平成 21 年度 69 %、平成 20 年度 71 %と、ここ数年悪い数値ではないが、ほぼ横ばいとなっている。まだまだ教員自身の改善努力が必要な項目になっている。しかし良い変化の兆しは見えてきていると考えられる。

Ⅱ－5 「話し方や声の聞き取りやすさ」

平均値 4.45 (平成 24 年度調査は 4.48、平成 23 年度調査は 4.38、平成 22 年度 4.45、平成 21 年度 4.36、平成 20 年度 4.41、平成 19 年度 4.42)。「強くそう思う 61.73%、そう思う 23.30%」で 85 %、平成 24 年度は「強くそう思う 65.84%、そう思う 23.47%」で 89 %、平成 23 年度は 86%、平成 22 年度 89 %であった。まだまだ努力し、設定目標値に届かさなければいけないと考えられる。

Ⅱ－6 「学生とのコミュニケーション」

平均値 4.25 (平成 24 年度調査は 4.38、平成 23 年度 4.32、平成 22 年度 4.44、平成 21 年度 4.29、平成 20 年度 4.30、平成 19 年度 4.30)。「強くそう思う 49.58%、そう思う 29.78%」で 79 %、平成 24 年度は「強くそう思う 56.74%、そう思う 26.59%」で 83 %、平成 23 年度は 82 %、平成 22 年度は 86 %の学生が学生とのコミュニケーションの部分が高く評価している。例年と比べ大きな変化はないが、目標値はまだクリアできていない。

Ⅱ－7 「リーダーシップ」

平均値 4.36 (平成 24 年度調査は 4.42、平成 23 年度 4.36、平成 22 年度 4.46、平成 21 年度 4.32、平成 20 年度 4.32、平成 19 年度 4.38)。「強くそう思う 54.08%、そう思う 29.76%」で 84 %、平成 24 年度は「強くそう思う 56.85%、そう思う 29.27%」で 86 %である。平成 23 年度は 85 %で、平成 22 年度は 87 %であった。未だに一度も目標値をクリアできていない。「民主的・協調的リーダーシップ」は指導スキルに欠かせないものであるため、今後も鋭意向上を目指さなければいけないと考えられる。

Ⅱ－８「授業の雰囲気」

平均値 **4.42**（平成 **24** 年度調査は **4.48**、平成 **23** 年度 **4.37**、平成 **22** 年度 **4.46**、平成 **21** 年度 **4.34**、平成 **20** 年度 **4.36**、平成 **19** 年度 **4.42**）。「強くそう思う **55.93%**、そう思う **31.36%**」で **87** %、平成 **24** 年度は「強くそう思う **58.80%**、そう思う **30.15%**」で **89** %、平成 **23・22** 年度も **86** %であり、過去と比較してみると微増ではあるが上昇したと言える。この項目に影響を与える要素は、学生間の集団力学、施設設備、備品などであると考えられるが、教員の指導スキルが最も影響する項目でもある。目標値は **90%** である。しかし、未だに達成できていない。鋭意努力し、向上を目指す必要があると考えられる。

Ⅱ－９「理解しやすさ」

平均値 **4.38**（平成 **24** 年度調査は **4.37**、平成 **23** 年度も **4.37**、平成 **22** 年度 **4.41**、平成 **21** 年度 **4.29**、平成 **20** 年度 **4.30**、平成 **19** 年度 **4.35**）。「強くそう思う **53.73%**、そう思う **31.53%**」で **85** %である。平成 **24** 年度は「強くそう思う **55.09%**、そう思う **31.13%**」で **86** %、平成 **23** 年度は **84** %、平成 **22** 年度は **86** %であった。平成 **24** 年度、平成 **22** 年度に続き達成目標値の **85%** をクリアした。

Ⅱ－１０「知識・技術が身につく」

平均値 **4.25**（平成 **24** 年度調査は **4.23**、平成 **23** 年度 **4.26**、平成 **22** 年度 **4.28**、平成 **21** 年度 **4.13**、平成 **20** 年度 **4.16**、平成 **19** 年度 **4.20**）。「強くそう思う **47.63%**、そう思う **32.20%**」で **80** %、平成 **24** 年度は「強くそう思う **44.74%**、そう思う **37.59%**」で **82** %、平成 **23・22** 年度はともに **82** %であった。前回同様、非常に良い数値である。重要な項目であるのでさらに何が有用な知識技術であるのか研究する必要がある。継続して目標値を達成している。当然このまま継続していきたいと考える。

Ⅱ－１１「健康・体力維持に役立つ」

平均値 **4.33**（平成 **24** 年度調査は **4.33**、平成 **23** 年度調査は **4.36**、平成 **22** 年度 **4.38**、平成 **21** 年度 **4.22**、平成 **20** 年度 **4.19**、平成 **19** 年度 **4.27**）。「強くそう思う **50.93%**、そう思う **33.79%**」で **85** %、平成 **24** 年度は「強くそう思う **50.47%**、そう思う **35.08%**」で **85** %、平成 **23** 年度 **85** %、平成 **22** 年度が **86** %であった。以前は約 **80** %前後の評価であったが、一昨年度より継続して数値は達成目標値 **85** % をクリアしている。今後とも継続していきたい数値であると考えられる。

Ⅲ．総合的に見て、この授業に満足していますか

平均値 **4.42**（平成 **24** 年度調査は **4.43**、平成 **23** 年度調査は **4.39**、平成 **22** 年度調査は **4.46**、平成 **21** 年度 **4.34**・平成 **20** 年度 **4.35**・平成 **19** 年度 **4.36**）。「強くそう思う **59.22%**、そう思う **26.62%**」で **86** %、平成 **24** 年度は「強くそう思う **60.04%**、そう思う **26.45%**」で **86** %である。過去 **5** 年間は約 **85** %で同じ傾向であると言える。達成目標値 **90** %に近い数値が今回の調査でも得られているが、未だに達成目標値はクリアされていない。

継続して努力していきたいと考えている。

IV. スポーツ・トレーニング用の独自の設問項目

IV-1 「希望種目」

平均値 **4.35**（平成 **24** 年度調査は **4.28**、平成 **23** 年度 **4.15**、平成 **22** 年度 **4.19**、平成 **21** 年度 **4.09**、平成 **20** 年度 **4.22**、平成 **19** 年度 **4.08**）。この調査項目に関しては、**1** 年生の授業は必修科目、**2** 年次以上は自由科目であるので、データが混在し正しい評価は出来ないと考えられる。恐らく、**1** 年生は受講時間、種目選択に学生個人の意思があまり反映されないため「単位取得のため」となり、**2** 年生以上の学生は必修科目ではないため、動機の特定は困難となる。しかし「スポーツ種目」はなるべく希望種目が選べるように出来る限りの配慮を考えていきたい。

IV-2 「時間帯」

平均値 **4.06**（平成 **24** 年度調査は **3.92**、平成 **23** 年度 **3.93**、平成 **22** 年度 **3.97**、平成 **21** 年度 **3.80**、平成 **20** 年度 **3.92**、平成 **19** 年度 **3.89**）。時間帯は学生の満足を十分には得ていないと考えられる。特に1時限目の授業は運動するのに相応しいとは到底思われない。しかし決定的に悪いという訳でもないようである。現在の授業時間設定は必修科目ということを考えればやむをえないものであるが、今後の改善課題でもあると考えられる。

IV-3 「次年度の履修希望」

平均値 **3.68**（平成 **24** 年度調査は **3.47**、平成 **23** 年度 **3.56**、平成 **22** 年度 **3.60**、平成 **21** 年度 **3.51**、平成 **20** 年度 **3.54**、平成 **19** 年度 **3.56**）。**1** 年次終了して **2** 年次以降に履修したい学生の比率が、前年度と比べ上昇していた。「希望種目」「時間帯」の設問と同様に **1** 年生のみに限定して調査する必要性を感じる。

(B) 課題

- 平成 **17** 年度達成値から、平成 **18** 年度以降の「達成する目標値」を設定した（表1参照）。この数値は努力目標であり義務目標ではない。また数字の根拠となる理論も明確には無い。しかし、「努力目標数値」と考え、時間をかけて努力していくと根拠のある数字を見つけることが出来るであろうという前提のもとで設定してある。「希望種目」「時間帯」「次年度履修希望」には「達成目標値」を設定していない。
- 表1の達成値はアンケートの調査項目で、「⑤強くそう思う、④そう思う」と回答した学生の割合である。但し、「難易度」「進度」については、「③ちょうど良い」と解答した学生の割合である。また、表の項目の「達成・未達成・増減」は、達成目標値を達成した項目は◎印、未達成は×印で表し、そして、今回の調査が前年度に比べて増加した場合は↑、減少した場合は↓、横這いは→で表している。数値は小数点以下は四捨五入している。

表 1 「年度別達成値」と「達成目標値」の推移

	調査項目	21年度 達成値	22年度 達成値	23年度 達成値	24年度 達成値	25年度 達成値	達成 目標値	◎達成
I-1	学生出席状況	88%	88%	90%	88%	91%	95%	×↑
I-2	健康・運動関心	77%	80%	78%	78%	81%	80%	◎↑
I-3	積極的参加	85%	87%	87%	87%	90%	85%	◎↑
II-1	狙いの明確さ	84%	84%	84%	83%	85%	80%	◎↑
II-2	難易度	68%	72%	71%	73%	70%	80%	×↓
II-3	進度	81%	85%	87%	89%	83%	85%	×↓
II-4	説明方法	69%	77%	71%	74%	72%	75%	×↓
II-5	話し方・声の大きさ	86%	89%	86%	89%	85%	87%	×↓
II-6	コミュニケーション	83%	86%	82%	83%	79%	85%	×↓
II-7	教員のリーダーシップ	85%	87%	85%	86%	84%	88%	×↓
II-8	授業の雰囲気	87%	86%	86%	89%	87%	90%	×↓
II-9	理解しやすさ	85%	86%	84%	86%	85%	85%	◎↓
II-10	知識・技術の習得	79%	82%	82%	82%	80%	80%	◎↓
II-11	健康・体力維持	80%	86%	85%	85%	85%	85%	◎→
III	総合的な満足度	85%	86%	88%	86%	86%	90%	×→
IV-1	希望種目							
IV-2	時間帯							
IV-3	次年度履修希望							

総括

- ① 「達成目標値」をクリアした項目：6項目
- ② 「達成目標値」をクリアできなかった項目：9項目
- ③ 「達成目標値」に一層の努力を要する項目：「学生出席状況」、「難易度」、「コミュニケーション」、「教員のリーダーシップ」、「総合的満足度」の5項目

◆ 備考 平成26年度の努力目標設定

平成25年度は平成24年度より達成目標値をクリアした項目が減少した。しかし、平成23年度よりは増加した。教員が共通意識を持ち、努力をした結果が数値に表れたと思える。更に努力次第で未達成項目の達成は可能と考え来年度はまた頑張りたい。平成25年度も「体育教員室」に努力目標として「説明方法を改善しよう」のポスターを継続して掲示した。学生の評価結果としては十分に効果があったと思える。前述した通り平成26年度も引き続き努力していくつもりである。

- ◆ 討議のための参考資料として「表2」を作成した。「表1」の補完として利用できる。

表 2 「各年度の平均値の推移」

	調査項目	21年度 平均値	22年度 平均値	23年度 平均値	24年度 平均値	25年度 平均値
I-1	学生出席状況	4.47	4.47	4.58	4.51	4.65
I-2	健康・運動関心	4.08	4.08	4.15	4.21	4.27
I-3	積極的参加	4.28	4.28	4.30	4.37	4.48
II-1	狙いの明確さ	4.23	4.23	4.25	4.33	4.36
II-2	難易度	3.20	3.20	3.17	3.15	3.18
II-3	進度	3.14	3.14	3.06	3.09	3.15
II-4	説明方法	4.02	4.02	4.11	4.22	4.15
II-5	話し方・声の大きさ	4.36	4.36	4.38	4.48	4.45
II-6	コミュニケーション	4.29	4.29	4.32	4.38	4.25
II-7	教員のリーダーシップ	4.32	4.32	4.36	4.42	4.36
II-8	授業の雰囲気	4.34	4.34	4.37	4.48	4.42
II-9	理解しやすさ	4.29	4.29	4.37	4.37	4.38
II-10	知識・技術の習得	4.13	4.13	4.26	4.23	4.25
II-11	健康・体力維持	4.22	4.22	4.36	4.33	4.33
III	総合的な満足度	4.34	4.34	4.39	4.43	4.42
IV-1	希望種目	4.09	4.09	4.15	4.28	4.35
IV-2	時間帯	3.80	3.80	3.93	3.92	4.06
IV-3	次年度履修希望	3.51	3.51	3.56	3.47	3.68

7. 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目

授業評価の教職課程の科目数は27科目、社会教育主事講座の科目数は0科目、日本語教員養成基礎講座科目数の科目数は4科目が対象であり、全体では31であった。「Ⅲの満足度」について2講座全体で見ると、昨年度の平均値 **4.18**、本年度が平均値 **3.99** でありやや減少した。⑤「強くそう思う」が **35.13** %、④「そう思う」が **35.55** %で全体的に満足度がやや落ちている。

(1) 教職課程について

I 受講する姿勢や動機について

I-1 教職科目全体での「学生の出席状況」を見ると、平均値は **4.46** (標準偏差 **0.73**) であり、昨年の **4.52** (標準偏差 **0.23**) より少し下がり、出席率が **90** %以上の学生が **59.3%** (昨年 **61.4** %)、及び **80** %以上の学生が **29.4** (昨年 **27.6** %) であり出席状況は、例年と変わらなかった。教職科目の履修学生の出席状況はおおむね満足できるものと判断できる。

このことは教員免許を取得し教師を目指すという明確な目標があり、目的意識の高い学生が多いことによると考えられる。しかし、一方、途中で履修を放棄したり、欠席がちな学生も若干みられた。

I-2 「授業内容についてノートやメモをとるか」についての回答は、昨年度は平均値 **4.17** (標準偏差 **0.45**)、本年度は平均値 **4.17** (標準偏差 **0.93**) であり、昨年とほとんど変わらなかった。出席状況と同じく、ノートやメモをとる学生が「**90** %以上」及び「**80** %以上」の受講者の合計で見ると、昨年には及ばないものの **76** %と高かった。

I-3 「予習・復習」をするかについては、一昨年度は平均値 **2.92** (標準偏差 **0.39**)、昨年度は平均値 **1.70** (標準偏差 **0.47**)、今年度は平均値 **1.65** (標準偏差 **0.94**) と年々減少傾向にある。学生の半数以上が予習・復習をやらず(1時間以内)に授業に臨んでいることになる。教職履修学生であることを考えるとこの傾向は深刻である。課題や事前学習を宿題として課すなど授業に工夫を凝らすことが求められている。

I-4 「受講の動機」は③「単位が必要だから」**77.3** %が圧倒的に多く、次いで⑤「講義要項を読んで」**2.8** %であった。やはり、教員免許取得の資格講座のためと思われる。

I-5 「質問に行く(オフィスアワー等)」は、昨年度から設定された項目であるが、今年度は平均値 **1.48** (標準偏差値 **0.94**) であり、昨年度は平均値 **1.74** (標準偏差値 **0.49**) と、ほとんどの学生が行っていない実態がわかる。教職課程の講座は全学部を対象とする講座が多く、担当教員も講師の先生が多いためと考えられる。指導教員は学生とのコミュニケーションを密にして相談等に気軽に応える関係を築くことが必要になってくると考える。

II 授業内容や進め方について

- II-1 「授業の狙いの明確さ」については、一昨年度は平均値 **4.04** (標準偏差 **0.34**)、昨年度は平均値 **4.13** (標準偏差 **0.35**)、本年度は平均値 **4.04** (標準偏差 **0.93**) と、授業の狙いが理解されていることを示している。
- II-2 「授業の難易度」については、一昨年度は平均値 **3.37** (標準偏差 **0.24**)、昨年度は平均値 **3.24** (標準偏差 **0.21**)、本年度は平均値 **3.39** (標準偏差 **0.65**) であり、③「ちょうどよい」という学生 (**61.7 %**) がほとんどであるが、④「やや難しい」も **30.3 %**あり、わかりやすい授業を心掛ける必要があるように思われる。
- II-3 「講義要項に沿った授業」は、昨年度から設定された項目であるが、昨年度は平均値 **4.15** (標準偏差 **0.31**) であり、今年度は平均値 **4.01** (標準偏差 **0.85**) であり、ほぼ講義要項に沿って授業がなされていることがわかる。
- II-4 「授業の進度」については、一昨年度は平均値 **3.20** (標準偏差 **0.19**)、昨年度は平均値 **3.09** (標準偏差 **0.16**)、本年度は平均値 **3.18** (標準偏差 **0.59**) と、ここ数年ほぼ同様である。③「どちらとも言えない」が **76.2 %**であり、ほぼ理解できる進捗と思われる。
- II-5 「話し方や声の聞き取りやすさ」では、一昨年度は平均値 **4.11** (標準偏差 **0.41**)、昨年度は平均値 **4.21** (標準偏差 **0.38**)、本年度は平均値 **4.14** (標準偏差 **0.97**) と、高い傾向にあり問題ないと考えられる。
- II-6 「教材等の有効性」では、昨年度は平均値 **4.06** (標準偏差 **0.38**)、本年度は平均値 **4.01** (標準偏差 **0.98**) とほとんど変わらない。今年度は電子黒板を導入した講義も行われたが、今後も教育機器を活用した授業の改善がのぞまれるところである。
- II-7 「学習にふさわしい雰囲気」では、一昨年度は平均値 **4.19** (標準偏差 **0.37**)、昨年度は平均値 **4.28** (標準偏差 **0.42**)、本年度は平均値 **4.22** (標準偏差 **0.88**) となっている。教職課程の授業であり、静謐な教育環境は欠かせない。
- II-8 「宿題・課題の適切さ」は、昨年度から設定された項目であるが、昨年度が平均値 **2.68** (標準偏差 **0.68**) であり今年度は平均値 **3.72** (標準偏差 **1.01**) と、大変と答える学生が多くなった。I-3「予習・復習」と関連する項目であるが、宿題・課題がないので大変でないのか、あっても負担になっていないのか、今後検討を要するようである。
- II-9 「学習内容の理解」では、一昨年度は平均値 **3.82** (標準偏差 **0.35**)、昨年度は平均値 **3.87** (標準偏差 **0.35**)、本年度は平均値 **3.80** (標準偏差 **0.96**) であった。⑤ (**26.8 %**) と④ (**37.3%**) の割合が逆転するよう、分かり易く理解しやすい授業を心掛けることが必要である。
- II-10 「ものの見方や考え方が深まる」では、一昨年度は平均値 **3.87** (標準偏差 **0.29**)、昨年度は平均値 **3.95** (標準偏差 **0.34**)、本年度は平均値 **3.86** (標準偏差 **0.92**) であまり変化がない。教職課程の履修学生であることを考えるともっと高い平均値がのぞまれる。視野の広い、高い志をもった教員養成を心掛ける必要がある。

Ⅲ 「総合的な満足度」は、授業改善にむけての最重要な評価項目であるが、一昨年度は平均値 **3.99**（標準偏差 **0.42**）、昨年度は平均値 **4.15**（標準偏差 **0.37**）、本年度は平均値 **3.96**（標準偏差 **0.94**）であり一昨年度とほぼ同じになっている。⑤「強くそう思う」が **35.13** %、④「そう思う」が **35.55** %であり、⑤と④の回答が多いことがわかり、教職科目の授業に満足している学生が多いことがわかる。しかし、4人に1人は満足していないのであり、今後は、学生全員が満足できるような授業を目指して、工夫改善を行うよう心掛ける必要がある。

教職課程科目においては、前期に調査した今年度は、一昨年（前期調査）とほぼ同じ平均値であり、後期に調査した昨年よりも平均値が下がる傾向がみられた。

Ⅱ－1「授業の狙いの明確さ」、Ⅱ－3「講義要項に沿った授業」、Ⅱ－5「声の大きさ」、Ⅱ－6「教材等の有効性」、Ⅱ－7「学習環境の雰囲気」などは平均値が4以上であり、全体的に見れば授業は適切に行われていると判断できる。

しかし、Ⅰ「受講する姿勢や動機」のⅠ－3「予習・復習」をするかについては **58.77** %の学生が「①しない」と答え、Ⅰ－5「質問に行く」は **74.0** %の学生が「①行かない」と答えており、この点の解決如何が今後の授業改善に大きく結びつくものと考えられる。このことを強く意識しながら一層の授業改善に努めたい。

(2) 社会教育主事講座について

今年度の社会教育主事講座は学生アンケートの対象講座がなかった。

(3) 日本語教員養成基礎講座について

本年度の「授業改善のための学生アンケート」を見ると、授業内容、満足度など授業に関するほとんどの項目において評価が **4.0** ～ **4.5** を上回っており、他の講義科目に比べ高い評価を受けていることがわかる。その他の項目について、今回、社会主事講座は授業評価が行われなかったため、教職課程と日本語教員養成基礎講座の **2** 講座を比較してみると、**I-4** 「受講動機」の項目では、教職課程では「単位が必要」がそれぞれ **77.3** %であるのに対して日本語教員養成基礎講座は **25.0** %となっている。これは、前者が教員免許であるのに対して日本語教員養成基礎講座が教員資格認定講座であるためと思われる。このことは「時間帯が空いている」が、前者が **8.8** %で、後者が **58.3%**となっていることからわかるように、後者には、どうしても取らなければならないという強い動機はなく、単に時間が空いているからという程度のものであることがわかる。ただ、「講義への興味」を見ると、教職課程が **2.8** %であるのに対して日本語教員養成基礎講座は **11.7** %とやや高くなっていることがわかる。これは、外国人に対する日本語教育というものがどのようなものであるかという興味があったということであろう。このことから日本語教員養成基礎講座の受講者は、特に強い動機を持って受講しているわけではなく、時間的余裕があるので、外国人に対する日本語教育とは、どのようなものであるのかという未知のものへの好奇心から受けようという者が多いようである。「予習・復習」をする者も教職課程の **1.65** と同様 **1.55** と低い評価になっているが、これは大学全体の平均値に近い。また、「教員にひかれて」という項目を見ても、日本語教員養成基礎講座は **0.0** %となっている。

これは、おそらく日本語教員養成基礎講座が未知の講座であるため、講師も未知ということであろう。ただ、実際、受講した後の教員の講義内容に対する評価は、すでに述べたように非常に高いものとなっている。これは、担当教員各位の非常な努力によるものであろうが、今後はさらに学生に広報などで本講座そのものについて知ってもらう必要があるだろう。

参考資料－実施要領

実施要領

1. 目的

教員の授業の改善に役立てること、並びに本学の教育の質の向上を図ること。

2. 対象科目

担当科目のうち、履修登録者数の多い科目（原則として履修登録者20名以上のもの）の中から2科目程度を選択し実施する。講師（非常勤）の場合は、1科目以上とする。

専門教育及び教養教育等（教職・社教・日語を含む）の両分野の科目を担当している場合は、それぞれ1科目以上を実施する。

なお、国際学部では、従来どおり原則として全科目を対象に実施する。

3. 実施期間：平成25年 6月24日（月） ～ 平成25年 7月13日（土）

（予備日： 7月15日（月） ～ 7月22日（月）

4. 実施科目の届出

教員は、実施届出用紙に必要事項（実施科目、実施日等）を記入し、学務課、八王子学務課、学長事務室のいずれかに提出する。（国際学部開設科目は、原則として全科目を実施対象とするため、届出は不要。）

5. アンケート用紙

アンケート用紙は、「講義等科目用」、「スポーツ・トレーニング科目用」、「工学部実験・実習科目用」の3種類とする。（添付のアンケート様式参照）

6. 実施当日の手順

（1）アンケート用紙及び回収用封筒を学務課・教員控室等から受け取る。

（2）授業時間の一部（30分程度）を利用し、アンケートを実施・回収する。

アンケートの回収は、受講生個人を特定できないようにするため、受講生の協力を得て行う。外国語学部及び国際学部では、アンケートの実施・回収は原則として受講生によって行う。

（3）回収用封筒に必要事項（アンケート枚数等）を記入し、直ちに学務課・八王子学務課へ提出する。

7. 科目別集計表の作成

- (1) 集計作業は、外部の業者に委託する。
- (2) 実施科目については、科目別集計表を作成する。
- (3) 科目別集計表は、担当教員に学生が記入したアンケート用紙（自由意見欄を含む）とともに送付する。

8. 実施結果のとりまとめ

- (1) 担当教員は、科目別集計表の「科目別集計結果に対する所見」欄を作成し、学務課、八王子学務課、学長事務室のいずれかに提出する。
- (2) 各学部FD委員会は、実施結果を分析し、報告書にまとめるにあたって、学部、学科、コース、分野等別において授業改善のための意見交換を行い、「今後の課題」の中でいくつかの「具体的な次年度の授業改善取組方針及び実施計画」を掲げる。
記載項目は、①実施状況（グループ分けの方法を含む）、②実施結果の分析、③今後の課題の3構成で記述し、概ねA判2枚程度（**2,000**字）とする。
- (3) FD委員会は、実施結果報告書 第I部 全体集計、第II部 科目別集計を作成する。

9. 活用方法

- (1) 実施報告書を教員に配布し、教員は自己の授業の改善に役立てる。
- (2) 各学部自己点検・評価委員会（または「FD委員会」）においてアンケートの結果をもとに、組織的に授業改善の方策を検討する。
- (3) 学長は、アンケートの結果をもとに、必要な改善策を検討する。

以 上

アンケート様式

平成25年度 「授業改善のための学生アンケート」 講義等科目用

このアンケートは、あなたの授業担当教員が学生諸君と共に授業をより良いものにする目的で実施するものです。建設的な気持ちで、以下の問いにお答えください。

授業科目等		担当教員名	
--------------	--	--------------	--

整理番号	授業科目分類コード	教員コード	曜日	時限	期別

- (記入上の注意)
1. HBの黒鉛筆(シャープペンシル)で枠内にしっかりとマークしてください。
 2. この用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。
 3. 訂正は消しゴムできれいに消してから行ってください。

学年	1年 <input type="radio"/>	2年 <input type="radio"/>	3年 <input type="radio"/>	4年 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>
-----------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	------------------------------

記入例 良い例 悪い例

学科	経営 <input type="radio"/>	国語 <input type="radio"/>	会計 <input type="radio"/>	法政 <input type="radio"/>	経済 <input type="radio"/>	英米 <input type="radio"/>	中国 <input type="radio"/>	スペイン <input type="radio"/>	機械 <input type="radio"/>	電子 <input type="radio"/>	情工 <input type="radio"/>	デザイン <input type="radio"/>	国際 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>
-----------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-------------------------------	-----------------------------	------------------------------

【選択肢の凡例】 5:強くそう思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

I	受講する姿勢や動機について	5	4	3	2	1	II-5	話し方や声は聞き取りやすいですか。	5	4	3	2	1
I-1	あなたはこの授業にどれくらい出席していますか。 <small>(5)90%以上 (4)80%以上 (3)60%以上 (2)40%以上 (1)40%未満</small>						II-6	教材等(教科書・配付資料・板書・OHP・パワーポイント・ビデオ)は授業内容を理解するのに有効ですか。 <small>(5) (4) (3) (2) (1)</small>					
I-2	あなたは授業での口頭説明や板書内容などについて、ノートあるいはメモをとっていますか。 <small>(5) (4) (3) (2) (1)</small>						II-7	教室内は学習にふさわしい雰囲気には保たれていますか。 <small>(5) (4) (3) (2) (1)</small>					
I-3	あなたはこの科目について、毎回どのくらい予習あるいは復習をしていますか。(h=時間) <small>(5)4h以上 (4)2h以上 (3)1h以上 (2)0.5h以上 (1)0.5h未満</small>						II-8	この授業は、宿題・課題等が適切に出されていると思いますか。 <small>(5) (4) (3) (2) (1)</small>					
I-4	この授業を受講した動機はなんですか。最大3つまで挙げてください。(ただし、この科目が必修科目である場合は、回答の必要はありません。) ⑤講義要項を読んで興味を持ったから ④教員にひかれて ③単位が必要だから ②単位取得が楽だから ①この時間帯が空いていたから						II-9	内容はよく理解できましたか。 <small>(5) (4) (3) (2) (1)</small>					
							II-10	この授業を通じてものの見方や考え方が深まりましたか。 <small>(5) (4) (3) (2) (1)</small>					
							III	総合的に見て、この授業に満足していますか。 <small>(5) (4) (3) (2) (1)</small>					
							IV	学部等設問項目 <small>5 4 3 2 1</small>					
I-5	授業時間以外に先生へ質問に行くこと(オフィスパワー等)がありますか。 <small>(5) (4) (3) (2) (1)</small>						IV-1						
II	授業の内容や進め方について <small>5 4 3 2 1</small>						IV-2						
II-1	授業の狙いや重要なポイントは明確に示されていますか。 <small>(5) (4) (3) (2) (1)</small>						IV-3						
II-2	授業の難易度はどうですか。 ⑤難しすぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やややさしい ①やさしすぎる <small>(5) (4) (3) (2) (1)</small>						IV-4						
II-3	講義要項に沿って授業が行われていますか。 <small>(5) (4) (3) (2) (1)</small>												
II-4	授業の進度はどうですか。 ⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる <small>(5) (4) (3) (2) (1)</small>												

自由意見欄(自由意見欄が不足する場合は、裏面に記入してください)

○この授業で良かった点、改善してほしい点、この教室の環境(教室の大きさ・エアコン・防音・備品など)について意見や要望があれば具体的に書いてください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○

平成25年度学部設問項目

1. 政経学部

- IV-1 この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか
- IV-2 授業に支障をきたすような私語は無い

2. 外国語学部

- IV-1 この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか
- IV-2 このクラスの学生数は適切ですか

3. 工学部

- IV-1 宿題や課題にどれくらい取り組んでいますか
- IV-2 この授業の内容について、どのくらい質問していますか
- IV-3 この授業で設定している到達目標について、知識や技術が身につきましたか

4. 国際学部

- IV-1 授業の開始時間、終了時間は守られている
- IV-2 出欠はきちんととられている
- IV-3 授業中、学生同士の私語はない
- IV-4 1年生は今後進むコースを、2年生以降は所属するコースを選んでください。①国際協力、②国際経済、③国際政治、④国際文化、⑤国際観光、⑥農業総合

平成25年度 「授業改善のための学生アンケート」 スポーツ・トレーニング用

このアンケートは、あなたの授業担当教員が学生諸君と共に授業をより良いものにする目的で実施するものです。建設的な気持ちで、以下の問いにお答えください。

授業科目等		担当教員名	
--------------	--	--------------	--

整理番号	授業科目分類コード	教員コード	曜日	時限	期別

- 〈記入上の注意〉
1. HBの黒鉛筆（シャープペンシル）で枠内にしっかりとマークしてください。
 2. この用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。
 3. 訂正は消しゴムできれいに消してから行ってください。

学年	1年 <input type="radio"/>	2年 <input type="radio"/>	3年 <input type="radio"/>	4年 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>									
学科	経営 <input type="radio"/>	国語 <input type="radio"/>	会計 <input type="radio"/>	法政 <input type="radio"/>	経済 <input type="radio"/>	英米 <input type="radio"/>	中国 <input type="radio"/>	スペイン <input type="radio"/>	機械 <input type="radio"/>	電子 <input type="radio"/>	情工 <input type="radio"/>	デザイン <input type="radio"/>	国際 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>

記入例 良い例 悪い例

【選択肢の凡例】 5:強くそう思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

I	受講する姿勢や動機について	5	4	3	2	1	II-5	話し方や声は聞き取りやすいですか。	5	4	3	2	1		
I-1	あなたはこの授業にどれくらい出席していますか。 <small>⑤90%以上 ④80%以上 ③60%以上 ②40%以上 ①未滿</small>	5	4	3	2	1	II-6	教員と学生との友好的なコミュニケーションがありますか。	5	4	3	2	1		
I-2	あなたは自分の健康と運動・栄養・休息に関心を持っていますか。	5	4	3	2	1	II-7	教員は授業運営に必要なリーダーシップを発揮していますか。	5	4	3	2	1		
I-3	あなたはこの授業でやる気を持って積極的に取り組んでいますか。	5	4	3	2	1	II-8	この授業は身体活動にふさわしい雰囲気には保たれていますか。	5	4	3	2	1		
I-4	この授業を受講した動機はなんですか。最大3つまで挙げてください。(ただし、この科目が必修科目である場合は、回答の必要はありません) ⑤講義要項を読んで興味を持ったから ④教員にひかれて ③単位が必要だから ②単位取得が楽だから ①この時間帯が空いていたから	5	4	3	2	1	II-9	授業の内容はよく理解できましたか。	5	4	3	2	1		
							II-10	この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか。	5	4	3	2	1		
							II-11	この授業は学生生活及び健康・体力維持に役立ちましたか。	5	4	3	2	1		
							III	総合的に見て、この授業に満足していますか。	5	4	3	2	1		
II	授業の内容や進め方について	5	4	3	2	1	IV	学部等設問項目	5	4	3	2	1		
II-1	授業の狙いや重要なポイントは明確に示されていますか。	5	4	3	2	1	IV-1	履修したスポーツ種目の選択と内容はあなたの希望にそっていましたか。	5	4	3	2	1		
II-2	授業の難易度はどうですか。 ⑤難しすぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やややさしい ①やさしすぎる	5	4	3	2	1									
II-3	授業の進度はどうですか。 ⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	5	4	3	2	1			IV-2	受講した時間帯は適切でしたか。	5	4	3	2	1
II-4	説明は分かりやすいですか。	5	4	3	2	1			IV-3	次年度以降、あなたの好きな「生涯スポーツ応用演習」(自由科目)を履修したいですか	5	4	3	2	1

自由意見欄(自由意見欄が不足する場合は、裏面に記入してください)

この授業で良かった点は、なんですか。

この授業で改善してほしい点があれば書いてください。

この教室の環境（アリーナ・グラウンド・トレーニングルーム・更衣室・シャワールームおよび用具＜ボール・ラケット等＞）について意見や要望があれば具体的に書いてください。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

平成25年度 「授業改善のための学生アンケート」 工学部・実験・実習科目用

このアンケートは、あなたの授業担当教員が学生諸君と共に授業をより良いものにする目的で実施するものです。建設的な気持ちで、以下の問いにお答えください。

授 業 科目等		担 当 教員名	
--------------------	--	--------------------	--

整理番号	授業科目分類コード	教員コード	曜日	時限	期別

(記入上の注意)
 1. HB の黒鉛筆 (シャープペンシル) で枠内にしっかりとマークしてください。
 2. この用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。
 3. 訂正は消しゴムできれいに消してから行ってください。

学 年	1年 <input type="radio"/>	2年 <input type="radio"/>	3年 <input type="radio"/>	4年 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>									
学 科	経営 <input type="radio"/>	国語 <input type="radio"/>	会計 <input type="radio"/>	法政 <input type="radio"/>	経済 <input type="radio"/>	英米 <input type="radio"/>	中国 <input type="radio"/>	スペイン <input type="radio"/>	機械 <input type="radio"/>	電子 <input type="radio"/>	情工 <input type="radio"/>	デザイン <input type="radio"/>	国際 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>

記入例 良い例 悪い例

【選択肢の凡例】 5:強くそう思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

I	受講する姿勢や動機について	5	4	3	2	1	II-3	授業の進捗はどうか。 ⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	5	4	3	2	1
I-1	あなたはこの授業にどれくらい出席していますか。	⑤ 90% 以上	④ 80% 以上	③ 60% 以上	② 40% 以上	① 40% 未満	II-4	説明は分かりやすいですか。	5	4	3	2	1
I-2	あなたはこの授業のために事前準備を行っていますか。	5	4	3	2	1	II-5	話し方や声は聞き取りやすいですか。	5	4	3	2	1
I-3	あなたはこの授業のレポート作成にまじめに取り組んでいますか。	5	4	3	2	1	II-6	教材等 (実験機材・教科書・配付資料・板書・OHP・パワーポイント・ビデオ・模型) は授業内容を理解するのに有効ですか。	5	4	3	2	1
I-4	あなたの受講態度 (遅刻状況、授業への集中度、私語の有無などの総合評価) はどうでしたか。 ⑤非常に良かった ④良かった ③普通 ②悪かった ①非常に悪かった	5	4	3	2	1	II-7	教材 (実験機材・テキスト・配付資料・OHP・ビデオ・模型など) の使用は適切ですか。	5	4	3	2	1
							II-8	教室内は学習にふさわしい雰囲気には保たれていますか。	5	4	3	2	1
II	授業の内容や進め方について	5	4	3	2	1	II-9	授業の内容はよく理解できましたか。	5	4	3	2	1
II-1	授業の狙いや重要なポイントは明確に示されていますか。	5	4	3	2	1	II-10	この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか。	5	4	3	2	1
II-2	授業の難易度はどうか。 ⑤難しすぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やややさしい ①やさしすぎる	5	4	3	2	1	II-11	この授業を通じてものの見方や考え方が深まりましたか。	5	4	3	2	1
							III	総合的に見て、この授業に満足していますか。	5	4	3	2	1

自由意見欄(自由意見欄が不足する場合は、裏面に記入してください)

○この授業で良かった点は、なんですか。

○この授業で改善してほしい点があれば書いてください。

○この教室の環境 (教室の大きさ・エアコン・照明・防音・備品など) について意見や要望があれば具体的に書いてください。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

科目別集計様式

平成25年度「授業改善のための学生アンケート」科目別集計表（スポーツ・トレーニング科目用）

整理番号	1-E-***		科目名		****		科目コード		**														
	*****/**/*	****	キャンパス	****	****	****	****	****	****	****													
実施年月日	3年	4年	その他	学号	経営	国ビ	会計	法政	経済	英米	中国	スベ	機械	電子	情工	デザ	国際	その他	回答者	履修者			
学年	1年	2年	3年	4年	その他	学号	経営	国ビ	会計	法政	経済	英米	中国	スベ	機械	電子	情工	デザ	国際	その他	回答者	履修者	
件数	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*

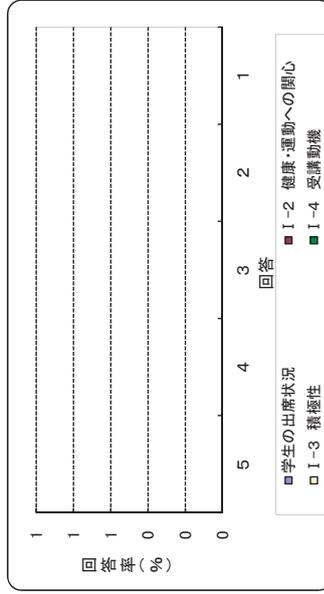
1. 各設問の回答の分布・標準偏差・平均値

設問項目	有効回答数	エラー件数	5	4	3	2	1	標準偏差	全体平均値	注)参照
I-1 学生の出席状況	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
I-2 健康・運動への関心	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
I-3 積極性	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
I-4 受講動機 (複数回答)	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-1 狙いの明確さ	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-2 難易度	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-3 進度	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-4 説明方法	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-5 声の大きさ	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-6 学生とのコミュニケーション	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-7 リーダーシップ	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-8 授業の雰囲気	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-9 理解しやすさ	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-10 知識・技術が身につく	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-11 健康・体力維持に役立つ	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
III 満足度	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
IV-1 希望科目	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
IV-2 時間帯	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
IV-3 次年度の履修希望	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-

注)平均値:授業の出席率が90%以上の学生による回答

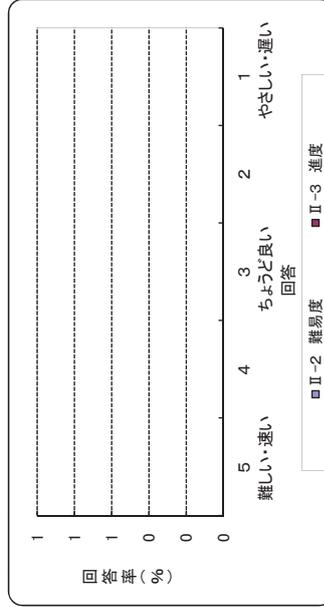
【選択肢の凡例】 5:強く思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

2. 受講する姿勢等について(回答の分布)

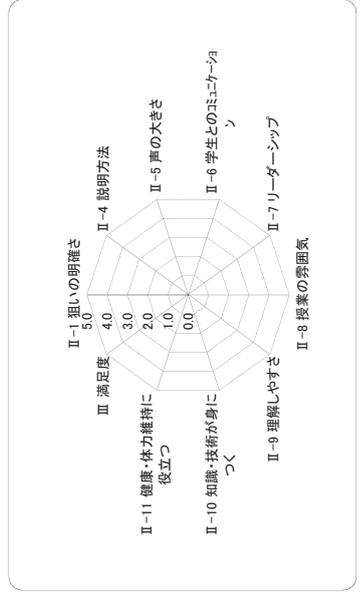


3. 授業の内容や進め方

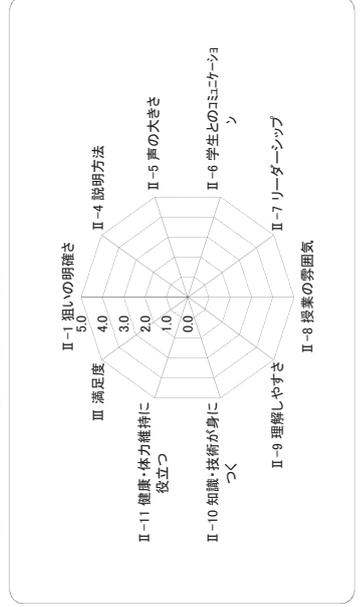
1) 難易度・進度(回答の分布)



2) 内容・進め方(平均値)



3) 授業の出席率が90%以上の学生による回答(平均値)



所属	**学部	身分	フリガナ	****
所属コード	***	身分コード	担当教員名	****
			教員コード	****

科目別集計に対する担当教員の所見

1. 自由意見欄での主な要望・指摘

--

2. 科目別集計及び自由意見欄に対する担当教員の所見

--

3. 改善に向けた今後の取組方針

--

*字数は問いませんが、各項目の枠内に収まるように記入してください。

平成25年度「授業改善のための学生アンケート」科目別集計表（工学部・実験・実習科目用）

整理番号	1-E-****		科目名		****		科目コード		**	
	****/****/****	****	****	****	****	****	****	****	****	****
実施年月日	1年	2年	3年	4年	その他	学部	キャンパス	****	****	****
学年	1年	2年	3年	4年	その他	学部	経営	国	政	****
件数	1年	2年	3年	4年	その他	学部	経営	国	政	****

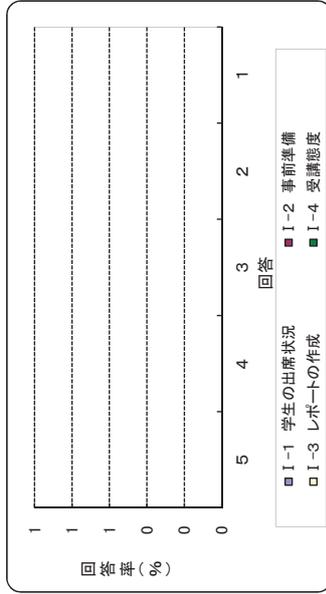
1. 各設問の回答の分布・標準偏差・平均値

設問項目	有効回答数	エラー一件数	5	4	3	2	1	標準偏差	全体平均値	注)参照
I-1 学生の出席状況	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
I-2 事前準備	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
I-3 レポートの作成	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
I-4 受講態度	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-1 狙いの明確さ	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-2 難易度	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-3 進度	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-4 説明方法	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-5 声の大きさ	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-6 教材等の効果	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-7 教材の適切性	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-8 教室内の雰囲気	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-9 理解しやすさ	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-10 知識・技術が身につく	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
II-11 見方・考え方が深まる	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-
III 満足度	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-

注)平均値:授業の出席率が90%以上の学生による回答

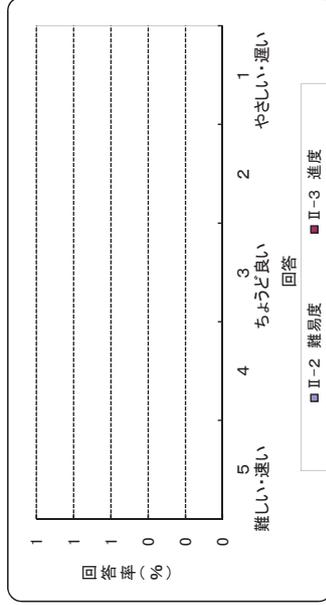
【選択肢の凡例】 5:強く思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全く思わない

2. 受講する姿勢等について(回答の分布)

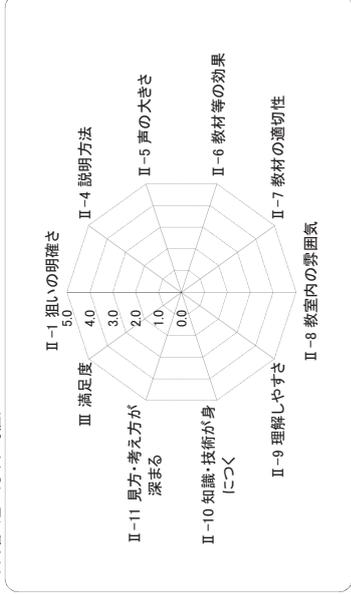


3. 授業の内容や進め方

1) 難易度・進度(回答の分布)



2) 内容・進め方(平均値)



3) 授業の出席率が90%以上の学生による回答(平均値)



所属	**学部	身分	フリガナ	****	****	****
所属コード	****	身分コード	****	****	****	****
担当教員名	****	****	****	****	****	****
教員コード	****	****	****	****	****	****

科目別集計に対する担当教員の所見

1. 自由意見欄での主な要望・指摘

自由意見欄での主な要望・指摘

2. 科目別集計及び自由意見欄に対する担当教員の所見

科目別集計及び自由意見欄に対する担当教員の所見

3. 改善に向けた今後の取組方針

改善に向けた今後の取組方針

※字数は問いませんが、各項目の枠内に収まるように記入してください。

平成25年度
授業改善のための学生アンケート報告書
—全体集計—
第I部

平成26年3月発行

編集・発行 拓殖大学 FD委員会

〒112-8585 東京都文京区小日向3丁目4番14号

電話 03-3947-7299 (学務部 学長事務室)